

「総合計画策定に関する議会からの  
アンケート」結果について

令和6年11月11日

魚沼市議会 総合計画策定調査特別委員会

# 目 次

議会からのアンケート回答率	1
「総合計画策定に関する議会からのアンケート」結果の分析	
・ 総務分科会	2
・ 福祉文教分科会	4
・ 産業建設分科会	6
議会からのアンケート集計結果	
・ 総務分科会【まちづくり・市民参画】	8
・ 総務分科会【防災】	16
・ 総務分科会【自治会・コミ協】	58
・ 総務分科会【移住・定住】	72
・ 総務分科会【空き家対策】	83
・ 福祉文教分科会【地域福祉】	96
・ 福祉文教分科会【教育】	108
・ 福祉文教分科会【環境】	126
・ 福祉文教分科会【公共交通】	134
・ 福祉文教分科会【文化芸術】	144
・ 産業建設分科会【農林水産業】	152
・ 産業建設分科会【小売・卸売業】	165
・ 産業建設分科会【観光・サービス業】	174
・ 産業建設分科会【建設業】	183
・ 産業建設分科会【製造業】	193

## 議会からのアンケート回答率

分科会	分野	回答者 (A)	対象者 (B)	回答率 (A ÷ B)
総務分科会	まちづくり・市民参画	2	2	100.00%
	防災	87	130	66.92%
	自治会・コミ協	51	73	69.86%
	移住・定住	36	54	66.67%
	空き家対策	47	67	70.15%
	計	223	326	68.40%
福祉文教分科会	地域福祉	41	49	83.67%
	教育	38	51	74.51%
	環境	37	50	74.00%
	公共交通	35	50	70.00%
	文化芸術	32	50	64.00%
	計	183	250	73.20%
産業建設分科会	農林水産業	57	108	52.78%
	小売・卸売業	17	37	45.95%
	観光・サービス業	37	65	56.92%
	建設業	57	94	60.64%
	製造業	23	32	71.88%
	計	191	336	56.85%
合 計		597	912	65.46%

## 「総合計画策定に関する議会からのアンケート」結果の分析

【所管分科会】	【分野】	【アンケート結果の分析】 ・アンケートから読み取れる課題（現状と分析）
総務	まちづくり・市民参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市への依存体質が強い。</li> <li>・市内での「まちづくり委員会」の認知度が低い。</li> <li>・市民と行政との意思不足（関係性の希薄化）</li> <li>・マンネリ化</li> <li>・現状や方向性、行政の介入等乖離状態に疑問符があり自問自答している感じ。</li> <li>・意識不足である。</li> </ul>
	防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防演習やポンプ操法大会が苦になっているようであり、内容を精査し時間短縮を図るべき。</li> <li>・若い後継者が不足し消防団活動の改善が必要である。</li> <li>・消防団イコール面倒である。</li> <li>・消防団員としての意識が低い。</li> <li>・少子化により団員のなり手が無い。</li> <li>・職場の理解が必要である。</li> <li>・魅力、社会環境による使命感の欠如が要因（活動制限希望、処遇改善希望、与えられている機材の維持管理不能）</li> <li>・防災士としての意識が薄い。</li> <li>・自治会として防災士に対する役割の理解度が低い。</li> <li>・資格取得をする人の高齢化</li> <li>・集落の役員だから資格を取得したなど防災に対する意識の希薄</li> <li>・地域の推薦や市の助成金等の支援もあり、取得はしたが地域での役割や活動等を市が与えるものと勘違いしている。</li> <li>・要支援者の避難計画等は任期の関係もあり先送りになっている。</li> </ul>
	自治会・コミ協	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化と若者の減少で、地域行事等の活動が出来ない。</li> <li>・役員の選出、祭りなどの地域行事の継続、草刈り水路維持等の共同作業の他空き家対策等に苦慮している。</li> <li>・自治会予算も将来に不安を持つ自治会が多い。</li> <li>・若者そのものも少ないため各行事の若者の参加も少ない。</li> <li>・高齢者支援関連では買い物難民、支援者自身の高齢化などの問題がある。</li> <li>・防災に関係する避難訓練などは市要請の一次避難訓練の実施程度で積極的な活動ができていない。</li> <li>・戸数の減少も課題である。</li> <li>・問題課題が山積である。</li> <li>・自治会消滅の危機</li> </ul>

## 「総合計画策定に関する議会からのアンケート」結果の分析

【所管分科会】	【分野】	<p style="text-align: center;">【アンケート結果の分析】</p> <p style="text-align: center;">・ アンケートから読み取れる課題（現状と分析）</p>
総務		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局員として事務や会計に詳しい人が欲しい。</li> <li>・ 事務局の場所も会長宅や事務局長宅に置くなどしている。事務局体制が整っていない。</li> <li>・ 後継者不足と専任の事務局員がいない。</li> <li>・ 行事参加者数の減少などのほか補助金額が少額で固定されているため活発で濃密な活動ができていない。</li> <li>・ 活動拠点と資材保管場所が確保されていない。</li> <li>・ 予算は市補助金と構成自治会負担金のみで活動が制限されている。</li> <li>・ 高齢者宅の除雪支援の協力者不足で高齢者支援ができていない。</li> <li>・ コミ協に入る理由がない。</li> <li>・ 煩わしい。</li> <li>・ 事務局対応が煩雑化している。</li> <li>・ 高齢化、担い手不足、人材不足、役員選出、若い世代の地域への関わり・関心、魅力等の希薄、欠如等人口減少高齢化に関する事項が多く挙げられた。</li> <li>・ 大きな集落、小さな集落に限らず人付き合いの希薄化は集落運営を不安視させる。結果、地域活動の維持、運営、伝統継承難に繋がって将来不安が払拭できない。</li> </ul>
	移住・定住	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定住への条件では学校や仕事、子育て支援等あげられている。</li> <li>・ 目指す仕事を見つけること。</li> <li>・ 子どもの教育、子育てに不安がないか。</li> <li>・ 集落との関わり（交流を望まない場合がある）</li> <li>・ 移住・定住者の受入れについては寛容な意見もあり少し安心した。</li> <li>・ 地域から見て移住者の満足度も得られているようだ。</li> <li>・ 立地的に難しい面もあるが、営農、景観、支援体制等特色をもって対応すれば、更なる受入れも可能と感じた。</li> <li>・ 現在も行っていると思うが、移住者からの相談体制は集落のみならず市の介入が必要である。</li> </ul>
	空き家対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市の空き家バンク制度は事業者から見て有効とされているが、市の補助制度への問い合わせは受けていない。</li> <li>・ 空き家は年々増加傾向にある中で、空き家活用対策が望まれる。</li> <li>・ 空き家後の管理に問題を感じる。</li> <li>・ 空き家に対する自治会や地域住民の問題意識が高く、財産放棄や権利放棄する前の相談や条例改正が必要である。</li> <li>・ 少子高齢化による老人世帯・独居老人世帯に伴う空き家の増加</li> <li>・ 空き家の管理は自治会では不可能（雪対応における危険性）</li> <li>・ 管理不全の空き家をつくらない、増加させない。</li> <li>・ 所有者や親戚等が管理しているのは対応も取れるが連絡先すら分からないものは倒壊や雪害も含め集落に重くのしかかる課題と認識した。</li> <li>・ 権利放棄の手法が使われると手の出しようがなく、行政負担にもつながる。</li> <li>・ 早期の再利用や価値があるうちの対策が必要である。</li> </ul>

## 「総合計画策定に関する議会からのアンケート」結果の分析

【所管分科会】	【分野】	【アンケート結果の分析】 ・アンケートから読み取れる課題（現状と分析）
福祉文教	地域福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートでは、介護人材確保が深刻な状況が述べられていた。訪問介護サービスが市内で2か所にまで減少してきたことは懸念材料となっている。</li> <li>・移動支援策を要望する意見で、乗合タクシーを魚沼基幹病院にまで運行してほしいことや、路線バスの充実を望む声が多くあった。</li> <li>・障がい支援では、障がい者の高齢化で介護サービスを満足に受けられない現状も出されている。訪問介護、訪問診療など厳しい現状があり、高齢者や障がい者などへ一体的に生活を支える仕組みづくりが求められている。</li> </ul>
	教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学区再編については、少子化の進行に伴い、74%が必要性を感じている。再編に当たっては、保護者や地域住民の意向を十分に聞き取りながら慎重に検討することが求められている。</li> <li>・いじめや不登校問題が深刻である。その対応として相談窓口や子供たちの自立に向けた適応指導教室の充実が挙げられる。</li> <li>・コミュニティースクールの認知度が低く地域人材の活用が求められている。児童生徒が生涯にわたって「生きる力とふるさと愛」を培うには、魚沼市の歴史・文化や自然・環境体験活動の必要性和キャリア教育・防災教育・G I G A教育の重要性が認められている。</li> <li>・児童生徒の減少や気候変動（熱中症・豪雪）、クマ出没など、子供たちの安全な登下校が求められている。各学校の実態を把握し、安心・安全な通学路対策が必要である。</li> </ul>
	環境	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地球温暖化など環境問題に関心を持っている人が94%と多い。</li> <li>2. 家庭ゴミの分別や減量の取組みに関心がある人が94%と多い。</li> <li>3. ゴミや資源ゴミの出し方をより具体的で分かりやすい周知方法と、何故それをやるのかの啓発活動が重要で、「エコうお」アプリの浸透、活用されるための取組みが求められる。</li> </ol>
	公共交通	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 魚沼市の公共交通については、「やや不満である」と「不満である」を合わせると60%と高い。 理由としては、             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「行きたい所へいけない」が19%</li> <li>・「毎日は運行していない」と「土日の運行がない」が28%で上位を占めている。</li> </ul> </li> <li>2. 公共交通が優先されるべき目的では、             <ul style="list-style-type: none"> <li>・通院等の移動手段が28%</li> <li>・高齢者、障がい者、妊産婦などの移動手段が20%</li> <li>・商業施設への移動手段が17%</li> </ul> </li> <li>3. 市の財政負担については、             <ul style="list-style-type: none"> <li>・財政負担を増やして公共交通を充実すべきが31%もある。</li> </ul> </li> </ol>

## 「総合計画策定に関する議会からのアンケート」結果の分析

【所管分科会】	【分野】	<p style="text-align: center;">【アンケート結果の分析】</p> <p style="text-align: center;">・アンケートから読み取れる課題（現状と分析）</p>
福祉文教	文化芸術	<p>1. 文化芸術についての市の取組みは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ やや満足以上が59%</li> <li>・ 「やや満足以下」、「どちらともいえない」が41%である。</li> <li>・ 市民全体が文化芸術に興味・関心を持ってもらいたいとの意見がある。</li> <li>・ 「財政的支援を増やしてもらわないと現在の活動は継続が厳しい」が24%もある。</li> </ul> <p>2. 地域の伝統行事も、維持・継承が困難になっており、「次世代へつないでいくためにも、継続できるような仕組みができないか」という意見がある。</p>

## 「総合計画策定に関する議会からのアンケート」結果の分析

【所管分科会】	【分野】	【アンケート結果の分析】 ・アンケートから読み取れる課題（現状と分析）
産業建設	農林水産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚沼市の農林水産業の1次産品は、花き園芸や酪農など一定割合の生産がある一方、主力は稲作がメインとなっている。</li> <li>・規模拡大を目指す農業法人がある一方、高齢化や就業人材確保が困難な状況があり、廃業を考えている事業者の割合も高い。</li> <li>・製品のブランド化や、個人販売で収益率を上げる努力が見られる。</li> <li>・コメ生産調整の一方で、野菜など畑作を進めようとする動きもある。</li> <li>・肥料、生産資機材の物価高に苦慮している。</li> <li>・林産品の商品化が求められているが、出荷額は原木、加工品共にごく僅かである。</li> </ul>
	小売・卸売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数は減ってきているが、市民の生活を支える商店として頑張っている姿があった。</li> <li>・人口減少が、全体の売り上げ減少に直結している状況がわかる。顧客の減少で事業継続が難しく、廃業を検討している事業者も多い。</li> <li>・食料品店など最低限生活に必要な地域の小売店を、どう残していけるかが課題である。</li> </ul>
	観光・サービス業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の業種に比べ、新規参入の事業者が複数ある一方で、自分の代で廃業したいと考えている事業者が多い。</li> <li>・従業員の確保に苦慮している事業所が多い。</li> <li>・主な対象顧客は一般市民であり、人口減少の影響を強く受けている。</li> <li>・労働集約的な業種であり、事業の効率化、付加価値の増大化には限界があると受け止めている。</li> </ul>
	建設業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門技術者や従業員の確保に苦慮している事業者が多い。</li> <li>・受注額の3分の1は公共事業であり、他の業種に比べ高い。一方で、市外からの受注額は少ない。</li> <li>・施工能力の限界から、市外業者に仕事が流れている。</li> <li>・各種の規制緩和を求める意見がある。</li> <li>・冬季の道路除雪や災害対応など、市民生活に欠かせない仕事を行っている。</li> </ul>
	製造業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造業では、事業拡大を考えている事業所が多い。</li> <li>・従業員の確保が最大の課題と受け止めている。</li> <li>・事業所によっては、外国人労働者、研修生もかなりの人数が入っている。</li> <li>・生産資材の仕入れ先及び製品の出荷先共に市外の事業者が主である。</li> <li>・事業拡大のためには、市外、海外への売り込みが必須となっている。</li> <li>・収益性を上げるため、製造品の高付加価値化を目指している。</li> </ul>

## 「総合計画策定に関する議会からのアンケート」結果の分析

【所管分科会】	【分野】	<p style="text-align: center;">【アンケート結果の分析】</p> <p style="text-align: center;">・アンケートから読み取れる課題（現状と分析）</p>
産業建設	全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大多数を占める個人事業者、小規模事業者の多くで後継者不在、事業主の高齢化、健康状況の悪化などの要因で廃業を考えている状況がある。</li> <li>・ 主に在住市民が顧客先となっている事業者は、販売額の減少など人口減少の影響を強く受けている。</li> <li>・ 全ての業種において、従業員の確保、求人活動に苦慮している。</li> <li>・ 仕入れ商品、原材料、生産資材、運搬費、光熱水費など急激な物価高に苦慮している。</li> <li>・ 地球温暖化ガス（CO2）排出抑制、脱炭素の取組については、総じて低調である。</li> </ul>

## 総務分科会 【まちづくり・市民参画】まちづくり委員会

### 【回答者数】

回答者 1 団体（対象者 1 団体） 回答率 100%

### 【まず始めに、地域についてお聞かせください。】

選択肢	回答数	割合
1. 堀之内地域	0	0%
2. 小出地域	0	0%
3. 湯之谷地域	1	100%
4. 広神地域	0	0%
5. 守門地域	0	0%
6. 入広瀬地域	0	0%
無回答	0	0%
計	1	

## まちづくり委員会について

### 【問1 活動内容について、どの程度市民への認知度があるかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. よく知っている	0	0%
2. 知っている	0	0%
3. 交流のあった人	0	0%
4. あまり知らない	0	0%
5. 知らない	1	100%
無回答	0	0%
計	1	

### 【問2 委員会の目標とする「市民による市民のためのまちづくり」は、今日までの評価としてどのように捉えているかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 順調 (問3へ)	0	0%
2. どちらかというと順調 (問3へ)	0	0%
3. よくわからない (問4へ)	0	0%
4. どちらかという和不順 (問5へ)	1	100%
5. 不順 (問5へ)	0	0%
無回答	0	0%

計	1
---	---

【問3 問2で1. 順調、2. どちらかというとな順調と回答した理由をお聞きします。】

自由記載

【問4 問2で3. よくわからないと回答した理由をお聞きします。】

自由記載

【問5 問2で4. どちらかというとな不順、5. 不順と回答した理由をお聞きします。】

自由記載
<p>設立当初は、相応の活動ができていたと聞いているが、ここ数年は疑問符が残る。「市民のため」よりも「自分たちがしたいこと」が優先されているように感じた。</p>

【問6 委員会として活動内容に対する課題をお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 目標に対して	0	0%
2. 行政に対して	1	33.3%
3. 市民に対して	1	33.3%
4. 委員会に対して	1	33.3%
5. その他	0	0%
無回答	0	0%
計	3	

5. その他の内訳

【問7 問6で回答した理由をお聞きします。】

自由記載
<p>行政との協働がまちづくり委員会の特色のひとつだが、行政との関係性が薄くなってしまったように感じる。市民に対しては、認知度が低いことが大きな課題である。現在、組織の再編を進めており、委員会の立ち位置や活動方針、内容については模索中である。</p>

## 委員会として考える地域課題について

【問8 地域の絆やコミュニティを守るために取り組むべきことをお聞きします。(2～3つ)】

選択肢	回答数	割合
1. 自治会の充実	0	0%
2. 自治会加入への呼びかけ	0	0%
3. 世代間交流	1	50%
4. 地域住民行事	0	0%
5. 居場所の設置	0	0%
6. 活動情報の共有	0	0%
7. 気軽な参加の雰囲気づくり	1	50%
8. 自治会活動の見直しや負担軽減	0	0%
9. その他	0	0%
無回答	0	0%
計	2	

### 9. その他の内訳

【問9 子どもの健全育成のために取り組むべきことをお聞きします。(2～3つ)】

選択肢	回答数	割合
1. 子ども向け講座やイベント	1	33.3%
2. あいさつ運動	1	33.3%
3. 子ども会やスポーツチームの充実	1	33.3%
4. 休日や放課後の居場所づくり	0	0%
5. 登下校時の見守り	0	0%
6. 地域の歴史や文化の学習	0	0%
7. 子どもボランティア活動	0	0%
8. 高齢者との交流行事	0	0%
9. その他	0	0%
無回答	0	0%
計	3	

### 9. その他の内訳

**【問10 高齢者が安心して暮らせるために取り組むべきことをお聞きします。(2~3つ)】**

選択肢	回答数	割合
1. 高齢者の見守り	0	0%
2. 介護予防講座等の開催	0	0%
3. 送迎、買い物代行等の生活支援	1	50%
4. 災害時の支援	0	0%
5. 老人クラブ活動の充実	0	0%
6. 居場所の設置	1	50%
7. 高齢者向け講座やイベント	0	0%
8. 高齢者の就労機会の提供	0	0%
9. 配食サービス	0	0%
10. その他	0	0%
無回答	0	0%
計	2	

10. その他の内訳

**【問11 健康増進のために取り組むべきことをお聞きします。(2~3つ)】**

選択肢	回答数	割合
1. ウォーキングの普及	0	0%
2. スポーツ大会の開催	1	50%
3. 健康やスポーツ講座	0	0%
4. 健康体操の普及	0	0%
5. 健康料理教室	0	0%
6. 健康診断の普及啓発	0	0%
7. 生活習慣病などの後援会	0	0%
8. 運動会	0	0%
9. その他	1	50%
無回答	0	0%
計	2	

(. その他の内訳
うおぬま元気ポイントの周知、充実

**【問12 災害から地域を守るために取り組むべきことをお聞きします。(2~3つ)】**

選択肢	回答数	割合
1. 防災訓練の実施	0	0%
2. 防災意識向上後援会	0	0%
3. 救命講習会(応急手当)	0	0%
4. 消防団の体制強化	1	33.3%
5. 災害用居住者名簿の整備	1	33.3%
6. 自主防災組織等の体制強化	1	33.3%
7. 避難所マップの再確認	0	0%
8. その他	0	0%
無回答	0	0%
計	3	

<b>8. その他の内訳</b>

**【その他、議会に対するご意見等を自由にお書きください。】**

<b>自由記載</b>
<p>今後、活動を行っていく上で、議会や議員の皆さんに協力をいただくこともあるかと思います。まずは、まちづくり委員会という組織に関心を持っていただきたい。そして、まちづくりという永遠のテーマについて共に取り組んでいきたい。</p>

## 総務分科会 【まちづくり・市民参画】うおぬま交流ネットワーク

### 【回答者数】

回答者 1 団体（対象者 1 団体） 回答率 100%

### 【まず始めに、地域についてお聞かせください。】

選択肢	回答数	割合
1. 堀之内地域	0	0%
2. 小出地域	1	100%
3. 湯之谷地域	0	0%
4. 広神地域	0	0%
5. 守門地域	0	0%
6. 入広瀬地域	0	0%
無回答	0	0%
計	1	

### 【問1 活動内容について、どの程度市民への認知度があるかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. よく知っている	0	0%
2. 知っている	0	0%
3. 交流のあった人	1	100%
4. あまり知らない	0	0%
5. 知らない	0	0%
無回答	0	0%
計	1	

### 【問2 課題をお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 行政との関係等	0	0%
2. ネットワーク内の問題	0	0%
3. 地域間との問題	1	50%
4. その他	1	50%
無回答	0	0%
計	2	

#### 4. その他の内訳

市外の団体、個人の交わり

**【問3 問2で回答した理由をお聞きします。】**

自由記載
地域内外のいろいろな人達とつながりをつくりたい。

**【問4 法人設立20年の節目に事業を見つめ直し新たな挑戦をする理由をお聞きします。】**

選択肢	回答数	割合
1. 今までの活動が不十分	0	0%
2. 今までの活動にプラスする	0	0%
3. 活動をより深く市民に知らせる	1	50%
4. 新たな活動分野をプラスする	0	0%
5. 20年前と比較して活動すべき内容が変わってきている	1	50%
6. その他	0	0%
無回答	0	0%
計	2	

6. その他の内訳

**【問5 問4で回答した理由をお聞きします。】**

自由記載
NPO 法人だからこそできる事、ワクワクする事業を行いたい。

**【問6 まちづくりに関してどの事業に興味をおいているのかお聞きします。】**

選択肢	回答数	割合
1. うおぬま森の学校・エコ事業部	1	20%
2. つなごて事業部	1	20%
3. 文化会館事業部	1	20%
4. 人事交流事業	1	20%
5. その他	1	20%
無回答	0	0%
計	5	

5. その他の内訳
かたっくり

**【問7 問6で回答した具体的な計画や思いをお聞きします。】**

自由記載

現在、策定中です。

**【その他、議会に対するご意見等を自由にお書きください。】**

自由記載

## 総務分科会 【防災】消防団

### 【回答者数】

回答者 11人（対象者 14人） 回答率 78.57%

### 【まず始めに、地域についてお聞かせください。】

選択肢	回答数	割合
1. 堀之内地域	3	27%
2. 小出地域	2	18%
3. 湯之谷地域	3	27%
4. 広神地域	1	9%
5. 守門地域	1	9%
6. 入広瀬地域	1	9%
無回答	0	0%
計	11	

団員減に伴う活動への影響について／地域での入退団状況について／消防団入団希望状況について

### 【問1 地域での消防団後継人材はいるかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. はい	1	8%
2. いいえ	3	23%
3. 既に不足している	7	54%
4. その他	2	15%
無回答	0	0%
計	13	

#### 4. その他の内訳

そもそも人がいない。

ほぼ把握しておりません。

#### 意見

祭の時に顔を出した若手に声をかける手法くらいしかないです。

【問2 入団依頼に対し、どのような状況で応じてもらえるかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. むしろ希望する	2	17%
2. 致し方なく応じる	7	58%
3. まったく応じない	2	17%
4. その他	1	8%
無回答	0	0%
計	12	

4. その他の内訳

若い方があまりおられません。

意見

消防団イコール面倒というイメージが強いので勧誘するほうもとても心苦しいです。

入団依頼の前に親が出てきて、門前払いをくらう。

【問3 勧誘活動は行っているかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 積極的にしている	2	18%
2. 一応している	9	82%
3. 全くしていない	0	0%
4. しても無駄	0	0%
無回答	0	0%
計	11	

意見

人材を把握できないので把握ができる市や地域と一緒に勧誘できれば今よりはより良くなると思います。

一応しているが、本人しだいである。

【問4 区長等を通じて区として取組はあるかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. ある	2	18%
2. ない	8	73%
3. 区も取り組まない	0	0%
4. その他	1	9%

無回答	0	0%
計	11	

#### 4. その他の内訳

防災訓練など場合によってはあります。

#### 意見

区から活動費をいただいているくらいで、どのようなあり方が普通なのか分かりません。もちろん依頼があれば動きますが、まず本部に連絡を入れていただくルールを知らなかったりします。

**【問5 勧誘しているが入団に協力できない場合、その考えられる理由についてお聞きします。(複数回答可)】**

選択肢	回答数	割合
1. 消防団活動は面倒	9	30%
2. 自由時間を奪われる	11	37%
3. 消防団員として地域貢献は考えない	3	10%
4. 家族が反対する	4	13%
5. その他	3	10%
無回答	0	0%
計	30	

#### 5. その他の内訳

仕事で出れないから。

入団したら辞められないでしょ？とお断りされます。

日曜が仕事のため演習に参加できない。

#### 意見

親が「やらない」と断ってしまいます。引き受けたら終わりみたいなイメージをなくさないと、なかなか協力してもらうのは難しい。

農耕期に消防活動が多すぎる。

## 退団者の状況について

**【問6 退団者の人数は増えている状況かお聞きします。】**

選択肢	回答数	割合
1. はい	6	55%

2. いいえ	2	18%
3. 状況による	3	27%
4. その他	0	0%
無回答	0	0%
計	11	

<b>4. その他の内訳</b>

<b>意見</b>
辞めないでいてもらっている状況だと思います。

**【問 7 退団希望に沿って退団を認めているかお聞きします。】**

選択肢	回答数	割合
1. はい	4	36%
2. いいえ	1	9%
3. 致し方ない	6	55%
4. その他	0	0%
無回答	0	0%
計	11	

<b>4. その他の内訳</b>

<b>意見</b>
そもそも退団できないことはあってはならない。徴兵制ですか。
無理に引きとめられません。

**【問 8 退団希望の方に延長を求めているかお聞きします。】**

選択肢	回答数	割合
1. はい	5	42%
2. いいえ	1	8%
3. 応じてもらえそうにない	3	25%
4. 状況による	3	25%
5. その他	0	0%
無回答	0	0%
計	12	

<b>5. その他の内訳</b>

<b>意見</b>
辞めたい人に圧をかけてはいけない。
人員不足なので、おのずと延長の流れになります。

**【問9 消防団の人員不足を解消するための意見や提案をお聞きします。**

**例：活動の制限を設ける、処遇改善や加算が必要、訓練を減らす等】**

<b>自由記載</b>
飲み会の廃止、費用弁償の増額
例の意見に賛成
消防演習が負担となっている。そのイメージがあり良くない方向となっている。活動時間も長い ため1～2時間程度がちょうど良い。実際の火事場を想定した訓練が望ましい。
全ては金だと思います。
強制されるポンプ操法大会、それに伴う練習は、これをきっかけに来なくなる団員も少なく ありません。顔を出さなくなり来づらくなり来なくなります。在籍する団員が来づらくなるき っかけを作ってはいけません。ただ、ポンプ操法は大事です。消防学校の入校強制も良くない と思います。なすり付けあいになります。退職金の上限が30年ですが、30年の時点で1回精算 したほうが良いのではないのでしょうか。今の時点で30年以上活動している団員も多いと思 います。ベテランは大事です。
処遇改善、県大会がある年だけ市長杯を実施
行事を減らす、なくす
活動の制限を設ける、処遇改善や加算が必要、訓練を減らす
ポンプ操法大会のための訓練をなくし、実践的で負担の少ない訓練にする。
活動を制限した機能別団員制の導入、処遇の改善

**平日の日中の消防団の充足状況について**

**【問10 所属分団内の団員就労状況をお聞きします。(いずれかにチェックしてください。)]**

選択肢	回答数	割合
1. 自営	0	0%
2. ほとんどが地元就労者	9	82%
3. 市外だが近隣市への就労が多い	1	9%

4. 遠方に就労している団員が多い	1	9%
無回答	0	0%
計	11	

【問 11 自営、地元就労者の職種をお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 公務員	3	17%
2. 農業	4	22%
3. 商業	2	11%
4. 建設土木等工業系	5	28%
5. フリーランス	0	0%
無回答	4	22%
計	18	

【問 12 所属分団内の日中の団員の就労状況と活動実態をお聞きします。(複数回答可)】

選択肢	回答数	割合	
1. 地域内で就労していて連絡が取れる状況にあり緊急時に対応できる。	4	15%	
2. 市外であるが近隣市であるため有事の際は活動可能である。	2	7%	
3. 日程が明確な活動（演習、器具点検、行方不明者捜査等）は参加できる。	7	26%	
4. 入団はしているが仕事が遠方のためほとんど活動が見込めない。	6	22%	
5. 仕事等に限らず活動実態のない団員も多い。	はい	4	15%
	いいえ	1	4%
	その他	0	0%
無回答	3	11%	
計	27		

5. 仕事等に限らず活動実態のない団員も多いという間に「はい」と回答して、年間を通して活動実績がない人数
32 人中 5 人
11 人中 4 人
58 人中 2 人
50 人中 20 人くらい

【問 13 消防団員の活動実態に対して意見や提案に不安を感じることをお聞きします。(自由記載) 例：有事の際に団員との連絡困難、少人数での活動が危険、平時の活動が行えない等】

自由記述
人が居ないのでポンプ積載車を減らして欲しい。維持ができない。
ポンプ操法の大会等廃止（班内での編成が厳しい、夜の練習が多いためプライベートの時間も減る、そもそも意欲が無い人も多い）
ポンプ車を扱える団員が限られている。
人が集まらない。平日、会社が休みをくれない。
分団内3部ある中の1部がほぼまとまりがない状況です。十数年続いている状況のようです。今の立場になり初めて知ったので対応に困っています。この場合の対応策を提案してもらいたいと思います。少人数ではとても解決できる問題ではありません
少人数（決まった団員）での活動に危機感がある。特に7分団2部（吉田）の班
有事以外活動しない。
通常点検など平時に人が集まりにくく、一部の団員に負担がかかってしまう時がある。
平時の活動が行えない。
市役所勤務の団員の活動を可能とする。

## 団員減少が進む中での今後の活動について

【問 14 これまでの消防団活動で団員減少により困難と思われる活動をお聞きします。いずれかにチェックしてください。】

選択肢	回答数	割合
1. 火災等消火活動	5	29%
2. 地域への予防活動（啓発、情報伝達、意識向上等）	2	12%
3. 災害時の対応（救助活動、避難誘導活動、安否確認等）	3	18%
4. 行方不明者捜索に係るマンパワー不足	2	12%
5. 消防機材庫等、機械、施設の維持管理	1	6%
6. その他	4	24%
無回答	0	0%
計	17	

### 6. その他の内訳

人が居ないのだから、選択肢の全てでは。
演習等のイベント事への参加も難しい。

行事

【問 15 消防団員の減少により今後の活動についてお聞きします。いずれかにチェックしてください。】

選択肢	回答数	割合
1. 活動は範囲を整理し見直しする。	4	33%
2. 広域的な活動に制限し地区内の活動は自主防災組織に移行する。	1	8%
3. 地区内の活動を重視し広域なことや専門的なことは公や民間業者に任せたい。	5	42%
4. 特別な技術が必要な事柄は機能別消防として組織し活動部隊とする。	1	8%
5. その他	0	0%
無回答	1	8%
計	12	

#### 5. その他の内訳

【問 16 消防団員の処遇についてどう感じているかお聞きします。

選択肢	回答数	割合
1. 満足している	0	0%
2. ある程度納得している	5	45%
3. 不十分である	5	45%
4. その他	1	9%
無回答	0	0%
計	11	

#### 4. その他の内訳

年報酬を上げるのはいいが、会議等に出席した時の手当を上げたほうがいい。

処 遇 について 改善 していく こと と

後 継 者 不 足 解 消 の 連 動 について

【問 17 団員減少に一定の歯止めをかけるために何が必要かご意見をお聞きします。（自由記載）】

自由記載
不可能。8分団の地域だけを見ても、例えば私が小学6年生の時、児童は86人居た。現在、同地域に児童は13人しか居ないことを見れば言いたいことは分かると思う。人口が居ないのだ。今の人が死ねばさらに減る。
処遇の改善
楽しみを増やしたらどうですか。
春季消防演習や出初式がそうなのですが、労をねぎらっていただくのは大変ありがたいのですが、消防団に対しての話が多いと思います。炎天下の中や寒い中、消防団員に話をするよりも仕事が終わったら早く家に帰して、来賓の方々は外へ向けて市民に対して、その時の演習内容の感想を発信していただければ消防団の活動PRになると思います。
歯止めは不可能かと思う。移住者を巻き込んではどうだろうか。現消防団の魅力がないと思う。
最小まで減らすべき、活動実績のない団員が多すぎる 2/3 はない。
そもそも人口が減っているので減少に歯止めはかからない。消防団員以外の地域の人との協力が必要。
若者が魚沼に残りたいと思うような町になればいい。子を持つ親にも消防団活動を理解してもらいたい。
2030年問題として、15～65歳の生産性人口の割合が3割減少するという総務省の人口データを基に考えると正団員他、機能別団員制の導入や市役所等に勤務する団員が活動できるように環境を整える。

**【問 18 「市民の生命、身体や財産を守る」といった崇高な使命を果たすため指揮命令系統を一本化し、来る大規模災害に一刻も早く備えるべきとの職責がある中、今後消防団形成を図り団運営していくためにもこれまでどおりの活動が可能か。また、どのような運営が次世代の消防団につながるかご意見をお聞きます】**

自由記載
今の維持は不可能。最低でも旧町村一つに一分団とし、合併整理をしなければならない。
年々幹部の役をやりたがらない団員が増えてきてます。部長以上の役職や運営は別機関に任せる仕組みにできないでしょうか。今の自分の立場で仕事をしながら今の量の連絡をこなすのは仕事に支障がかなりあります。次世代の人材はやりたがらないと思います。
これまでどおりの活動が不可能になりつつある。
様々な組織と連携し事業を見直す。
有事のときだけ活動すべき、数年に一回くらい練習をしてもよい。
消防団は団長を頂点に指揮命令系統は一本化されている。団関係者以外が入ってこない限りこれまで通りの運営は可能だと思います。
組織のスリム化は最重要と考える。地域で“地元を守る”活動や、声かけを行政も積極的に

う。

**【その他、議会に対するご意見等を自由にお書きください。】**

**自由記載**

昔の常識、今の非常識。今の常識、未来の非常識。私は若くないので何も言えないが、年輩層は若い人の話を聞くべきである。

消防団のことに限りませんが、より良い魚沼市になっていくことを期待しております。

消防団をどのように思っているのか。消防団減少に対して議会でも対策して欲しい。このままでは消滅の可能性がある。

全団員にアンケートをとるべき

急に制度を変えて混乱がおきないようにお願いしたい。

## 総務分科会 【防災】防災士

### 【回答者数】

回答者 32人（対象者 47人） 回答率 68.09%

### 【まず始めに、地域についてお聞かせください。】

選択肢	回答数	割合
1. 堀之内地域	14	42%
2. 小出地域	7	21%
3. 湯之谷地域	2	6%
4. 広神地域	6	18%
5. 守門地域	3	9%
6. 入広瀬地域	1	3%
無回答	0	0%
計	33	

## 防災士資格と取得について

### 【問1 防災士の資格をどのように知ったかお聞きします。いずれかにチェックして下さい。】

選択肢	回答数	割合
1. 公的機関のホームページ	5	15%
2. 先進的な活動事例	1	3%
3. 取得者からの情報等	9	27%
4. 市の制度を知り、改めて資格の内容等調べた	7	21%
5. その他	11	33%
無回答	0	0%
計	33	

### 5. その他の内訳

職場での取組

消防団

自治会（区長）の推薦を受けた。それまで知らなかった。

自治会ですすすめられた。

町内会長より聞いた。

行政からの指導

集落の役員会にて
知人の紹介
警察 OB として退官後も社会に貢献したい考えから資格取得した。
2003 年以降職場の管理者一括で研修を受け資格を取って、今は市の要請も受けて取得している。
地元集落からの依頼

<b>意見</b>
固まった組織がないので、どう動けば良いか何をすれば良いかがわからない。

**【問 2 防災士を取得した経緯をお聞きします。いずれかにチェックしてください。】**

選択肢	回答数	割合
1. 自ら興味があり申し込み自費で試験を受講した。	6	18%
2. 職場で必要があり職責において取得した。	4	12%
3. 消防団等で取得の要請があり公費で受講した。	3	9%
4. 自治会（自主防災組織等）で市の制度を利用し公費で受講した。	18	55%
5. その他	1	3%
無回答	1	3%
計	33	

<b>5. その他の内訳</b>
必要と判断、一町内に誰もいなかった。

<b>意見</b>
講習会が 2 日間と長い。

**【問 3 資格取得後、防災に関する情報収集、研鑽や自主的な活動は行っているかお聞きします。】**

選択肢	回答数	割合
1. はい	12	27%
2. いいえ	5	11%
3. ボランティア活動に参加	7	16%
4. 勉強会に参加	15	34%
5. その他	5	11%
無回答	0	0%
計	44	

5. その他の内訳
資格取得後、日本防災士会に4～5年入会していたが、会費5,000円が高くて県内での研修会等の開催がなくて退会した。
NPO うおぬま防災ネットワークに参加
消防団に在籍
時折、町内会に防災一口メモのようなものを作成して配布しています。
集落の行事に参加

意見
NPO うおぬま防災ネットワークに参加している。
防災訓練には意見を述べたり訓練方法の立案などをしてきた。防災士からの災害時における行動についての話があったりで少し前へ進んでいる。

**【問4 具体的な活動をお聞きします。**

**例：市の勉強会、自治会防災訓練の企画等、防災機構等の勉強会、職場の防災活動等】**

自由記載
防災勉強会、学校関係の防災教室
基本的に「市の防災士会」がないことが致命的、防災士と自治会との関係が希薄である。せっかく、自治会からの要請で資格取得したのに、自治会内部で防災士の位置付けが全くないのが実情で残念です。
自治防災会、NPO 防災ネット
市の勉強会（防災士向け）、NPO のイベント参加、自治会での地区計画検討等
能登半島地震ボランティア及び企業にて炊き出し支援他
市の勉強会に参加、2023年より「特殊勤務」に就いているため時間が合わず市の勉強会にも出席できていない。
ドローンの資格取得
自治会の防災訓練のサポート
NPO うおぬま防災ネットワーク、結愛には加入してイベントなどに参加しています。
市の勉強会、自治会防災の企画等
市の勉強会にできるだけ参加している。自治会の防災訓練では毎年協力している。
一次避難所開設（台風～4.9.19）、能登半島地震発生時の安否確認を区長として指示した。
NPO うおぬま防災ネットワークに参加している。市の勉強会、防災機構等の勉強会

市の勉強会に何回か出席
自治会の防災訓練時の講話
市の勉強会、新潟 2019 への参加
市の勉強会への参加
現在なし
現在はありません。
自主防災訓練の企画、市の勉強会
自治会への防災計画・訓練の手伝い、消防団へ水防等に関する意見
市防災関連セミナー、うおぬま防災ネットワークの活動参加
市の勉強会（2023 年度）、自治会の防災訓練（7/21）
自治会防災訓練の企画、市で大勢集めて研修しているが、それよりも小規模での防災士同士の話し合う場が欲しい。災害時に活動するというより、災害が起きた時どう行動したら良いかを住民に啓蒙する場をつくるのが大事かと思う。
コミ協活動での防災訓練、イベント
新潟県土木職員 OB で組織する地域創造センター、砂防ボランティア協会等で実施する研修会に参加している。県・市と砂防ボランティア協会で実施したすもんこども園先生を対象とした土砂災害に関する講演会に講師として参加した。(R5.7.5)
市勉強会、魚沼防災ネットワーク事業に参加
市の勉強会、自治会避難計画の策定

**【問 5 自治会（自主防災組織等）で防災士として取り組んでいるかお聞きします。】**

選択肢	回答数	割合
1. 積極的に取り組んでいる	10	29%
2. 自治会に対して意見している	7	21%
3. 取り組んでいない	10	29%
4. その他	1	3%
無回答	6	18%
計	34	

**4. その他の内訳**

防災士であることを教えていない。

**意見**

防災訓練時のミニ講話などに対応したりはしている。自治会役員に提言しても反応がないので最近

はやめた。
今年度より自治会と協力して取組を開始
認知されていないのでは。
避難計画（地震を想定）作成時のアドバイス、要支援者マップの作成

**【問6 防災士としての取組をお聞きます。】**

**例：自主防災組織企画等の会議に参加、地区防災計画立案（防災訓練企画等）、地区内要支援者の取扱い等】**

自由記載
自治会からの話がここ数年全くない。
自主防災会参加、NPO 参加
勉強会参加、NPO 活動に参加、自主防災組織での活動
他の防災士の方がどのように活躍しているか知りません。
新潟県庁と今は災害に対してヒアリングをしています。県内全ての自治体に今後は防災の重要性を伝えていきます。
自主防災組織の会議参加、要支援者の災害時支援（1月能登半島地震）
自治会防災企画会議の参加
地域で要請があればできるだけ協力している。
区長として自主防災会に参画
要支援者について個人情報とのことで一部の人がしか公表されない。その一部の人が不在時に災害が発生した時に対応が遅れたら避難が遅くなり犠牲者が増えると考え。ある程度の公表は必要。
自主防災計画等の会議に参加
集落内の防災訓練企画
地区におられる要支援者の在宅マップを作成し、各班の班長及び自治会長に渡した。
自主防災組織における避難計画、地区の住民の把握
自治会の防災計画立案へ参画
地区では活動がない。
地域防災計画立案会
市が主催する防災士を集めた講演に参加
地元自治会での防災担当者
魚沼防災ネットワークの企画・事業に参加

自治会における防災計画、避難計画、要支援者の把握他、防災用資機材・備蓄食糧の配備

【問7 自主防災組織内防災士と、地域消防団との連携や協働はあるかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. おおいにある	2	6%
2. 意見交換程度はある	4	12%
3. 防災訓練等では連携する	7	21%
4. 全くない	15	45%
無回答	5	15%
計	33	

#### その他意見

NPOはあるが、自主防災会はない。消防団員が地区にいない。

今後強化予定

自主防災組織が防災士や消防団を必要としているのか疑問

消防団は公助であり連携はあるが協働は難しい。災害時は活動が別になると思う。

## 防災士としての活動について

【問8 防災士として活動経験があると回答いただいた方にお聞きします。直近の災害も踏まえ、今後は積極的に活動をしていく必要があると考えますか。】

選択肢	回答数	割合
1. おおいにある	11	34%
2. 知識習得程度は必要	9	28%
3. あまり重要と考えない	0	0%
4. 必要ない	0	0%
無回答	12	38%
計	32	

#### その他意見

【問9 問8で1. おおいにある、2. 知識習得は必要と回答された方にお聞きします。自治会等において具体的な取組や構想を教えてください。

例：自主防災組織の強化、地区避難計画の策定、避難所運営に係るマニュアル化等】

<b>自由記載</b>
A 自主防災組織の強化、B 地区避難計画の策定、C 避難所運営に係るマニュアル化等とも大いに必要と感じる。特にB、Cに関しては毎年見直しが必要だが、自治会（自主防災組織）にその気がない。
地域によって温度差があるように感じる。防災組織の強化は必要。
ボランティア等も考えられるが（個人として）まずは、地域防災の見直しを計画したい。
各地区、地域にトイレの設備（有事）、住民が自助の意識を持ってもらえる活動をしていきたいと思えます。
地区避難計画の策定
自主防災組織の強化、避難計画の策定、避難所運営マニュアル整備
避難計画の策定について、災害の種類について、それぞれの避難経路が変わることを住民に知ってもらう。
一次避難所にマニュアルまで必要なし、食事、寝具等の提供は考えていない。
中越地震を例にとると被害の甚大だった地域は積極的に活動していると思うが、被害の少なかった地域は消極的と言わざるを得ない。まずは住民の防災意識の向上。
自主防災組織の強化
一次避難所の設置位置
集落の防災について、あとは実践のみ
自主防災組織の強化、近隣地区の防災士との連携、協力体制
自主防災組織の立ち上げ、防災計画立案の途上の旨、具体的な活動実施はできていないが、自治会長に協力し計画策定に参加している。
例の全てが必要
自主防災組織の強化、時に隣接する自治会等と災害時の協働を強化すべきだと考える。
どのエリアに誰が、どんな人が何人防災士の資格を持っているか分からないので、市より自治会で集めて顔を知り合ったうえで、取組の強化や避難計画の策定に参加させるべきと思う。
各世帯の現状把握と助け合いのプラン作成、自主防災組織の強化
自主防災組織の強化
防災計画～避難計画の策定他

**【問10 問8で3. あまり重要と考えない、4. 必要ないと回答された方にお聞きします。これまでの活動や経験を踏まえ、なぜ重要と考えなくなったのか教えてください。**

**例：自治会の理解が得難い、毎年役員が変わり継承しにくい、災害はその時対応で可等】**

<b>自由記載</b>
-------------

--

【問 11 自治会（自主防災組織）では自然災害等に備え会議や訓練等を企画しているかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 独自防災会議や訓練は行う	10	30%
2. 市の要請等があれば行う	9	27%
3. 特にない	5	15%
4. その他	4	12%
無回答	5	15%
計	33	

4. その他の内訳
自治会でその会議や内容が全く地区民に知らされていない。
年に2度防災訓練を行っています。
訓練の実施はあるが、充実しているとは言えないと思う。
自治会役員のみでやっているらしい。

意見
今後は独自も計画したい。
区役員は積極的に活動しているが住民の防災意識が低い。
私は自治会運営の立場でないので、正確にはわからないが。

【問 12 自治会（自主防災組織）は防災士の立場を理解して積極的参加や意見を求めているかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 防災士として活動は求められる	18	56%
2. 防災士として立場は理解していない	9	28%
3. その他	1	3%
無回答	4	13%
計	32	

3. その他の内訳
分からない

意見
防災士 5 名、毎年自治会が受講者決定、今後は活動の中心となる。
講師など依頼されて行っている。
特に指示や要請はないが、集合した場所で防災士からの講話があった。

**【問 13 自治会（自主防災組織）が防災士を活用するために必要なことをお聞きします。  
例：防災訓練等で防災の意見の取り入れ、地区防災計画（避難計画）の立案等】**

自由記載
自治会が防災士の活用を考えていない。
ボランティアとなるが人材（人数）がない。
地区防災計画（避難計画）の作成予定
意識（負担増、面倒等）を変える。
自主防災組織の一員として行動してもらうこと。
防災訓練、防災計画の立案等
避難計画、避難所の運営等
防災士の制度を知らない人が多い。
防災訓練等で防災の意見の取り入れ
防災の意見の取り入れ
防災備品の点検
防災士の役割を確認してもらうこと。必要以上に過大な期待をかけられないようにするため。
各地区にあった防災計画の作成
防災訓練等で防災の意見の取り入れ
例の通り
まずは地域（自治会）防災計画の立案と作成
自治会として会議や検討会に招いて欲しい。もっと全体化するかもしれない。
他集落との合同防災計画、単独集落では限界がある。
地区防災計画（避難計画）の立案
自治会において避難計画を作成したが、この計画が機能するかどうか検証が必要と考えます。

**市が防災士取得の補助制度を設け  
自治会等に受講者を募っていることについて**

【問 14 今後も防災力強化のために防災士の育成に取り組むべきかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 取り組むべき	16	46%
2. 活動実態もなく不用	0	0%
3. 取得後の支援が必要	11	31%
4. その他	2	6%
無回答	6	17%
計	35	

4. その他の内訳
防災士会の設立が不可欠
女性防災士の育成

意見
まだいない地区もある。早く取得した人は高齢化している。⇒要す交代
できれば女性も受講していただきたいのだが・・・
自主防災組織に受け入れられる下地が必要。
避難所の運営には女性の視点が必要
区の役員だったから仕方なく受講した防災士が多すぎる。資格だけで知識のない防災士をもっと指導すべき。(公費で取ったのだから。)
防災意識の向上、若年層の取り込み
現防災士の組織化強化し、自治会への認識を促す。
活動実態がないが、活動できる体制を整えるべき。

【問 15 市は、資格は取得させるが何をすべきか活動を明確にすべきと意見がある中でお聞きします。いずれかにチェックしてください。】

選択肢	回答数	割合
1. 市ではなく地域の災害特性を理解し地区が独自で防災士の活動を見出す	10	29%
2. 防災士の活動マニュアルや手引きを作成し活動の手順等の指導	6	17%
3. 取得することが目的で全体像として防災力のある魚沼市	14	40%

とるか見えない		
4. その他	0	0%
無回答	5	14%
計	35	

<b>4. その他の内訳</b>

<b>意見</b>
過去に被災をしたことがない地域は、あまり必要と感じないのでは。
市と防災士の対話がなさすぎる。
受講者を集落から何人出してくれではなく地区割も大事だが、希望者を募り「やる気のある防災士」を育成すべきである。
市が自主防災組織に呼びかける。

**【問 16 自治会（自主防災組織）、防災士の活動、災害に強いまちづくりに関してご意見をお願いします。（自由記載）】**

<b>自由記載</b>
防災食等備蓄していると聞いているが、各町内ごとに保管できないか。水害等に備え避難所を設けているが、公共施設の場合、役所の対応を待っては手遅れになる可能性がある。
災害に強いまちづくりと言うが水害が出る所はだいたい同じ。そこの改修とかはぜんぜんない。
防災士というか受講等により知識や役割が理解できる。その意味でもひとつの手段として防災士を増やしたい。
魚沼市は災害も少ないからこそ、いざという時の自助は大切
防災士に「求めること」も大事だが、防災を理解する「防災士」を増やすことが大事。特に魚沼市は「女性」防災士が少なくバランスに長けた活動になっていない。
地域のコミュニケーションができていないと災害時に大変です。
自治会での活動が全くと言っていいほど計画されていないため、私が時折、一口防災指導を実施しています。
RC シェルターの拡充
先に述べたが、まず住民の防災意識の向上が先。非常時でなく、平常時に防災士、消防団（署）で連携して防災訓練や講習会等の住民教育が必要。同時に防災士の教育も急務。
防災士の横のつながり
コメリなどで売っている防災リュックのようなものを各家庭に常備することの意識化、防災に

おける自力でやるべきことの意識化
地域住民の方々が災害（避難）に対する理解を深めるため訓練の繰り返しが必要と思う。そのため自治会が、行政がその環境づくりをするべきと思います。
市がやることで地元で進める考えが小さい。自治会長会議で必要性を認識してもらおう。
県→市→自治会連合会→地域が連携がとれる組織を希望してます。
市は自治会にもう少し強く働きかけて、自治会と防災士の連携した組織づくり、防災士への研修をやるべきと思う。
災害発生後、避難生活が長期化した際のインフラや衛生環境の維持が重量だと思えます。
自主防災組織率は100%に近いが「活動率」は低いと思う。今後は活動率を上げる取組が必要と思う。
自治会の役員が毎年代わり自主防災組織が根付いていない。課題をどう引き継ぐのか。

## 市が進める地区防災計画（避難計画）について

【問17 市がこの計画を策定するよう区長宛てに依頼をしているが、知っているかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 既に自治会と進めている	5	16%
2. 知っている	7	22%
3. 知らない	19	59%
4. その他	1	3%
無回答	0	0%
計	32	

### 4. その他の内訳

防災士です。

### 意見

始めました。

自治会として役員は知っているかもしれないが区民に周知はしていない。

毎年代わる区長、役員に漠然と計画策定しろとは無理（難しい）。防災士と地区有識者で策定して地区に提示する方法はどうか。（区長も入る。）

【問 18 国、県、市が地区ごとに計画を策定するよう推奨しているが必要と思うかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 絶対必要	16	48%
2. あるほうが良い	14	42%
3. あまり必要でない	2	6%
4. なくてよい	0	0%
5. その他	1	3%
無回答	0	0%
計	33	

### 5. その他の内訳

分からない。

### 意見

計画策定後の取組は尚重要だと思う。

災害ハザードマップだと広すぎて現実味がないような。

絵に描いた餅になりそう。

公助が到達するまで住民の生命を守るという意味で絶対必要。

それぞれの地域に合った計画が必要。

【問 19 地域住民の安心安全を担保するための地区防災計画（避難計画）の在り方についてご意見をお願いします。（自由記載）】

### 自由記載

地域により事情が異なるので一律的な計画は無理があると思う。

計画策定することが目的ではないので、策定後も毎年見直しするなど継続活動がなにより重要だと思う。

高齢者の避難方法とかベットがいる家の避難先とか難しい。

やはり地域ごとに状況は違う。若い人が少ない。昼には居ないなど災害時の対応は準備が必要。

計画を立てても周知・実践できなければ机上の空論、区長・役員に意識がなければ負担増と思われるだけで進まない。

水害ハザードマップを確認した際、地域一帯が水没することを理解。そもそもこの地域に住んで危険なので計画を作成したとしても「着地点」はないと考えます。

自主防災組織で避難名簿を作成する。自主防災会で災害時どのような対応をするか考えておく

こと。
早急に話し合い作成していく必要あり。
人に頼るだけでなく、自分のことは自分で（自助）という考えで行動できるよう心がけていただきたい。
特に高齢者世帯の避難計画の具体的立案
〇〇地域の避難場所は〇〇ですと表で配布するのではなく、あなたの避難場所は〇〇ですと明確に示すべき。実際に自分の避難場所を知っている人は少ない。
各種災害により計画策定が必要と思う。多岐に渡り大変。
実用性のある計画づくり
高齢化が進む中、それぞれの自助努力が求められると思う。極力簡素でわかりやすい「計画」を策定していくべき。
地域防災の柱、組織を地域の中で役員が協力する形で別に作る。
避難所における安全の確保（犯罪等）を考慮した計画策定をしていただきたい。
風水害、土砂崩れ、地震、豪雪等の災害の被害が違うので避難方法、避難場所をケースごとに示しておくことも良いと思う。
地域防災計画は、現地の状況を一番知っている地域住民自ら作り上げる計画であるが、市がリードしないと、まとまらないと思う。作成の過程で地域の課題も見えてくるので是非必要である。
地域防災計画ができる地区を公表し全体に広げる工夫を。

**【問 20 魚沼市の防災政策についてご意見やご提案がありましたらお願いします。】**

<b>自由記載</b>
NPO 防災ネットワークに対する補助支援はあるが防災士に対しての助成が全くない。せめて帽子とか名入り（防災士）安全チョッキとか配布されたらどうか。
防災公園とか。個人情報があり通常の付き合いがない人を知らない。町内会とかでも民生委員もわからないと・・・
イベント、勉強会の回数は多いほうが良い。（都合の良い日に参加できる。）
働き方改革も大事ですが、自ら足を運んで現場を見て現状に寄り添った提案をしてもらわないと響きませんよ。
魚沼市は防災に関心なさすぎ。危機管理課しっかりしてください。
会社でも要職にあるため「有事」では、会社での防災活動が優先される。市として防災ビジョンを明示することも大事です。
女性の防災士をもっと増やす必要がある。

地域防災計画の中で市として日常よりしておくことができていない。
高齢者の一人世帯の場合、緊急情報の把握が難しいと思慮される。各戸へのスピーカー等の設置が必要。
安心して避難できる施設の絶対数が不足している。
公費による防災士の取らせっぱなしは良くない。ちゃんと教育すべき。地域ごとに人数を選出すると仕方なく区役員が受講することが懸念される。本当に真剣に取り組んで頂ける方を募るべき。
防災安全課の方へいっぱい意見しているから。
「各地区の防災計画」と市が設置する「避難所運営」をきっちりとリンクさせることが大切と考える。→避難所運営における地区の役割
防災政策と直接関係はないと思うが防災無線の使い方をもっと考えたほうが良い。
現防災士のリストを作成し、各地域で活躍できる姿を作っていく。
避難所における安全の確保（犯罪等）を考慮した計画策定をしていただきたい。
防災計画の作成、ハザードマップの作成・公開等は整備されているが、住民の防災意識を向上するための防災教育や訓練がさらに必要と思う。
行政がイニシアチブをとり関係機関との協力が必要。

**【その他、議会に対するご意見等を自由にお書きください。】**

自由記載
議会の皆様の活動に感謝です。
防災士活動に特化したアンケート、このようなピンポイント課題に対するアンケートは初めてじゃないか。いいことですね。※アンケート結果を「宛名」の方全員に配布を必ずお願いします。
共助案件が多い。人が減っている中で地元に行って欲しいは分るが厳しい。旧市町村単位くらいの組織（団体）が必要なのではないかな。
大いに期待します。
2月議会でトイレ問題が出てましたけど、何か進展ありましたか。全く言うだけで実行しない議員は要らない。市長がもう少し積極的に災害、防災意識を持っていただきたい。
少子高齢化で人口減少が現実化している中、10年間のまちづくりを策定することは苦勞に察します。「何をを目指したいのか」の目線を大切にしたいです。このアンケートも「紙」の他、「QRコード」から電子回答をお願いしたいです。
資格は取ったが、その後勉強していないので研修で受けたことを忘れてしまっています。時間があれば再研修する必要がある。
災害時議会としての対応はどうするのか考えていますか。
議員の中に防災士はいるのか。

このアンケート自体、何を求めているのか分からない。具体性に欠ける。
このようなアンケート、メール等、電子で返答できるようになりませんか。書くのが面倒です。 (字が下手なので)
議員として積極的に活動に参加してもらいたい。
このアンケートは同じような設問が続いてくどいと思います。簡潔にお願いしたい。苦言で申し訳ありませんがアンケート作成に対してもっと勉強したほうが良いと思います。
安心安全の魚沼市のためにバックアップの程お願いいたします。
防災士に問うより自治会責任者がどう考え、どう動くかを問うたほうが考え方がはっきりすると思う。
議会がこのような防災に関するアンケートを実施することに敬意を表します。できれば、回答は紙でなくオンライン形式でやっていただきたい。
防災は、市と一緒にあって取り組んで欲しい。

## 総務分科会 【防災】自治会（自主防災組織）

### 【回答者数】

回答者 44人（対象者 68人） 回答率 64.71%

### 【まず始めに、地域についてお聞かせください。】

選択肢	回答数	割合
1. 堀之内地域	11	25%
2. 小出地域	20	45%
3. 湯之谷地域	3	7%
4. 広神地域	4	9%
5. 守門地域	6	14%
6. 入広瀬地域	0	0%
無回答	0	0%
計	44	

## 自治会（自主防災組織）の防災への取組について

【問1 直近の自然災害に対し自治会内で防災に対する意識は高まっていると感じるかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 高まっている	4	9%
2. 意識はあるが高まりはない	34	77%
3. 関心はないようだ	5	11%
4. その他	1	2%
無回答	0	0%
計	44	

### 4. その他の内訳

水害、土砂崩れの心配はなく地震と雪だけである。

【問2 これまでの自然災害に対し区民の声や意見がありましたら記載下さい。（自由記載）】

### 自由記載

市より車等でのアナウンスがありますが、なかなか聞き取りにくいとのこと。

高齢者が多いので動ける人が玄関前の雪片付けや健康状態の情報を共有するようにしている。（同じ

班の10軒程度)
災害に対し行政がもっと積極的になったほうが良いと思う。
毎年マンネリと思われても防災訓練はする（させる）べきとの意見がある。
自治会では、災害の起こりうる場所等を市担当者が注意等を調査と即答できないか。
高齢者や独居老人が増え、災害時の避難に不安の声が多くなっています。（足が不自由など）
急傾斜地があったり、集落内に川があり大雨等、川の増水時、集会所が川の近くなので避難場所の確保が必要。
今年度の勉強会で避難指針をまとめた。
隣接する川の川底が浅くなり大雨の時越水しないか心配。冬期の災害時避難所への移動が遠回りになるか心配。
幸い集落内で過去に大きな被害が無かったため、特に意見として聞こえてこなかった。
もっと近くに避難所を設定してもらいたい。遠くてなかなか行けない。
前大雨の時に河川の左岸の山の法面が崩れ、河川が埋まり土石流が発生し、県道も通行止になった。その後、災害復旧はされたが法面の根本的な対応がされていない。
自分の地域では、川の氾濫等の水害は考えにくい。地震、台風が大災害に結びつく可能性大、防ぐことが難しいか。
市へ水害に（防止）に関する要望書を何年も出しているが実現しない。

**【問3 貴自治会では防災に対する活動を行っているかお聞きします。】**

選択肢	回答数	割合
1. 積極的に行っている	6	14%
2. 市の要請に応じ行っている	29	66%
3. 行っていない	8	18%
4. その他	1	2%
無回答	0	0%
計	44	

**4. その他の内訳**

秋の江ざら時に避難訓練、防災講和等を行っている。

**意見**

班単位の声かけはしている地区である。

**【問4 問3で1. 積極的に行っている、2. 市の要請に応じ行っていると回答した自治会の具体的な取組をお聞きします。】**

**例：自治会独自の防災訓練（講話）応急手当、要支援者避難訓練、市の伝達訓練等】**

<b>自由記載</b>
町内全体での避難訓練
避難訓練の実施（ただし、参加者は少ない。）
当区では、区役員による状況把握、区民の安否確認が主と捉えている。単に集落センターに集合するだけの訓練は考えていない。初動体制が大切と考えている。
計画中、各町内で講話
毎年、役員が交代するので防災訓練で伝達訓練を行っています。
集落の防災訓練時に担架・組立式リヤカーを使用、防災士・消防団からの講話を実施
避難指針のまとめ、緊急時連絡網作成
防災訓練、防災の勉強会の開催
市の避難訓練に合わせて実施（毎年）、令和6年度はサイレン吹鳴がなかったため集落独自で防災訓練を実施、講師による講話、救命救急の実施、AEDの使い方、段ボールベット組立の体験等の実施
防災訓練時の町内安否確認くらい。
市の訓練に合わせた防災訓練、避難訓練の実施
市の伝達訓練
例年地区防災訓練を実施している。今年は7月21日（日）8時から実施
市の伝達訓練等、要支援者避難訓練（確認のみ）、防災器具の点検
避難訓練及び情報伝達訓練
市の避難訓練の実施
市の防災訓練、コミ協での防災講座等の実施
浦町町内会防災緊急連絡訓練（2023年度）
避難訓練
防災訓練など
聞こえない防災ラジオを各戸へ回り改善した。
市の毎年の防災訓練に参加、防災連絡網の整備
本年は市の防災訓練がほぼないとのことなので、当町内会の活動予定もない。
防災訓練、伝達訓練
市の伝達訓練
6月23日に集落単独で防災訓練を行いました。大雨を想定して、消防団から協力していただき全戸に伝達訓練を行いました。その後、集会所に40名くらい集まってもらい防災士の方より話をしてもらいました。

うおぬま防災ネットワークによる講話、災害食の各個人への配布
年一回の避難訓練のみ
避難訓練、防災備品の点検・確認など
自治会独自の防災訓練

**【問5 問3で3. 行っていないと回答した自治会の取り組めない理由をお聞きます。】**

選択肢	回答数	割合
1. 地区の理解が薄い	2	4%
2. 人手不足	1	2%
3. 計画が難しい	1	2%
4. 行う予定もない	4	9%
5. その他	1	2%
無回答	36	80%
計	45	

<b>5. その他の内訳見</b>

<b>意見</b>

**【問6 自治会（自主防災組織）が地区で防災活動を行うことに対し課題等をお聞きます。（自由記載）】**

<b>自由記載</b>
全体で高齢世帯が多くなっているため地区全体で活動するのが難しくなっている。
消防団に負う所が多い。
特に自治会で話し合ったことがない。
防災リーダーが活躍する場が少ないと思います。10分間でもよいので共同作業時の集合を利用して防災教育をやろうかと思っています。
当地域では長年にわたって重大災害がないので防災に対する意識が薄い
理解が薄い。
指定避難所に災害を想定して移動したことがない世帯がほとんどだと思います。その訓練をしたほうが良いと思うが参加者がいるかどうか。
周知方法

特に日中の時間帯は、高齢者のみとなり警戒レベル3からの対応が難しい。（高齢者、体の不自由な人）
関心が薄い（ない）、避難訓練が形骸化している、何をやってよいか分からない
高齢者が多く人材が少ない。
少子高齢化
想定をどのようにするかで内容は変わってしまう。そのため実施側の検討が必要。また平日昼間を想定した「自警団」的な活動も必要と考える。
自主防災組織の活動が不活発であること、自治会員一人一人の意識を高めること
平日の日中は高齢の人しか家にいない。
避難訓練の参加者が固定化
集まるのは老人がほとんど、色んな層が集まれる防災講座が必要か。
高齢な方ばかりです。
防災セミナーは、平日の夜など多くの人が集まりやすい設定にしてほしい。
防災組織はあるが活動は行っていない。

【問7 住民に対し、避難行動に関する知識・情報を啓発しているかお聞きします。

例：ハザードマップに掲載されている災害リスク、指定緊急避難所と指定避難所の違い、警戒レベルや避難情報等】

選択肢	回答数	割合
1. 啓発している	7	16%
2. 啓発を検討している	10	23%
3. 今後、啓発について検討する	5	11%
4. 啓発していない	16	36%
5. 分からない	3	7%
無回答	3	7%
計	44	

【問8 住民に対し、各家庭での災害対策の推進について啓発しているかお聞きします。

例：家庭内備蓄や非常持ち出し品の準備、住宅の耐震化や家具の転倒防止、感震ブレイカーの設置等】

選択肢	回答数	割合
1. 啓発している	6	14%
2. 啓発を検討している	6	14%
3. 今後、啓発について検討する	8	18%
4. 啓発していない	21	48%
5. 分からない	2	5%

無回答	1	2%
計	44	

【問 9 災害が起きた時や、今にも起きそうな時に、避難所で安否を確認したり災害情報を伝達したりする方法について地域で検討し、ルールを決めているかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 決めている	13	30%
2. 検討しているが決めていない	8	18%
3. 今後、検討する	8	18%
4. 検討していない	10	23%
5. 分からない	4	9%
無回答	1	2%
計	44	

#### 意見

災害ではないがクマ等を見た場合は、地域パトロール、お知らせ発信している。

【問 10 自力での避難が困難な方が地域にいるかどうかを把握しているか。また、そういった方の避難を支援する方法について検討できているかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 把握しているし検討している	13	30%
2. 把握はしているが検討していない	22	50%
3. 今後、把握・検討する	5	11%
4. 検討していない	3	7%
5. 分からない	0	0%
無回答	1	2%
計	44	

#### 意見

町内としては検討していないが、数人の有志では情報の共有はしている。

班内の家庭の人員等の情報共有の啓発、人員一覧等の作成（住民に説明済み）

## 自治会（自主防災組織）と消防団との連携について

【問 11 消防団不足が全国的課題となっている中、地域内消防団の充足をお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 不足していない	3	7%
2. 団OBもいるので心配ない	5	11%
3. 少なく不安	21	48%
4. その他	12	27%
無回答	3	7%
計	44	

4. その他の内訳
分からない。
団員の不足は理解しているが関心がない。
はっきりと誰が団員か知らない。地域でもう少し把握するべきと思う。
消防団は組織していない
地域内の若者の人数が減少しており、それに合わせるしかない。
若者がいない。
不明
不足はしているようだが充足は無理のようだ。
分からない。

意見
人員の心配よりも水の心配をして欲しい。
平日昼間（消防団不在時等）の対応を検討している

【問12 問11で3. 少なく不安と回答した理由をお聞きします。

例：火災時の初期消火等対応できない、災害時に避難誘導等不安、防災器具の取扱い、不安に思うこと等】

自由記載
町内全体では数名消防団員がいますが、班に分かれているのと高齢世帯も多いので人手が足りなくなるのではと思います。
高齢化で災害時に動ける人が少ない。
訓練不足である。訓練を促す待遇が整っていない。
活動・行動をして欲しい。
地元の消防団が少ないのも不安ですが、半数以上が会社勤めと聞きますので、日中災害時の初動の遅れ等が心配です。

災害時の活動ができない。
例として記載されていること全て当てはまる。
災害時の初期対応ができない。
消火器の取扱い等は、訓練で何人かにやってもらったが全ての人から一回はやっておいてもらいたい。
災害時に人数が少なく対応できるか不安。
若い地元消防団は昼間はいない。
少なく何もできない。
若い人が少ない。
消防団のなり手がいない。
今年2名の新入団員が入りましたが、今後入る人がいないと聞いています。
避難誘導の不安（高齢者が多いため）
火災時の初期消火、総会時に意見があったが返答できなかった。

**【問 13 自治会（自主防災組織）として消防団の勧誘を行っているかお聞きします。】**

選択肢	回答数	割合
1. 積極的に行っている	1	2%
2. 団に任せている	24	53%
3. 自治会として勧誘しない	17	38%
4. その他	0	0%
無回答	3	7%
計	45	

<b>4. その他の内訳</b>

<b>意見</b>

**【問 14 自治会（自主防災組織）として消防団を育成する事業や予算を計上しているかお聞きします。】**

選択肢	回答数	割合
1. 補助金を出している	15	34%
2. 活動慰労費を出している	7	16%

3. 特にない	18	41%
4. その他	1	2%
無回答	3	7%
計	44	

<b>4. その他の内訳</b>

<b>意見</b>
報酬が低すぎる。
区として予算を計上しているか不明。常会は何もしていない。

**【問 15 現在消防団と連携している事業があったらお聞きします。（自由記載）**  
**例：消防器具点検、空き家調査、避難経路確認、避難所設営等各種勉強会等】**

<b>自由記載</b>
お祭りの警備
コミュニティ協議会で参加していただき、自治会に対しての意見を聞いている。
集落の祭の時に上げる花火の時の警備、防災訓練時の防災講話をお願いしています。
特に連携している事業はない。消防器具置場の整理整頓は自治会として手伝う必要があると思う。
分からない
消防器具点検
大雨の時、水位の点検
活用センター避難所の器具点検

**【問 16 消防団を地域で守り担い手を育成していく上で課題や提案をお聞きします。（自由記載）】**

<b>自由記載</b>
町内全ての人口が減っているなので、消防団の卒業が早いのではないか。
どのようにすれば良いか全く分からない。
消防団は団本部の指揮系で活動している。地域の要望との調整がうまくいか課題である。
善意だけでは成り立たない。
消防団活動を多く。
訓練や演習など時間的拘束の緩和、費用弁償の大幅アップでもしなければ今の若い方は難しいので

はないでしょうか。
地域を守る意識付け、消防団員手当の周知
本人に対しての負担を減らす
消防団を対談した人達の（OB）組織化、補助団員の育成、地域にいる人たちへのポンプ操作指導
分からない
消防団員の担い手不足、民間委託できるのであれば・・・。
若い人がいない。
若い人がいない。
予算を多く。
若い人がいないので50代、60代でなんとかしていくしかない？
OB等を復活する。

## 自治会（自主防災組織）と地元防災士の連携について

【問17 今現在、市の補助金を活用して防災士を輩出しているかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 輩出している	17	39%
2. 区内に周知するが受け手がない	5	11%
3. 防災士は不要	4	9%
4. その他	12	27%
無回答	6	14%
計	44	

1. 輩出した防災士の人数	回答数	割合
1人	8	18%
2人	5	11%
3人	2	5%
4人	0	0%
5人	2	5%
不明	1	2%
無回答	26	59%
計	44	

### 4. その他の内訳

町内で防災委員会を設置しているが、その中に防災士の方はいないと思う。

分からない。
防災士の必要性はあるが、どのようにすれば良いか不明
防災士など初めて聞いた。
まだ防災士はいない。必要だと思う。
いない。
不明
分かりません。

**意見**

新潟県防災リーダーも1名いる。

**【問 18 問 17 で 1. 輩出していると回答した自治会に理由をお聞きします。】**

選択肢	回答数	割合
1. 地域で防災意識を高めたい	5	11%
2. 地区の防災人材として知識が必要	11	23%
3. 市の補助金が出たから	2	4%
4. 地区避難計画等を策定するため	1	2%
5. 興味を持つ人材がいた	1	2%
6. その他	0	0%
無回答	27	57%
計	47	

**6. その他の内訳**

**意見**

**【問 19 今後も自治会（自主防災組織）内に防災士を育成（輩出）する予定はあるかお聞きします。】**

選択肢	回答数	割合
1. 世代を超えて育成していく	9	20%
2. 当面ない	11	25%
3. 何をしたらいいのか不明	15	34%
4. その他	4	9%

無回答	5	11%
計	44	

<b>4. その他の内訳</b>
検討中
若者がいない。
何人か防災士をつくりたい。

<b>意見</b>
防災士を増やしたいが希望者が居ない
若い人がいない。

【問 20 今現在、防災士の活動が理解でき、自治会独自で防災活動をしている自治会にお聞きします。具体的にどのような活動をしていますか。（自由記載）

例：区内独自の防災訓練、避難訓練、要支援者誘導計画、地区避難計画策定等】

<b>自由記載</b>
自主防災編成図、連絡網の作成
防災訓練（連絡網の整備・確認）、伝達訓練
集落の避難訓練時に防災に関わる講話をしてもらう。
災害時対応に対して勉強会の講師として話をして頂きました
防砂訓練で各戸の人員、避難者数の確認、担架の使い方、消火器の使い方の説明、防災用品の備え方
防災訓練時に防災士による訓話を行う。
避難訓練（市のサイレント同日）にプラスして消火器の訓練、救命訓練、リヤカーを使っの要支援者の運搬等
防災士のスキルアップと地区活動の推進
避難訓練、区内独自の防災活動（自主防災組織の会議など）
避難訓練
避難訓練、要支援者誘導計画
防災訓練、伝達訓練、要支援者の毎年の確認（班ごとに）
防災・避難訓練

【問 21 地区防災士の輩出・育成の不安、不満、提案等をお聞きします。

例：何をすればいいか何の指示もない、行政の丸投げ、サポート体制、活動手引き組織の構築等】

自由記載
具体的に防災士になるとどのようなことをするのかとか、皆が理解していないと思います。
全く考えたこともないため、分からないのが現状。
地区でうまく活用できていない。資格を取得された方も不満足であると思うが。
行政の丸投げ
活動手引き組織の構築等を願いたい。
防災訓練等を行われてはいますが、防災士の活動がどのような活動なのか広く理解されているとは思えません。
集落内の防災士は60歳以上と高齢なので若い人も必要と思います。
受け手がいない
防災士の組織化、研修会の実施
サポート体制をより充実させる、希望者が増えるような啓発
みんなの防災意識は、まだまだ薄いと思う。
何をすればいいか分からない。
行政から選出してはどうか。
防災士の役割の範囲がどこまでか分からない。
サポート体制、活動手引き
防災士の活動内容（役割）がよく分からない。

## 地区防災計画（避難計画）策定の依頼について

【問22 自治会（自主防災組織）で計画策定に取り組む予定はあるかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 早期に取り組みたい	10	23%
2. 次の役員に託したい	21	48%
3. 必要性を感じない	2	5%
4. その他	6	14%
無回答	5	11%
計	44	

### 4. その他の内訳

防災計画策定の必要性は分かるがエネルギーが？

なぜ必要なのか、どのように策定するのか分からない。

若者がいないため取り組めない。

連絡体制はできている。

**意見**

根拠のない「大丈夫だろう」という意識がみんなの中にあると思う。

予定がない。

**【問 23 市からの地区防災計画（避難計画）策定の依頼を地区役員や消防団、防災士に伝えて方向性を決めたかお聞きします。】**

選択肢	回答数	割合
1. 相談している	9	20%
2. 相談したが趣旨が伝わらない	3	7%
3. 区長権限で断念した	7	16%
4. その他	15	34%
無回答	10	23%
計	44	

**4. その他の内訳**

消防団にたよるところが多い。

何にも連携していない。

防災計画策定の必要性は分かるがエネルギーが？

地区防災計画を策定して欲しい依頼があったのか不明

市から特に依頼されたと思っていないが・・・

引継ぎなし

不明

令和7年までに計画を組む予定

**意見**

**【問 24 地区防災計画（避難計画）策定に防災士の役割は重要と考えます。今後、自治会の防災活動に防災士の役割を明確にして取り組むかお聞きします。】**

選択肢	回答数	割合
1. 既に防災士を活用している	6	14%

2. 考える	8	18%
3. 役員等と検討する	20	45%
4. 必要ない	1	2%
5. その他	4	9%
無回答	5	11%
計	44	

### 5. その他の内訳

防災士の名前を初めて聞いた。

話題になったことがない。

### 意見

防災訓練時に助言・意見を求めている

### 【問 25 自治会として自主防災活動を進める中で課題や提案、意見等をお聞きします。】

#### 自由記載

木造の公民館に避難するより自宅のほうが安全ではないか。歩いていくなら 200m 程度、高齢者と一緒なら 100m が限度と思われる。冬の雪なら無理。自動車で行っていいのか。大きな病院、市役所に行っていいのか。

従来の訓練方法では、各地区の災害対応には課題がある。各地区災害態様が違い「地区のことは地区で考える」という基本をしっかりと考えるべき。

個人意見でしか答えられない。

高齢者が多くなり足が不自由、避難所が遠い等の不安や不満が多く聞かれるようになりました。そうした不安を少しでも和らげたい。

関心が薄い（ない）、避難訓練が形骸化している、何をやってよいか分からない。

避難所が遠くて、防災訓練の時も行ったことがない。

地域構成住民の高齢化、若者の減少傾向（地域人口の減少）

1人1人の防災意識が高いとは言えない。市から促されて活動しているような状態。活動を進めていくうえで、市からもう少し具体的なアドバイスがあってもよいかと考えます。

実際のところ大きな災害がおこって始めて防災計画の必要性を感じるものと思う。何事もない中では、皆が真剣に考えることはないか。

浦町の一番心配の自然災害は水害です。安全な避難場所は、どこになるのか。どこに逃げれば良いのか分からない人が多い。

若い人がいない。

どの位の規模の訓練まで必要かなのか分からない。

今後ますます人口減少が進み、自治会役員のなり手がなくなります。災害が起こらないことを願うだけです。

普段家にいない。（仕事などで）

**【その他、議会に対するご意見等を自由にお書きください。】**

**自由記載**

冬期、大きな地震があった時、原発の放射能もれがあると北風で魚沼まで飛来すると思うが、議会で話が出ないのか疑問です。（春の山菜でセシウムが検出されている。福島から魚沼まで飛来するわけだから。）

災害発生で行政だのみが優先する地域は、復興が遅れると聞いたことがある。議会においても「自主」防災の意味を発信し続け市民と行政の「橋渡し」になって欲しい。

市議会議員の活動が見えない。

住民ファーストで議会運営にあたっていただきたい。

消防団員の年俵ですが、出て来ない団員にも振り込まれるのはどうかと思う。

来年市議会の選挙が行われますが、定数削減に努めてもらいたい。

## 総務分科会 【自治会・コミ協】自治会

### 【回答者数】

回答者 40人（対象者 58人） 回答率 68.97%

### 【まず始めに、地域についてお聞かせください。】

選択肢	回答数	割合
1. 堀之内地域	8	20%
2. 小出地域	12	30%
3. 湯之谷地域	3	8%
4. 広神地域	9	23%
5. 守門地域	7	18%
6. 入広瀬地域	1	3%
無回答	0	0%
計	40	

自治会は地域の住民が日常の交流と親睦を通して連帯感を深め、生活に必要な情報交換や地域課題を協力により解決していくことを目的としています。貴自治会の運営について現状とお考えやご意見をお聞かせください。

### 【問1 貴自治会の近年の役員選出の状況についてお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 毎年の協議でその都度決定している	22	54%
2. 向こう数年間の主要な役員を決めている	4	10%
3. 役員を選出に苦慮している	6	15%
4. その他選出方法	9	22%
無回答	0	0%
計	41	

#### 4. その他選出方法の内訳

順番制で決めている。

毎年順番で交代している。

役員をできる人がいない。

毎年順番でやっている。

選挙

区長は選挙、他の役員は班で選出

毎年、選考委員を選任し役員選挙していますが、暗黙の了解で2年任期となっています。選考は、その度に苦慮しています。
順番制
順送りで決めている。

【問2 次の自治会の活動で実施が困難なものについてお聞きします。(2つ○をつけてください。)]

選択肢	回答数	割合
1. 祭りなどの地域行事	18	25%
2. 草刈り環境整備などの共同作業	13	18%
3. 避難訓練など防災に関する活動	13	18%
4. 交流親睦活動	6	8%
5. 空き家対策	4	5%
6. 高齢者支援	12	16%
7. その他	4	5%
無回答	3	4%
計	73	

<b>7. その他の内訳</b>
該当するものがなく、今のところ困難な事案はありません。
困難なものはなし。
なし
状況変化にも関わらず相変わらずの行政からの要請

【問3 問2で選んだ2つの項目の番号と困難な現状と考えられる対策をお書きください。】

**1. 祭りなどの地域行事**

困難な状況	考えられる対策
高齢化でほとんどの地域活動等を解散している。残っているのは子ども会 PTA 行事や消防団のみとなっている。	高齢化が進む中、この地域だけで対策していくのはとても難しいと思います。市が協力して駅前を盛り上げていけば、自然と人が集まり活性化するのではないのでしょうか。
子ども、若者がほとんどおらず高齢者世帯が増えたために行事ができない現状	若者世帯を増やす。
人手がない。	対策になっていませんが行事をしない。
若手の住民が少ない。	
役員の負担増、参加者の減少	行事数の減、自治会の予算の縮小を伴う計画の見直し

盆踊りの音頭取りがない。子供がない。	特に考えていない。
(夏祭りの神輿等、盆踊り) ①子供と若者がいない、②近年の暑さに苦慮	①伝承の大切さは各々に感じてはいる。神社が山の中腹にあり、平地での開催を検討したり、②時期をずらす等、しかし、春まつりと作まつりは実施している。(参加者がいつも同じ。)
後継者(若者)不足と高齢化の進行で休止状態	なし(休止→廃止もやむなし)
高齢者ばかりで後を継ぐ者がいない。	なし。若者を増やす。
高齢化で準備が困難な班がでており、現状では再編成が必要。	順番に班ごと祭り当番を維持しながら「祭り応援隊」等を別途組織。
人口減少、高齢化	なし
世帯数も減り、参加者等も減ってきている。	規模縮小
地域行事の役員側、参加者側ともに多様な価値観を持つに至り、簡素化、縮小化傾向が続いている。開催ノウハウの継承や参加意欲の低下から、いずれ開催も危ぶまれる。	単に従前の形を引き継いだままで簡素化・縮小化して負担を減らそうとするだけでなく、時代・状況に沿った行事への変化・新たな行事の創出などができれば・・・
年行事担当が当たると大変	なし
地域活動は、ほとんど独自ではできない。	
これまで青年会が祭りを主催してきたが、若者の数が少なくなり、青年会単独では難しくなってきた。	現在は青年会 OB や集落役員の協力で行っている。

## 2. 草刈り環境整備などの共同作業

困難な状況	考えられる対策
子ども、若者がほとんどおらず高齢者世帯が増えたために行事できない現状	若者世帯を増やす。
今のところ特別困難ではないが数年後は70%が高齢者世帯となる。	市の公園管理を受託しているが、今後は少しずつ市から協力してもらう必要がある。
役員の高齢化、農作業等の経験者が少ない	育成は時間及び経費的にむずかしい。
高齢者が増えて、参加できる若者が減っている。	なし
高齢化の進行を憂慮(現在は何とか対応可)	できる範囲での対応
高齢者が多く、作業が困難。	作業時間の延長。
若い人が少なく、女性、高齢者世帯が多いこと。	
高齢化が進み共同作業の体制維持が難しくなっている。	生活環境の変化から作業内容を見直し外部(業者)の活用も進めている。
高齢化による作業員の減少	若者の定住を考える。
人口減少、高齢化	なし
年に数回、共同で草刈りをお行っているが、高齢化などにより人数がへっていることに加え、温暖化で草の成長が早いのに対し、猛暑で日中の作業ができず悪循環となっている。	野菜などの無料配布、早朝作業ができるように電動草刈機の補助、冷暖房の補助、安全な除草剤の指導、草刈り隊への助成強化など

## 3. 避難訓練など防災に関する活動

困難な状況	考えられる対策
住民の意識が高くない。	簡単なやり方の事例を教えて欲しい。
防災活動をしなない。高齢者の意識が低い。	決めごととは高齢者の意見が優先される。若手の意見が発信できる環境をつくる。
防災意識があまりない。	
高齢者が多く集会場へ集まりにくい。	
高齢独居や高齢者のみの世帯が増える中、有事の際の支援について個人情報保護の観点から情報が得られにくいいため介入が難しい。	行政と自治会が連携を図りながら情報共有し、対象者の理解を得て避難計画を作成する。
関心が高いと思われぬ状況の中、どの程度の訓練・活動をすべきか分からない。	定着するまで、今年度はここまで実施してください等の行政側の指導があるとありがたい。
避難所への移動が困難な方がいる。	事前に移動可否の確認を実施。災害発生時、確認する人を決めておく。
避難訓練後（集合で終わり）の避難路などの確認、実際は全員集まるのかとか。	自主避難でなく、市からの連絡を町内の連絡網で連絡して、安否確認とかできるようにしたほうが良いかも。集合は、市の指定避難所までの移動訓練があったほうが良い。
集落の終末期？の状況です。	限界集落以上の進行のため考えられる対策は思いつかない。
ほぼ高齢者世帯であり、関心度が低い。他に介助が必要な人もいる。	他イベントと同時に開催する。また、景品等を用意。車椅子入手の検討。
型通りの訓練は行っているが、実効性があるか心配。	昨年災害備品の点検管理を進め本年度より具体的な体制づくりの検討に入った。
地域行事の役員側、参加者側ともに多様な価値観を持つに至り、簡素化、縮小化傾向が続いている。開催ノウハウの継承や参加意欲の低下から、いずれ開催も危ぶまれる状況に加え、当地区にあてはまる災害想定と個々人に有益な対策が示されない状況から真剣に捉えている人は少ない。避難訓練も形だけ、特に今年は市からの要請もないということで実施に至っていない。	当地区に発生頻度の高い災害を具体的に示し、その時、自分に何が起こる可能性があり、どう対応するのかを示せば関心度・取組具合は上がるのではと考えています。
人数の確認	

#### 4. 交流親睦活動

困難な状況	考えられる対策
地域全体の高齢化、若い世代の方たちは、地域に関わる時間の確保が難しい（のではないかと）	旅をする人達の楽しみは電車の改札を抜けた瞬間に見えるもの。小出駅前には残念ながら魅力がありません。せっかくきれいな駅なのだから、小出の玄関口を盛り上げられないのでしょうか。地域の対策は、駅前対策で変わるはずですよ！行ってみよう！と思ってもらえるまちづくりは駅からだ

	と思いませんか。
人手がない。	行事をしない。
コロナ禍の3年間は大きかった。老若男女の共通イベントが難しくもあり、楽しみが個になった。	共通の楽しみは何か、関心事は何かアンケートを実施してみる。
ほぼ高齢者世帯であり、関心度が低い。他に介助が必要な人もいる。世帯の減少。(原資の減少)	不明
戸数が少なく、若者(子ども)が少なく、高齢者が多い。	他行事(共同作業等)のあとに親睦活動をする。
子どもが少なく高齢者が多いので町内全体として活気がない。	

## 5. 空き家対策

困難な状況	考えられる対策
冬季、屋根の除雪をせず道路に落下して危険。	空き家強制取壊条例制定
今16戸あるが今後、戸数の減少が考えられる。	若者の定住を考える。
高齢者の一人暮らしが多い中、その方が死亡した場合、家の処分はどうするのか。売却か解体か転用のどれかだと思う。	売却などと称して、いつ売れるか分からない物件を放置されるより村としては、解体をしてもらったほうが後々問題が残らないのでありがたい。要は、どうするのか相続人に問う。
所有者の責任で対応すべき。区が手を出せない。	固定資産税の増額、住まなくなった時点で即実施

## 6. 高齢者支援

困難な状況	考えられる対策
買い物難民が見受けられる。	コミュニティバスの充実、乗合タクシーの広報充実
老々介護になっている。	
担い手不足	介護予防に対する意識の向上を図る機会の確保
支援する人が高齢	地域住民だけでなく、親元を離れている子どもたちにも支援、相応の負担を求め、関心を高め全体で取り組む。
地域全体が高齢化している。	若者がいる地域と合併
高齢者ばかりだから	行政支援
高齢世帯が多い。	近隣者の支援
個人情報問題等もあり、深く入り込めない。	老人クラブ等への参加、民生委員さんとの情報交換
男性で具合の悪い人の一人暮らし	
独居高齢者が増える中、本人がヘルパーを家に入れたくないと思っている現実がある。他人の世話になりたくない。	自らの安否を気にかけてくれる仲間との関係づくり。要支援の段階でも訪問介護サービスを受けられる。定期的に介護職員が訪問してくれれば異変に気付いてもらえる。
個人情報保護が強調されすぎて、具体的実態が見	区で面倒を見るのは困難。行政が手当を支給した

えない。	うえでの弁当の配達、福祉用品配達、家族の精神的サポート
------	-----------------------------

## 7. その他

困難な状況	考えられる対策
社会状況が変化しているのに、自治会長への要求は変わらない。(増えている。)(勤め人の自治会長多いです。)	そもそも人が不足(市役所に)、正規・会計年度職員含め増員、また毎年同じ仕事がかかるが、不要なものは止めて依頼を減らす。

### 【問4 自治会活動への若者の参加についてお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 積極的に参加している。	3	7%
2. どちらかと云えば積極的である。	9	22%
3. あまり積極的でない。	10	24%
4. そもそも若者が少ない。	19	46%
無回答	0	0%
計	41	

### 【問5 自治会予算についてお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 足りている	8	20%
2. 現状は足りているが、将来は不足してくると思う。	27	66%
3. 予算不足で各戸の負担増額などを検討している。	4	10%
4. 各戸負担金の他に自治会独自の収入がある。 または、研究している。	1	2%
無回答	1	2%
計	41	

### 【問6 問5で3または4と回答した自治会は具体的な内容を記入してください。】

自由記載
総会にて決算・予算書で説明をし、全体に該当する不足分は区費に組み込んで増額をお願いし、今年4月から増額をした。しかし、年々の軒数の減少やその他事由でこれ以上の増額は難しい。
現状維持の取り組みが難しくなっている。
高齢世帯が多い中で、現在の自治会費が高額。負担が大きい。
月3,000円/戸を徴収し、余った分は単年度精算(基本的に返却)しているため不足しないが、精算業務が大変なため、今後検討が必要。

増額を予定している。

**【問7 集会施設の管理修繕費用について】**

選択肢	回答数	割合
1. 現在は十分である。	19	48%
2. 管理に見合った予算が足りていない。	8	20%
3. 自主財源以外の収入がある。	1	3%
4. その他	9	23%
無回答	3	8%
計	40	

**【問8 問7で2、3または4を選択した内容をご記入ください。】**

自由記載
軽微な修繕が多く、市の補助は受けられず少額の支出が多くなり予算不足になりがちである。
施設が老朽化し、維持補修費が年々増加することが見込まれる。
年々人口が減り収入が減っていくため
集会場がない
高額補修が発生した場合、補助が出てありがたいですが、それでも負担金は少額とは言えない。
土地代、屋根修理費などで高額の予算が見込まれるため
現在はやりくりしているが、今後、高齢化の進行に伴う屋根雪処理、建物の存廃（将来）費用面で不足を生じてくる。
集落の直接の所有している集会所でないのを助かっている。
経年劣化は、必ずあるので定期貯金（予備費）の取り崩し等でなんとかしている。
集会施設は現在ありません。→必要に応じて借用している。
自主財源以外の収入を修繕費用等に積み立てている。
築年が新しく、不具合は少ない。
管理修繕は考えていない。
現状は、施設維持に支障はないものの、災害によって大規模な損傷が発生した場合、村の財政も危機的状態に陥ることはあきらかである。
老朽化で将来的に予算に不安を感じる。

**【その他、議会に対するご意見等を自由にお書きください。】**

自由記載
<p>区長・役員の選出は、毎年何とか決めているが、引き受け手が少なく難航している。やりたいと思える十分な報酬を得られるようにしてほしい。民生委員の選出は、もっと厳しい。無報酬でさせることに無理がある。平均寿命が延びて、家庭の老々介護で精一杯の方が多く依頼しづらい。魚沼市として、やりたいと思える方が増えるよう十分な報酬を出せるようにしてほしい。集落の軒数が少なく、自治会費を年間5万円以取られている。市から補填してもらいたい。</p>
<p>魚沼市を活性化するアイデアを出して実行してもらいたい。アンケートを出して回収するだけではダメだと思います。</p>
<p>議会との距離感があり、日々のご活躍が伝わってきません。一家庭が社会の縮図といわれますが、我が家を例に15年前は6人の家族が2人同時に死に、その後娘2人も長岡方面に嫁ぎ、70代の2名が、この先10年の計画を思案しています。このまま老いを待つ生活か、せめて5年先の希望わずかな楽しみを設計して生きることを思考しています。若かりし頃の不自由の中でも活気がって、楽しみがあった生活を送りたいと思っています。</p>
<p>流されない政治。一方だけを見ることは、やめていただきたい。 例：プール問題・・・生活に困っている人は、プールは「あそび」。なぜ大金をかけるのか。日常生活に支障のない人は「健康増進」。生活環境により重要度が違う。</p>
<p>若者を増やす行政をしてほしい。</p>
<p>議員（議会）の活動が見えません。議員提案の条例がどれだけありますか？議会に行政から提案される議案をきちんと問題意識として捉えていますか？受け身でなく自分で考え、自分で問題提起してください。</p>
<p>物価高のため市からの補助がほしい。二世帯同居だって厳しい状況です。</p>
<p>住民の減少による公共事業の減少など考えられる。河川等の整備の遅れによる水害等の恐れなど</p>
<p>水が不足しています。(稲作にも不足、冬の消雪にも不足している、他自治会の関係も気まづくなる。県と国の水量の分担を見直すべきだと思います。魚沼市も早く対策して欲しいです。水の水量を多くしてください。各自自治会の水の取り合いで担当役員は、大変です。</p>
<p>市議会議員は、もっと市民からの対話を待っているのではなく、自分のほうから積極的に市民の中に飛び込んでいくような姿勢を望みます。ミニ対話集会など</p>
<p>人口が増える対策、若者が都会に行かない対策（大学終了後帰郷）、市街地のシャッター街対策（若者が夢を抱けない）</p>
<p>自治会代表として市役所の各部署と連絡をとり、その都度、適切に対応いただいておりますが、複数担当部署が連携して推進すべき事案や各部署が連携・機能分担しての新規事業の創出などにはハッキリと鈍さを感じられます。既存の組織機構・事務分掌にそのままではあてはまらない事業における責任や権限のあいまいさがこうした事業の不活性をうむ要因では。もともと定型化以前のもの、前例のない評価し難いこうしたものほど、悪い言葉で言えば責任逃れしやすく活性化されずに漫然と懸案として引き継がれると思つています。執行機関の自助努力の問題として解決・改善を待つだけでなく、方法に固執せざるを得ない状況を理解の上、議会は必要とすべき事業の目的に着目・重点をおいた組織体制・行政運営への変化を促すことを意識した活動をお願いします。</p>
<p>議会の傍聴席があまりにも狭く、また議会席と同じ高さなので全然傍聴ができない施設になり、今</p>

まで小出町議会、湯之谷村議会でも市民を考えて、立派な施設を造ったが、現在は議会に行く気がしない。あまりにも市民のことを重視しないでどうしようもない。少し目の高さを高くして上から議会の様子を見ることができるよう設計し直しを希望する。今のままでは、議会を見ることができない。こんな狭い傍聴席は、議会は恥ずかしくないですか？

## 総務分科会 【自治会・コミ協】コミ協

### 【回答者数】

回答者 11 団体（対象者 15 団体） 回答率 73.33%

### 【まず始めに、地域についてお聞かせください。】

選択肢	回答数	割合
1. 堀之内地域	1	9%
2. 小出地域	3	27%
3. 湯之谷地域	2	18%
4. 広神地域	3	27%
5. 守門地域	2	18%
6. 入広瀬地域	0	0%
無回答	0	0%
計	11	

貴コミ協の運営について現状とお考えやご意見をお聞かせください。

### 【問1 設立のきっかけについてお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 市の指導	10	83%
2. 市内の先進協議会の活動	1	8%
3. 他自治体の協議会の活動	0	0%
4. その他	1	8%
無回答	0	0%
計	12	

#### 4. その他の内訳

区長会で検討

#### 意見

市の指導に加え、市内先進コミ協の発足・活動等が要因と思います。

【問2 事務局体制について困っていることや望むことをお書きください。】

自由記載
市の補助金申請等慣れないため次の人への引継ぎが難
PC が使える若い人に委嘱しているが、有職であるため、案内状の発送が遅れることが多い。
専任の事務局員がいないこと。
我がコミ協内の事務局体制であれば不足はございません。
地域別に統制とれるように事務局が欲しい。
現在は、適正な人材により適正な事務処理ができていますが、今後の後継者が確保できるか心配。現役世代には、仕事量などから依頼できない。
各区の集合体なのでラインを活用しているが、それでも配布物を広い範囲に配る苦勞をしている。イベントに使う道具を中心の集会所で保管しているが、出入りに許可が必要で不便。置き場所にも苦勞している。以前、新庁舎ができれば空いた所を借りられるような話もあったが全く進まず困っている。
拠点がない（会議のたびに場所を借りなければいけない）、事務や会計に詳しい人材が欲しい（素人では無理がある）、事務員を市で雇ってほしい
事務局体制は敷いていない。事務局体制を敷くためには、人員・場所・予算が必要となるが全てない。
当コミ協では、事務局長が孤軍奮闘頑張ってもらっています。事務局体制の強化が必要であると考えています。が、事務局を担っていただける役員が不足しています。
後継者が見つからない。

【問3 事業費についてお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 市補助金（100万円のみ）	3	27%
2. 市補助金と自治会負担金	4	36%
3. 1と自己資金調達	2	18%
4. 2と自己資金調達	2	18%
無回答	0	0%
計	11	

2. 市補助金と自治会負担金の合計金額	3. 1と自己調達資金の金額と内容	4. 2と自己調達資金の金額と内容
1,050,000 円	270,800 円 一世帯負担 400 円	1,320,000 円 高齢補助、諸収入（草刈り）
1,200,000 円	100,000 円	150 万円

	区長会助成金、バザー等売上金、会場費	除雪組合
約 105 万円		
150 万円		

**【問 4 活動内容と予算についてお聞きします。】**

選択肢	回答数	割合
1. 現在の活動内容と予算で十分である。	2	18%
2. 活動内容は適当だが、予算が足りていない。	5	45%
3. 活動内容が限られて不十分であり、予算も足りていない。	3	27%
無回答	1	9%
	計	11

2 または 3 を選択した理由
予算内でできる行事を行っており新事業に着手できない。
特に交流事業で吉野町と友好協定があり、当方が出かけると旅費交通費がかかり先方が来訪するとバスの手配やかなり経費がかかる。
事務局員を雇用する予算がないこと。
コミ協の在り方について交流での活性化、支え合うコミ協を考えた場合、人の仕組み、作りが間に合わないが、どうしても予算が不十分と考える。
コロナ禍のため、活動を自粛してきて数年は予算が余って返納した。今は予算の範囲内で活動しているが、発足当時から各区からの負担も願うことなく進めてきたので、大事な慰労や交流に捻出する予算がなくて困っている。どんどん、人口が減ってゆく状況なので、対策にまだ活動の領域を広めるべきことが多く考えられる。
物価高騰により規模を縮小して行っている。新たにイベントを行うにも予算が足りない。予算内で納めるよう計画して行っている。(実際イベントを行っても見積りどおりいかない。)
予算の範囲内で活動を行っている。活動を行うためには、人員・予算・活動場所等が必要であるが全て不十分である、
市補助金の使途について食事(弁当等)に使えないのは不自由である。終日のイベント等では、交代で昼食あがりをするなどで対応しているが、昼食を出せばよりスムーズな事業運営が可となると思う。
地区のアンケートから実態をふまえ、できることから取組をしています。しかしながら、新規事業を始めるについて現在実施している事業もあり新規事業に取り組む予算の目途がつかない。

**【問 5 現在許容されている活動以外に望む補助制度や活動があれば箇条書きでお書きください。】**

望む補助制度や活動の内容	必要金額
各コミ協からの提案に対し柔軟な対応で補助対象にすること。	
国道 17 号と 252 号の合流地点に花壇を設置しているが、予算がないため花壇が狭くもう少し広げたい。	?
①事務局員を置ける場所の確保、②事務局員の賃金	①?、②50万円
検討の諸にも就いておりません。	
交流会費	10万円
どんどん人口が減りはじめて役員を同じ人が兼務し困っている所が多くある。そのため、組織の閉鎖もある。例えば、一集落の中に、お茶の会、体操の会、弁当づくり、弁当運びなど多くある所もあり、考えられるのはコミ協等に集約して活動できないものか。そうなるために、市からの指導があれば良いのではないか。	各団体に出ている補助金をまとめられないか。それぞれの会の運営が少しでも楽になるかも。
活動の中心となる事務所や活動広場を提供してもらいたい。	
問 4 で記載（市補助金の使途について食事（弁当等）に使えないのは不自由である。終日のイベント等では、交代で昼食あがりをするなどで対応しているが、昼食を出せばよりスムーズな事業運営が可となると思う。）	10,000円程度
買い物支援事業、付き添い支援、おたすけ事業（生活支援）	

**【その他、議会に対するご意見等を自由にお書きください。】**

自由記載
人口が減少していくので議員数も減らしていく必要がある。⇒人口が何人になったら議員の数も何人というのを検討していく必要がある。
私の勉強不足で質問にも至りませんが。
市を活性化するために、いろんなまちづくりの会がありますが、同じようなことをしているみたいに感じます。例) まちづくりの会が補助金で花植をしている。(他の老人会、コミ協と) 本来であれば自分達で活動すべきことと思います。いろんなイベント会議に出席して意見だけいう。) 市内に会がどのくらいあり、どういうことを取り組んでいるか、調査して欲しい。ダブるものは統合すべきと考えます。
除雪に関する補助制度を手厚くしてほしい。融雪設備、雪降ろし用アンカー設置、必要とする世帯に資金がない。
問 2 で記入してしまいましたが、コミ協は自治会同士を越えた組織のため、事務所、倉庫等を持たない。事務所はその時の会長宅や事務局長宅に置くにしても増えてくる道具・用具の格納場所を市で用意して欲しい。
過疎化が進む中で、人材確保についてどう考えているのか。皆、仕事をしながら活動しているのに事務局、会計担当等の負担が大きい。それに対して市の考えはどうか。
魚沼市の将来を考えた時にコミュニティ協議会が必要となることは、行政も議会も理解していると思うが、「100万円を出すから自分たちで考えた活動をやってください。」では、将来を見

据えた活動とはならないと思う。行政が魚沼市の将来を見捨えた中で、必要とみなされる活動を幾つか取り上げ、総合計画に反映させると共にコミ協に予算をつけて活動を広げていくことが必要ではないか。

地元で行われている「コミ協」事業に参加して地元の要望、住民の生の声を聴いてもらいたい。お客様目線ではなく参加者、要支援者目線で物事を見て考えて欲しい。

## 総務分科会 【移住・定住】自治会

### 【回答者数】

回答者 35人（対象者 52人） 回答率 67.31%

### 【まず始めに、地域についてお聞かせください。】

選択肢	回答数	割合
1. 堀之内地域	9	26%
2. 小出地域	15	43%
3. 湯之谷地域	2	6%
4. 広神地域	3	9%
5. 守門地域	3	9%
6. 入広瀬地域	3	9%
無回答	0	0%
計	35	

## 移住・定住者の受入れ状況について

### 【問1 移住・定住者の受入れ体制は整っているかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 整っている (問3へ)	6	17%
2. 少しは整っている (問3へ)	7	20%
3. 整っていない (問3へ)	7	20%
4. 受入れに不安がある (問2へ)	2	6%
5. 分からない	13	37%
無回答	0	0%
計	35	

【問2 問1で4. 受入れに不安があると回答した自治会にお聞きします。不安の理由について具体的に記載をお願いします。】

### 自由記載

移住しても仕事がない。冬期間であきらめる人がいる可能性あり。

入ってくる人が高齢化していて、自分も含めてですが、若い人が少なくなるので、自治会が回っていかなくなる。

【問3 移住・定住者は、思い描いた仕事や生活に向け、生き生きと暮らしていると思うかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 満足して暮らしている	1	3%
2. どちらかといえば満足して暮らしている	11	31%
3. どちらともいえない	20	57%
4. どちらかと言えば満足して暮らしているとは思えない	2	6%
5. 満足して暮らしているとは思えない	0	0%
無回答	1	3%
計	35	

【問4 問3で4. どちらかと言えば満足して暮らしているとは思えない、5. 満足して暮らしているとは思えないと回答した自治会にお聞きします。地域として、悩みがあると感じている移住・定住者にどう接していますか。(複数回答可)】

選択肢	回答数	割合
1. 折に触れ悩みを聴くなどして相談にのっている。	1	3%
2. 仕事の支援や指導を時々行っている。	0	0%
3. 集落の集会や懇談会などに誘っている。	0	0%
4. 他地域の移住・定住者同士で交流しており、悩みなどを共有してもらっている。	0	0%
5. 移住・定住者から相談や依頼があった時は対応するが、普段はあまり交流していない。	2	6%
6. その他	0	0%
無回答	32	91%
計	35	

## 6. その他の内訳

### 定住関係について

【問5 就学や就職などを機に、生まれ育った魚沼市から転居する若者が多く見られますが、地元に残るために必要だと思う条件は何かお聞きします。当てはまる番号に○をつけ、その中で最も必要だと思う条件を1つ選び番号を記載してください。】

選択肢	回答数	割合
1. 自分の行きたい学校がある	7	11%
2. 自分のやりたい勤め先がある	28	46%

3. 企業や就農するための支援・助成がある	10	16%
4. 地元に残る（戻る）ための家賃補助や住宅取得の助成	4	7%
5. 子育てや教育に係る支援や助成	10	16%
6. その他	2	3%
無回答	0	0%
計	61	

## 6. その他の内訳

若者にとって地方は刺激がなさすぎる。東京は令和、地方は江戸時代、若者らしい意見でした。

## 最も必要だと思う条件の番号

選択肢	回答数	割合
1. 自分の行きたい学校がある	1	3%
2. 自分のやりたい勤め先がある	18	51%
3. 企業や就農するための支援・助成がある	3	9%
4. 地元に残る（戻る）ための家賃補助や住宅取得の助成	1	3%
5. 子育てや教育に係る支援や助成	3	9%
6. その他	0	0%
無回答	9	26%
計	35	

## 【その他、議会に対するご意見等を自由にお書きください。】

### 自由記載

魚沼市は文化芸術に対する認識が非常に低いように思われます。インフラ整備も重要でしょうが、住民が文化芸術等に浴することも地域活性化に必要なのではないのでしょうか。福祉センターが解体され、芸術品等の展示スペースが縮小されました。市役所に設けられた展示スペースも有効に機能しているか疑問です。魚沼市には、故人を含めて芸術家が結構います。不用施設等の利用により常設展を兼ねた展示スペースを設置できないのでしょうか。それなりの学芸員を雇い検討してもらいたいと思います。

農業が魅力あると思う。少し町から離れた集落には空き家も作業場も空いているし、働き先もある。直売所向け農業なら垣根も低いので、年配の方でも良いのではないかと。

アンケートが届いても、総合計画策定の意味がよく分かりません。すみません。

自分がかつてUターンした時に思ったことは、酒の席になると必ず青年団がどうだった、消防団がどうだったという閉鎖的な話になり、やりきれなくて以降しばらく拘わらないようにした。移住してきた人は余計つまらないだろうと思うので、移住して来た人に不快にさせないよう自治会にはお願いしたい。

市内においても独身の男女が多く、出会いのイベント等はあるが、中々参加しない状況である。魚沼市の市政の中で、男女の出会い、結び付等ができないか。これが実現すれば人口増加、子どもの増加につながるのではないのでしょうか。

昔ながらの地域の中で、意見を言える人の話ばかり聞かないで、本当に困っている意見を言えない弱い立場の人の話を聞いて実行して欲しい。

地域では積極的に移住者受入れを行って、10年で6組程定住者も居ます。空き家が出たときに、借りられるかどうかの問い合わせ等を行い、有効活用しています。現在は1軒しか空き家がないので、受け入れも慎重に行っていきたいと思っています。

1. 昨年12月末の新聞報道で2050年までに市内人口52%位も減少があり。
2. 選挙毎にどれだけの候補者が人口問題に触れていたか、しかし現在その具体策は全くない。
3. 誰がやっても人口問題は解決不能と思う。
4. アルプス工場が移転した時が、大きな分岐点であったと思う。
5. JRについても、雨、風があれば運休し、冬期は全く不定期と同じで、このような地域に移住者は増加するか疑問。
6. 何もしないのが良いと思う。

## 総務分科会 【移住・定住】移住者

### 【回答者数】

回答者 1人（対象者 2人） 回答率 50.00%

### 【まず始めに、地域についてお聞かせください。】

選択肢	回答数	割合
1. 堀之内地域	0	0%
2. 小出地域	0	0%
3. 湯之谷地域	0	0%
4. 広神地域	0	0%
5. 守門地域	1	100%
6. 入広瀬地域	0	0%
無回答	0	0%
計	1	

## 移住・定住先として魚沼市を選択した理由について

### 【問1 移住する際に移住に関する情報は何を使って調べたかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 雑誌	0	0%
2. 魚沼市ホームページ	0	0%
3. 魚沼市以外のホームページ	0	0%
4. SNS	0	0%
5. その他	1	100%
無回答	0	0%
計	1	

### 5. その他の内訳

ふるさと回帰センター、にいがた暮らし・しごと支援センター、地元団体や地元民の方から

### 【問2 魚沼市のどこに魅力を感じて選択したかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 魚沼で働きたい	0	0%
2. 魚沼の自然の中での暮らし	1	50%
3. 魚沼の人々の人情やつながり	1	50%

4. 魚沼で釣りやウィンタースポーツなどを楽しみたい	0	0%
5. その他	0	0%
無回答	0	0%
計	2	

<b>5. その他の内訳</b>

**【問3 問2でそれぞれ回答した理由をお聞きします。】**

<b>自由記載</b>
2・・・人と自然がちょうど良く存在する魚沼の里山暮らしや「丁寧に生きる」魚沼市の人々の生きる力に魅力を感じたから。
3・・・魚沼市の人々の最初は、警戒したり心がとがったりするが、内に入ると優しく親切な人柄にひかれたから。

**【問4 移住を決める際に苦労したことは何かお聞きします。】**

選択肢	回答数	割合
1. 仕事・就職	1	100%
2. 住まいの確保	0	0%
3. 地域付き合い	0	0%
4. 情報の入手	0	0%
5. 子どもの就学・入園	0	0%
6. その他	0	0%
無回答	0	0%
計	1	

<b>6. その他の内訳</b>

**仕事の状況について**

**【問5 現在の職業をお聞きします。】**

選択肢	回答数	割合
1. 自営業（農林水産業）	0	0%
2. 自営業（商工業・サービス業・建設業）	1	100%
3. 会社員・公務員・団体職員（正規雇用）	0	0%

4. パート・アルバイト・契約社員	0	0%
5. 無職	0	0%
6. その他	0	0%
無回答	0	0%
計	1	

<b>6. その他の内訳</b>

【問6 現在の仕事は思い描いた仕事内容とマッチングしているかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. している (問8へ)	1	100%
2. どちらかといえばしている (問8へ)	0	0%
3. どちらともいえない (問8へ)	0	0%
4. どちらかといえばしていない (問7へ)	0	0%
5. していない (問7へ)	0	0%
無回答	0	0%
計	1	

【問7 問6で、4. どちらかといえばしていない、5. していないと回答した方にお聞きします。現在の仕事内容のどのようなところに不満がありますか。】

<b>自由記載</b>

## 生活状況について

【問8 現在の生活は思い描いた生活内容とマッチングしているかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. している	1	100%
2. どちらかといえばしている	0	0%
3. どちらともいえない	0	0%
4. どちらかといえばしていない	0	0%
5. していない	0	0%
無回答	0	0%
計	1	

【問9 問8で、4. どちらかといえばしていない、5. していないと回答した方にお聞きします。現在の生活内容のどのようなところに不満がありますか。

自由記載

## 住宅取得について

【問10 住宅取得はスムーズだったかお聞きします。(複数回答可)】

選択肢	回答数	割合
1. 予算と価格面が折り合わず、探すことに苦労した	0	0%
2. 場所の選定に苦労した	0	0%
3. 魚沼市の空き家バンクを使った	0	0%
4. 民間の空き家バンクを使った	0	0%
5. 新築した	0	0%
6. その他	1	100%
無回答	0	0%
計	1	

### 6. その他の内訳

住宅は賃貸だが、スムーズに借りることができた。

【問11 魚沼市定住促進事業補助金を活用したかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 空き家バンクに登録された住宅(住宅購入補助) (問13へ)	0	0%
2. 新築住宅取得費補助を活用できた(U・J・Iターン者)(問13へ)	0	0%
3. 市の補助金を活用できなかった (問12へ)	1	100%
計	1	

【問12 問11で3. 市の補助金を活用できなかったと回答した方に理由をお聞きします。】

自由記載
補助金をあることを知らなかったし、補助金の対象者ではなかったから。

市の移住・定住支援事業について

【問 13 移住支援として必要と感じることをお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 移住情報の発信	1	25%
2. 移住費用に関する支援	0	0%
3. 移住体験（お試し住宅等）	1	25%
4. 地域とのつながりに関する支援	1	25%
5. 就労支援	1	25%
6. その他	0	0%
無回答	0	0%
計	4	

6. その他の内訳

【問 14 市の移住・定住支援事業についてお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. とても満足 (問 15 へ)	0	0%
2. まあまあ満足 (問 15 へ)	0	0%
3. どちらともいえない (問 17 へ)	1	100%
4. どちらかという不満 (問 16 へ)	0	0%
5. 不満 (問 16 へ)	0	0%
無回答	0	0%
計	1	

【問 15 問 14 で 1. とても満足、2. まあまあ満足と回答した方にお聞きします。どのような点が良かったですか。】

自由記載

【問 16 問 14 で 4. どちらかという不満、5. 不満と回答した方にお聞きします。どのような点が不満ですか。】

自由記載

## 地域住民との交流について

【問 17 地域住民との交流についてお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. とても満足 (問 18 へ)	0	0%
2. まあまあ満足 (問 18 へ)	1	100%
3. どちらともいえない (問 20 へ)	0	0%
4. どちらかという不満 (問 19 へ)	0	0%
5. 不満 (問 19 へ)	0	0%
無回答	0	0%
計	1	

【問 18 問 17 で 1. とても満足、2. まあまあ満足と回答した方にお聞きします。どのような点が良かったですか。】

自由記載
地域団体に参加したことで、移住当初から知人が多くでき、さみしい思いをしたり相談相手に困ったりすることがなかったから。

【問 19 問 17 で 4. どちらかという不満、5. 不満と回答した方にお聞きします。足りない点は何ですか。】

自由記載

【問 20 移住して苦勞していることをお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 仕事・就職	1	50%
2. 住まいの確保	0	0%
3. 地域付き合い	0	0%
4. 情報の入手	0	0%
5. 子どもの就学・入園	1	50%
6. その他	0	0%
無回答	0	0%
計	2	

**【その他、議会に対するご意見等を自由にお書きください。】**

**意見等**

地域に入りこんで、住民と一緒に活動をしてくださる議員さんが多くてありがたいです。他の行政職員の方も、もう少し地域活動にも積極的に参加くださると嬉しいです。

## 総務分科会 【空き家対策】自治会

### 【回答者数】

回答者 45人（対象者 58人） 回答率 77.59%

### 【まず始めに、地域についてお聞かせください。】

選択肢	回答数	割合
1. 堀之内地域	11	24%
2. 小出地域	12	27%
3. 湯之谷地域	4	9%
4. 広神地域	9	20%
5. 守門地域	3	7%
6. 入広瀬地域	4	9%
無回答	2	4%
計	45	

## 空き家対策と現状について

### 【問1 あなたの自治会内に空き家はあるかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. ある（ 軒）	34	68%
2. 空き家になりそうな家がある	7	14%
3. ない	4	8%
4. 把握していない	4	8%
5. その他	0	0%
無回答	1	2%
計	50	

#### 1. あるの軒数内訳

1軒9、2軒11、3軒5、4軒2、5軒1、6軒1、12軒1、19軒2、無回答2

#### 5. その他の内訳

【問2 問1で1. あると回答した自治会にお聞きします。所有者とは連絡や相談ができていますか。】

選択肢	回答数	割合
1. 連絡が取れる	27	53%
2. 連絡が取れない	4	8%
3. 所有者の住所や連絡先さえ分からない	2	4%
4. 親戚、知人等連絡が取れる	5	10%
5. その他	2	4%
無回答	11	22%
計	51	

5. その他の内訳
転出又は死亡
町内には連絡を取れる可能性のある人がいる。

**【問3 空き家の管理は誰が行っているかお聞きします。】**

選択肢	回答数	割合
1. 所有者	17	29%
2. 家族、親戚	19	33%
3. 知人	2	3%
4. 自治会	0	0%
5. 業者（不動産業者、建築業者等）	5	9%
6. 管理されていない	4	7%
7. その他	7	12%
無回答	4	7%
計	58	

7. その他の内訳
市営住宅
わかりません。
不明
1軒の管理状況は不明
不明
わかりません。
不明です。

**【問4 自治会で行う空き家管理や対策で具体的に取り組んでいる事例、提案等をお聞きします。】**

自由記載

<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家になりそうな場合、できるだけ取壊しを促す。</li> <li>・家族、親戚の連絡先などを把握するようにしている。</li> <li>・自治会で対応不能の場合は、行政による強制代執行をお願いする。</li> <li>・R5 年度 1 棟強制代執行済み。</li> </ul>
町内巡回
隣の空き家に関して草とり、ゴミ拾いを自主的に行っている。
特に行っていません。区費の中に空き家割があり年 1 回徴収している。
自治会としての取り組みはありません。巻としての取り組みに対してその経過を聞く程度です。
屋根除雪等

**【問 5 地域内の空き家は適正に管理されているかお聞きします。】**

選択肢	回答数	割合
1. 適正に管理されていて安心している	13	27%
2. たまに手入れをしている	11	23%
3. 適正とは言えないので不安だ	13	27%
4. その他	8	17%
無回答	3	6%
計	48	

4. その他の内訳
分かりません。
不明
不明
不明
空き家がないので分からない。
分かりません。
判断できません。

**【問 6 問 3 で 6. 管理されていないと回答いただいた自治会にお聞きします。地域内に空き家が存在することで困っていることはありますか。】**

選択肢	回答数	割合
1. 冬季間の屋根雪等の危険	6	12%
2. 除草等がされず虫や獣が潜む	4	8%
3. 屋内に出入りできるので獣対策や防犯に影響がある	2	4%
4. 無断侵入者等による火の始末による火災等	0	0%

5. 地区内の景観に悪影響（疲弊感）	3	6%
6. その他	2	4%
無回答	33	66%
計	50	

<b>6. その他の内訳</b>
分かりません。
空き家がないので分からない。

**【問7 具体的に困っている事例があったらお聞きします。】**

<b>自由記載</b>
不測の事態に早い対応、連絡がとれない
冬季、屋根雪の落雪により道路が通行止になった。
屋根雪による家屋倒壊の危険と近隣住民の不安。近隣住民は不安なので自治会役員に問い合わせる。空き家の関係者が不明で自治会では対応できず、問い合わせがあると自治会役員がその都度、行政に相談しなければならないこと。家屋倒壊や落屑の危険があるため、人や車両の通行の妨げになっている。
空き家になっている車庫に処理されていない物がそのままになっている。家の回りの草、木が生い茂って景観に良くない。
屋根の落雪による交通被害
管理者が遠方にいるため冬期間の除雪に苦慮しています。
冬期間の屋根雪の落下障害（人的被害有）
今のところなし。

**【問8 所有者や関係者に連絡が取れる場合、危険性を伴う空き家や管理されていない空き家がある場合、改修の相談等要望に応じてもらえるかお聞きします。】**

選択肢	回答数	割合
1. 応じてもらえる	13	28%
2. 相談には耳を傾ける	6	13%
3. 費用面も含め応じてもらえない	2	4%
4. 連絡しても見に来ることもない	2	4%
5. その他	9	20%
無回答	14	30%
計	46	

5. その他の内訳
積極的に当事者側から動かない。
市役所に相談する。
わかりません。
不明
相談したことがないから分からない。
管理状況不明の所有者と連絡したことはない。
管理されている。
事例がありません。(問合せ)

【問9 問8で所有者が相談に応じない、あるいは連絡も取れない場合、行政に相談する、地区の要望書を提出するなど行ったことがあるかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. ある	6	13%
2. 要望書を提出した	1	2%
3. 実際に必要な案件が存在する	0	0%
4. 相談したことはない	9	20%
5. その他	0	0%
無回答	29	64%
計	45	

5. その他の内訳

【問10 具体的に行政に相談した内容を回答いただける範囲でお聞きします。(個人名や情報は不要です)】

自由記載
地域創生課に空き家対策を要望、R5年新規、R6年継続要望、R5年度1棟強制代執行により取壊し済み
所有者、管理者に連絡をとってもらった。
屋根の雪下ろしがされず近隣住民が不安を感じているので対応をお願いしたことがあった。
家の回りの草、木などの処理
所有者不明のため屋根雪の除雪
冬期屋根の除雪について

屋根雪問題で相談、持ち主に相談して頂いたが改善の見込みなし。
今後、空き家が増えます。親戚などが最後まで責任を持って管理していただければありがたいですが？

**【問 11 空き家対策について行政に望むことや、意見があったらお聞きします。**

**例：空き家の強制代執行、空き家の買取り、空き家の管理法、罰則の強化等**

<b>自由記載</b>
できる限り空き家バンクに登録して、移住者等の促進に結び付けて欲しい。
倒壊の危険性がある場合、冬期間落雪による交通遮断、人命に危険性のある場合等は、強制代執行を速やかに実施できる制度設計を望む。
空き家の管理についての条例
空き家の管理法（管理マニュアル）
予測可能な事案であるので「なってから」でなく「なる前」対策が必要。いってみれば、終活の手助けをするような組織をつくることだと思う。
空き家の関係者に空き家管理の徹底を働きかけてほしい。 空き家の利用と活用を進めるための一層の工夫。
空き家の有効利用に出来たらいいと思う。いろんな人達が集まる施設など。
空き家が増加傾向にありますので、空き家の解体を含めた利活用の対応をお願いします。
近所の空き家が倒壊しそうで心配していましたが、アパートに変わり大変安心しました。 賃貸の需要は多いので、行政からもアパートの建て替えや空き家バンクの賃貸を積極的に勧めてもらいたいです。
空き家取壊しの補助
空き家の強制代執行、罰則の強化を早急にすべき、今の市長はだめだ！
山間地の為、不動産屋に相談しても相手にしてもらえません。取り壊すしかないので、解体の補助金の枠を広げて欲しい。
空地の所有者に除草の依頼を市のほうからして欲しい。虫、獣の害、景観の悪化対策。
転出届、提出時に、管理方法など事前に聞き取りを行う。
罰則の強化
私有財産の為、何を行うにも難しいと思う。所有責任を明確にすること（敷地除草など含め）所有者を明確にしておくことが大事かな？
現行条例では無理でしょう。
空き家の再利用がしやすくなるように条例を作ってほしい。 再利用が進むよう助成金をつけてほしい。
今後、空き家が増えます。親戚などが最後まで責任を持って管理していただければありがたいです

が？
<p>自治会長は単年度が多く、個人情報の点からも空き家について実態を把握したり、問い合わせをすることはかなり困難であると私は考えています。</p> <p>市の建設、財務(税)などを担当する部署の方が把握できる情報は多いと思います。</p>

**【その他、議会に対するご意見等を自由にお書きください。】**

自由記載
<p>人命、環境を重視した空き家対策、法整備を望む。所有権の壁が大きいですが、適性な管理もされず放置された家屋は所有権の放棄と同じである。また、相続権＝管理義務なしと捉えられていることが空き家の増加につながっていると考える。当該地域に居住する住民の人命、環境、安全安心を第一に考えた行政及び自治会活動を支援する議会であって欲しい。だれかの足を引っ張ること、あらさがしが議会ではない。陽のあたらない所に、陽をあてることが政治ではないか。</p>
<p>他地域からの出店への補助金などの政策が必要と思える。他市の空き店舗対策で有効と思えるものを実行してほしい。市中心部に核となるお店が必要であるが、再開発しないとならないが、有効な土地が、まとまって必要であろう。米国では中心市街地に大型店をもってくる施策が有効であったという話を聞いたことがある。それを実行して、どこかに大型店を配置し、人口密集地付近に核の店を造るべきであろうが、お金がかかることで・・・ある。</p>
<p>今後どんどん空き家が増えていくと思います。早急な対策を行政で、できる限りのことを考えて下さい。</p>
<p>現場に出向いて現場を知るべきだ。</p>
<p>設問の仕方が悪い。複数回答しましたが、その可否について説明がない。(6件すべてが同じではない) 対応が遅い。</p>
<p>高齢者、寡婦に対する除雪対策などはしっかりしているが、空き家に対しての対策がされていない。これを法案化して欲しい。現在は空き家の解体補助金の枠が10件までと聞かすが、もっと件数を増やして予算を盛り込んで欲しい。</p>
<p>当集落は、現在定住者が5人で全員が極高齢者であり、あと数年で集落が消滅する危機に直面しています。また、集落内の耕地については当集落出身者が集落外から通いで水稻栽培をしているが、これらの耕作者も全員高齢化し後継者もなく、近隣の農業法人や大規模農家に入り作の打診をしたがそれぞれ農業機械が大型化しており、当地域の小規模な耕地には生産性の問題も含めて難色を示しているのが現実であります。このような事から色々な話し合いの結果あと5年(令和11年)を目途に離農したい意向であります。定住者がいなくなると数年後には集落居住地及び耕地も原野化し獣の住みかとなりかねないと思慮されるところであります。このような消滅確実な集落を行政が市民のために有効活用できるような対策を講じられるような構想があれば土地等は全て無償で提供しますので一考願うものであります。</p>
<p>女性議員が増えるにはどうすべきか考えてほしい。これからの市政には、女性の目線が必要である。</p>
<p>毎月、市報のおくやみ、うぶごえの欄を見ると、魚沼市の将来に対する不安が高まります。特に、全数が掲載されているわけではないかも知れませんが、出生する赤ちゃんの数を見ると近い将来、大きな困難が生じるのではと感じます。結婚する若者を増やす、結婚した人たちが安心して複数の</p>

子をもうけることができる魅力のある自治体にするには、という視点で具体的な施策を考えていただけようお願いします。

## 総務分科会 【空き家対策】業者

### 【回答者数】

回答者 2人（対象者 9人） 回答率 22.22%

### 【まず始めに、地域についてお聞かせください。】

選択肢	回答数	割合
1. 堀之内地域	1	17%
2. 小出地域	1	17%
3. 湯之谷地域	1	17%
4. 広神地域	2	33%
5. 守門地域	1	17%
6. 入広瀬地域	0	0%
無回答	0	0%
計	6	

## 空き家対策と現状について

### 【問1 業種等についてお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 不動産業専業	0	0%
2. 建築業で不動産や空き家等管理業を兼ねる	1	33%
3. 建築業で所有者から管理を委託されている	1	33%
4. その他	1	33%
無回答	0	0%
計	3	

#### 4. その他の内訳

建築業中心の組合

【問2 不動産業、建築業を兼ねた不動産業を営む方で魚沼市の空き家バンク制度に登録しているかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 登録している (問3へ)	1	50%
2. 検討している (問4へ)	0	0%
3. 登録していない (問4へ)	0	0%

4. 予定もない (問4へ)	1	50%
5. その他	0	0%
無回答	0	0%
計	2	

<b>5. その他の内訳</b>

【問3 問2で1. 登録していると回答した理由をお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 市の空き家問題に取り組みたい	1	33%
2. 空き家を解消し人口増を望む	1	33%
3. 業績の向上を目指す	0	0%
4. 会社の宣伝になる	0	0%
5. 特にない	0	0%
6. その他	0	0%
無回答	1	33%
計	3	

<b>6. その他の内訳</b>

【問4 市の空き家バンク制度は空き家対策に有効な政策かお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 活用すれば空き家対策に有効	2	100%
2. 制度の見直しや情報発信を工夫すれば有効	0	0%
3. 空き家対策に有効な政策と思えない	0	0%
4. その他	0	0%
無回答	0	0%
計	2	

<b>4. その他の内訳</b>

【問5 市の空き家バンク制度に対して改善点や有効な点があったらお聞きします。】

<b>自由記載</b>
-------------

仲介手数料が高すぎる。(売主側)

【問6 空き家への移住や利活用のための改修等に補助金制度を設けており、このことに対し問合せや依頼等があるかお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. これまで依頼等があった	0	0%
2. 問合せは数件あった	0	0%
3. 特にない	2	100%
4. その他	0	0%
無回答	0	0%
計	2	

4. その他の内訳

【問7 市の補助金制度について提案や意見があったらお聞きします。】

例：補助額の見直し、提出書類の簡素化、複数回の利用可等

自由記載

【問8 自社物件も含め傾向と対策についてお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. 年々空き家は増えている状況	2	100%
2. 出入りもあるので横ばい状態	0	0%
3. 解体する物件も増えているので空き家が増えている感はさほどない	0	0%
4. 利用者も多く空き家の利用価値は上がり空き家は減っている	0	0%
5. その他	0	0%
無回答	0	0%
計	2	

5. その他の内訳

【問9 空き家の価値を高める周知方法や利用いただくための自社の取組や対策をお聞きます。  
(営業的に公表できない場合は、記入の必要はありません。)]

選択肢	回答数	割合
1. ホームページ等での周知	0	0%
2. 紹介者等を通じた直接営業	1	50%
3. 空き家バンクも有効利用	0	0%
4. 特にない	1	50%
5. その他	0	0%
無回答	0	0%
計	2	

5. その他の内訳

【問10 自社の取組や市の政策を利用した具体的な取組や対策があったらお聞きます。】  
例：間取りや外観の見せ方の工夫、リフォームプラン・パッケージプラン等の提案、いくつかのサイトとのリンク、他市の事例参考等

自由記載

【問11 自らの空き家の活用等は検討しているかお聞きます。】

選択肢	回答数	割合
1. 既に空き家の活用をしている (問13へ)	0	0%
2. 検討している (問12へ)	1	50%
3. 今後は検討すべきと考える (問12へ)	0	0%
4. 検討の予定もない (問13へ)	1	50%
5. その他 (問13へ)	0	0%
無回答	0	0%
計	2	

【問12 問11で2. 検討している、3. 今後は検討すべきと考えると回答した方で具体的な取組として考えられる手法があったらお聞きます。】  
例：空き家を利用した子どもの居場所づくり、起業家向けシェアオフィス、地域の茶の間、若者向け月額シェアハウス等

自由記載
------

借住まいで活用

【問 13 市の空き家政策や今後の空き家利活用への課題をお聞きします。】

選択肢	回答数	割合
1. ある	0	0%
2. ない	2	100%
3. その他	0	0%
無回答	0	0%
計	2	

3. その他の内訳

【問 14 問 13 で 1. あると回答された方は具体的な課題をお聞きします。】

自由記載

【その他、議会に対するご意見等を自由にお書きください。】

自由記載

## 福祉文教分科会 【地域福祉】

## 【回答者数】

回答者 41人（対象者 49人）

## 【まず始めに、地域についてお聞かせください。】

選択肢	回答数	割合
1. 堀之内地域	8	20%
2. 小出地域	15	37%
3. 湯之谷地域	5	12%
4. 広神地域	5	12%
5. 守門地域	2	5%
6. 入広瀬地域	2	5%
7. その他	2	5%
無回答	2	5%
計	41	

## （7. その他の内訳）

空欄 1 件、全域 1 件

## 介護について

## 【問1 魚沼市内の介護サービスについて、感じていることをお聞かせください。（○は1つ）】

選択肢	回答数	割合
1. 非常に満足している	0	0%
2. ある程度満足している	2	5%
3. 満足している	11	27%
4. 少し不満である	9	22%
5. 不満である	6	15%
6. 非常に不満である	3	7%
7. わからない	8	20%
無回答	2	5%
計	41	

【問2 市内の介護施設整備について、感じていることをお聞かせください。(○は1つ)】

選択肢	回答数	割合
1. どの施設も充実している	0	0%
2. 入所施設が不足している	8	19%
3. 通所施設が不足している	4	10%
4. どの施設も不足している	4	10%
5. どちらとも言えない	17	40%
6. わからない	7	17%
無回答	2	5%
計	42	

※○を2つ付けた方がいるため

【問3 介護などの相談支援体制についてお聞かせください。(○は1つ)】

選択肢	回答数	割合
1. 非常に充実している	0	0%
2. 十分整っている	1	2%
3. ある程度整っている	27	66%
4. 全く不十分である	2	5%
5. 不十分である	1	2%
6. どちらとも言えない	3	7%
7. わからない	6	15%
無回答	1	2%
計	41	

【問4 今後、市内で安心して介護サービスが受けられるために、特に重要だと思われるものについてお選びください。(○は1つ)】

選択肢	回答数	割合
1. 介護人材の確保	29	71%
2. 介護職員の処遇改善	7	17%
3. 介護施設整備の推進	1	2%
4. 生活相談支援体制の充実	1	2%
5. 介護予防事業の充実	0	0%
6. 在宅介護事業の充実	1	2%
7. 利用者の経済的負担軽減	1	2%
8. その他	0	0%
無回答	1	2%
計	41	

**(8. その他の内訳)**

**介護について、ご意見・要望があればお聞かせください。**

問1、充実していると思いますが待機者の解消はできているのでしょうか。

問2、施設の収容人員と必要としている人の数が私達には伝わっていない。

問4、どれも十分とは言えないのではないのでしょうか。

介護職員の処遇も選択したい部分ではありましたが…。1つでしたので。

魚沼市内、ヘルパー事業所が去年で3か所閉鎖や休業。ショートステイも職員確保できず休業、ケアマネも退職する方が多く人材確保がとても大変でサービスが回らない部分あります。

人材不足で各種サービスが縮小、閉鎖が相次ぐ前に市で対応できる事を検討していただき実行していただきたい。

障害があり毎日サービスを利用している方が高齢になった時、介護保険のサービスは毎日利用できないので、いつまでも障害福祉サービスを併用することになり、障がい者年金のみの収入ではやりくりが難しい。

訪問介護が運営できるよう財政面での支援が欲しい。

居宅介護(ヘルパー)の人材が足りていないと思います。

人材不足では、サービスの充実を図ることは出来ません。

市内の訪問看護、訪問介護不足。

**医療について**

**【問5 魚沼市内医療機関が行う医療提供について、お聞かせください。(○は1つ)】**

選択肢	回答数	割合
1. 大変充実している	0	0%
2. ある程度充実している	14	34%
3. 不足している	19	46%
4. やや不足している	3	7%
5. どちらとも言えない	2	5%
6. わからない	2	5%
無回答	1	2%
計	41	

【問6 魚沼市の医療に望むことはありますか。(○は複数可)】

選択肢	回答数	割合
1. 通院などへの支援	16	22%
2. 受診できる診療科を増やす	26	35%
3. 健康や病気のことを相談できる体制の充実	8	11%
4. 保険料や医療費などの助成	7	9%
5. 訪問診療などの充実	12	16%
6. 健康診断などの予防医療の充実	3	4%
7. その他	1	1%
無回答	1	1%
計	74	

(7. その他の内訳)

空欄 1 件

医療について、ご意見・要望があればお聞かせください。

私達精神科医療については、市内はほとんど絶望的です。

たらいまわしにされる事があるが、柔軟に受け入れていただきたい。

医療に掛かりたい人が安心して問い合わせできるようにして頂きたい。新規を断られたり、勝手にわからず困っている高齢の方に対して受付で事務的に厳しい対応(配慮に欠けた)をしている場面を見掛けてとても残念に感じた。

子供やお年寄りが自宅で診療を受ける事が出来ると安心です。

福祉について

【問7 高齢者が安心して生活できるために、魚沼市にもっと取り組んでもらいたいことをお聞かせください。(○は3つまで)】

選択肢	回答数	割合
1. 災害などに対するの支	4	4%
2. 公共交通などの移動に対する支援	35	32%
3. 人と人とのつながりを強めるためのボランティア活動やサークル活動などの社 会参加の促進	3	3%
4. 人生の終焉など終活に関連する制度の整備	9	8%
5. 経済的な支援の充実	13	12%
6. 身近に相談できる体制の充実	7	6%
7. 医療・介護・福祉・健康講座など学習機会の充実	4	4%

8. 認知症などの支援体制の充実	16	15%
9. 高齢者でも分かりやすい情報提供	14	13%
10. その他	2	2%
無回答	1	1%
計	108	

**(10. その他の内訳)**

福祉に関する施設が十分とは言えない

福祉サービス事業所の充実

**福祉について、ご意見・要望があればお聞かせください。**

選択が3つでは無理です。

初めて介護保険を使いたいが分からず直接事業所を訪れることや、電話での問い合わせも多く各包に繋がっています。もう少し分かりやすく誰でも分かるようなものはないでしょうか。  
また、高齢者は移動手段がなくなる事がとても困っています。

福祉の問題は我が身にふりかからないと解らない事が多いと思います。その時どう動くかと住民に問う必要があると思います。

地域で出来ることには限界があるので市から積極的に介入していただきたい。

**障がい福祉について****【問8 魚沼市の障がい福祉について、どのように感じていますか。(○は1つ)】**

選択肢	回答数	割合
1. 大いに満足している	1	2%
2. ある程度満足している	7	17%
3. 普通だと思う	13	32%
4. 非常に不満である	3	7%
5. やや不満である	8	20%
6. どちらとも言えない	2	5%
7. わからない	7	17%
無回答	0	0%
計	41	

【問9 魚沼市では、障がい者が自立して暮らせる取り組みを進めていますが、今後、さらに取り組んでほしい施策はなんですか。(〇は3つまで)】

選択肢	回答数	割合
1. 障がい者などへの医療費助成	5	5%
2. 施設の整備	18	18%
3. 生活援助	14	14%
4. 相談支援	9	9%
5. 移動の支援	11	11%
6. 作業工賃の充実	6	6%
7. 家族などへのサポート	11	11%
8. 人材確保と育成、職員待遇改善	24	24%
9. ボランティアの育成	3	3%
無回答	1	1%
計	102	

障がい福祉について、ご意見・要望があればお聞かせください。

3つでは無理で、どの項目も〇をつけたいです。

障害サービスを始めてまだ年数も浅く、障害に関してはまだ分かりません。ただ、障害サービスの職員さん達の大変さは、はかりしれないと思います。

障害福祉の職場で働く人材の確保

障がい者が高齢者になった際のサービス提供が確立されていない

居宅介護(ヘルパー)の人材不足。使いたくても使えない。

聴覚障害者への情報保障とサポート人材の育成を手厚くしてほしいです。

高齢となった障がい者が安心・安全に暮らせる施設や環境の整備

地域で暮らし続ける事が出来る様に経済的な自立が必要と考えます。

【その他、議会に対するご意見等を自由にお書きください。】

自由記述

既存の障害福祉サービス事業で、発達障害や強度行動障害の方がクールダウン等で使用するスペースがない。

個別対応ができないと、全体への影響が大きい。

少子高齢化が急速にすすむ中、高齢者に対する訪問介護等の充実がより求められています。しかしながら、2019～2023年度の5年間で全国で8,648か所の訪問介護事業所が廃止されました。新潟県においても88事業所が廃止となりました。魚沼市内での実情はわかりませんが、議会として、このような国の政策に是非抗議していただきたいと思ひます。

魚沼市議会アンケートに際してお話したいことを述べます。アンケートの趣旨にそぐわないかもしれませんが魚沼市家族会の活動において感じることを述べさせていただきます。

### 【1】介護について…障害とのかかわりについて

①障害者は障害者総合福祉法よっての障害サービスの支援を受けながら普段の生活を続けています。しかし、年齢が65歳に達すると法律によって原則介護サービスの適用となります。

障害者も年々高齢になり精神障害の悩みとともに体の不自由さが増してきて、介護サービスの利用をすることになります。しかし制度の違いによるサービスの内容が異なることがあって希望する支援が受けられないことも出てきます。また施設側でも高齢者のお世話と異なる精神障害者のお世話を戸惑っている部分も出てきています。障害サービスから介護サービスへの移行が利用者にとって困らないように両者のつながりが見直されていくことを願います。

②前項と関係しますが高齢者サービスは包括支援センター(介護支援課)、障害サービスは基幹相談支援センターや相談支援センター(福祉支援課)がサービス内容を決定していきます。しかし、制度の違いにより一緒に利用することができません。

たとえば、高齢者のための食事作りはやってくれても同居している障害者の食事の面倒はできません。(逆の場合も同じです)制度の違いを超えて一緒にできる制度になれると良いと思います。

### 【2】障害について

①魚沼市には障害者本人や支援する家族が困ったときや話したいことがあるときに声をかけたり相談をしたりすることができる窓口はいろいろあります。たとえば市相談センター、相談支援センター、社会福祉協議会、各福祉事業所では専門分野はそれぞれ違って話も聞いてくれます。

しかし、精神障害者や家族が一番身近に感じ相談を掛けやすいのが市健康増進課の地区担当保健師です。何かあればまず声をかけてみる存在ですが、最近は新人の保健師が大勢になって地域での顔が売れていない状況です。それぞれに忙しいとは思いますが、地域に足を運んで地域になじむ保健師の存在を望みます。

②平成26年の魚沼基幹病院に伴って魚沼地域医療圏の再編が行われて、魚沼市では小出病院を中心にした医療体制が築かれました。しかし、精神科治療体制は外来機能のみになり、入院、合併症体制は南魚沼市の魚沼基幹病院に移されました。当然、今までの県立小出病院の精神科受診者の大半は魚沼基幹病院に行かざるを得なくなりました。湯之谷、小出地域や堀之内地域の人達はもちろん広瀬谷の北部地域の人小出からさらに浦佐まで足を運ばなくてはならなくなりました。基幹病院開設3年間は小出病院から魚沼基幹病院までの直通バスが運行されましたが、その後は路線定期バスのみになりました。市当局の努力もあり路線バスの運行路線の変更を受けて魚沼基幹病院経由のダイヤもできて現在は4便のバスが病院経由となっています。しかし、必ずしも使いやすいものにはなっていないのが現状です。魚沼市内には乗合タクシーの制度ができていますが、市内全域のみで魚沼基幹病院のある南魚沼市内までは行けません。足の不自由な高齢者や障害者のことを考えて例外的にでも魚沼基幹病院まで乗合タクシーで行けるように考えてください。いつまでも家族の支援の自家用車や地域の人達の応援の車に頼ることなく自分の足で病院に通えることができるように願っています。

③魚沼市家族会は魚沼市域全域を活動範囲としています。家族会全体の活動を実施する際に参加する会員は公共交通を利用したりタクシーを利用したりします。あるいは自分での運転や家族あるいは近所の知り合いの車を利用しての参加になります。しかし、家族の都合で足がないために参加を断念する方も出てきます。私たちはなるべく大勢の会員が集まれるように会員同士が車を出し合っただけですがそれにも限界があります。その点をカバーするために民間タクシーをお願いしてマイクロバスを利用して市内全域を回りますが、当然有料になります。魚沼市内では現在市所有のバスの使用ができません。私たちが市外での研修会等の集まりを見ると、ほとんどが行政の車での参加

と見えます。魚沼市での市有バスの使用を認めてください。(当然有料とか、休日のみなどの制限はあると思いますが…)制度があるのなら教えて欲しいですし、制度が無いのなら是非作るようにお願いします。

④私たちでは魚沼市内での活動だけでなく、3魚沼家族会全体での家族会の交流での集まりがあります。そこで目にするのは家族会の事務局担当が魚沼市を除いて全部市町の行政担当が担っているということです。福祉のかかわりからも福祉窓口担当や保健師の皆さんです。魚沼市合併発足前には6町村とも行政(保健師)や社会福祉協議会が担当していました。保健師が担当することによって地域の障害者の状況も活動と合わせて知ることができます。魚沼市発足以後には市役所では民間団体の事務局担当ができないこととなり、魚沼市家族会では社会福祉協議会に担当をお願いして、現在に至っています。魚沼市でも事務局担当や事務局に関わっていただいて障害者をめぐる活動の生の姿を見ていただきたいと思います。

- ・児童や高齢者や若い人達が誇れる魚沼市をぜひ作ってください。
- ・学区内整備等もしていただきたいです。地区境目の子どもたちが好きな行きたい学校へ通えるように。毎年学区外許可を取るのも…。戸建ては引っ越しなどないので一回許可取ったら小学校のうちや、中学校のうちは申請しなくていいようにしてほしいです。

市議会の取り組みに関心をもって見て行こうと思います。よろしくお願いします。

アンケート調査の依頼の件、拝読させて頂きました。

おそらくこれは、当方にとっては最初で最後の与えられた機会であろうかと思います。

そのため、今回のアンケート調査のルールに反してしまうかも知れませんが、主に魚沼市内の介護保険に関しまして設問への回答を補足しつつ、ご意見を申し上げます。

#### 【介護について】

問1について

魚沼市内の介護保険サービスは、「人材確保難」を根本原因として、全てのサービスについて回復困難な「地盤沈下」的な状況に陥っていると認識しております。

そのため成す術もなく介護事業から撤退する法人や、事業規模を縮小する事業所も後を絶たず、この状況は「非常に不満」と言わざるを得ません。

(提供されるサービスの「質」ではなく供給される「量」に対しての不満です。)

問2について

通所系サービス・施設サービス、共に「施設の数」については深刻な不足感はありません。

問題は、通所系サービス・施設サービスで働く人材の確保が困難な点に尽きます。

\* 「訪問系サービス」について触れなかったのは何故でしょうか？

この点に設問上の疑問を感じています。

数多ある介護保険サービスの中で、全ての基礎・基本・地盤である訪問系サービスが魚沼市議会では軽んじているのではないかと、つい悪く受け取ってしまいます。

問3について

実際に16年間にわたり魚沼市内で居宅介護支援業務を継続している私から見ると、魚沼市内の相談支援体制は全体として優秀であると考えています。

配置される職員の方々の考え方や個性、業務上の癖?によって、業務水準が若干変動する事はありますが、総じて魚沼市は優れていると感じています。

また、くれぐれも、隣接自治体の取り組みの方が魚沼市より優れている、だから隣接自治体の手法を模倣・導入しなくては…などと、根拠の乏しい思い込みや卑屈な発想に陥らないようにして頂きたいと思います。

## 問4について

とりあえず「処遇改善」の方を選択しましたが、実際のところ、「人材確保」と「処遇改善」は同時進行で取り組まなくては効果がありません。(鶏が先か、卵が先か。)

介護の仕事に就く事で、介護の現場で働く人が「これならまともに生きて行ける」「家族を養える」「ささやかながら個人的な幸福も追求できる」と感じて頂けて初めて、人材の確保・人材の定着が期待できる状況が実現できるのだと、考えます。

\*なお現在に至るまで「処遇改善」に関する介護報酬は介護職員のみが対象とされており、介護支援専門員は国からは放置され、敢えて言えば「見捨てられて」います。

さらに悪い表現をすれば「意図的な餓え殺し状態」とも言えるかとも思います。

かつては介護に関わる資格・職種として介護支援専門員はその最上位と見なされ、多くの人が憧れのような感情を抱き、スキルアップの目標としていましたが、今や介護支援専門員は「労多くして益なし」の典型のような、むしろ忌避される職種となってしまいました。

今これから介護保険関連の仕事に就こうと考えている人達が「介護職」と「介護支援専門員」を比較検討した場合、労働条件も、給与も、生活の将来性も、介護職を選択した方がはるかに有利であると考えます。

ごく近い将来、魚沼市内においても介護支援専門員の人材確保は今後「ジリ貧」に陥る懸念があり、そうなりますと「医療における医師不足」と同じ状況が介護保険の世界においても現実になってしまいます。

介護支援専門員がいなければ、介護保険サービスはそもそも動くことができません。

国には全く期待できませんが、せめて魚沼市内で勤務している介護支援専門員について、その処遇改善施策を魚沼市として具体的に検討して頂けますよう、お願い致します。

全国的に見た場合、介護支援専門員の平均的な(あくまでも「平均」です)月収は36万円程、年額で430万円程だそうですが、こんな高所得の介護支援専門員は魚沼市内に存在するのでしょうか？

私の月収は手取り15万円弱、年収は200万円弱です。

(利用者様／お客様の人数は30件前後で推移。少なくても困っている状況ではありません。)

他の居宅介護支援事業所様の実態はどうなっているのでしょうか。

私は魚沼市内で唯一の「一人法人・一人事業所」であり、介護報酬収入のみで事業所経営を健全な収支状態で維持するには、人件費をここまで抑制しなくてはなりません。

他法人の経営者様が、雇用している介護支援専門員数名に対して「自分の人件費くらいは何とか稼いでもらいたい」と言われた…という印象的なエピソードもあります。

国の定める「介護報酬／居宅介護支援費」が如何に異常に低く抑えられ続けているか、感じて頂けたらと思います。

## ◆介護について意見・要望があればについて

上記の内容に加えて、「訪問介護」の危機的状況について、魚沼市議会には強い関心を持って頂きたいと切望致します。

つい数年前までは魚沼市内には5か所の訪問介護事業所が存在し、隣接する南魚沼市の一部までもサービス実施地域とするような状況でしたが、現時点で訪問介護事業所は僅か2か所に急減し、魚沼市内のサービス提供だけで手一杯／限界という状況にまで凋落してしまいました。

残っている訪問介護事業所は設置法人が社会福祉協議会と魚沼福祉会であるため、事業廃止／休止となった他の訪問介護事業所とは異なり、事業所そのものが廃止・休止される可能性は低いとは思いますが。

しかし、介護職員確保の困難や介護職員の高齢化といった状況や、法人内の配置転換／異動の影響が訪問介護にまで及ぶ可能性から、「訪問介護の安定的な確保と供給」について、魚沼市内で勤務す

る介護支援専門員の一人として非常に強い危機感を感じています。

加えて魚沼市内の訪問介護は障害福祉や介護保険以外の事業も負担している場合があり、この問題は介護保険以外の分野にも波及する(既にしてている?)事態は不可避です。

既存の2か所の訪問介護事業所の確実な存続とサービス提供体制の大幅な強化が必要である事は言うまでもありませんが、加えて、信頼のおける法人(事業から安易に撤退しない)による、新しい訪問介護事業所が必要です。

高いコスト(施設設備・建物)が必要な通所系サービスとは異なり、訪問系サービスは事業所開設コストが大変低く抑制できますので、「魚沼市立の訪問介護事業所」の設立をぜひご検討して頂きたいと考えます。

事業所を魚沼市役所内の一角に設置するとした場合、あとは人材のみ確保すれば、訪問介護事業所の開設は可能です。

雇用する訪問介護員についても魚沼市役所職員と同等の待遇をすれば、人材募集も期待できると思います。

当方では行政(魚沼市役所)からの類似のアンケート調査にも協力させて頂き、同様の意見具申をさせて頂いておりますが、大変残念な事に本件に関する行政の見解は不明です。

「鮎の里」について

現在施設工事が始まっている「鮎の里」につきまして、そこで勤務する職員の確保について強い不安感があります。

現状でも魚沼市内の各介護事業所・介護保険施設では介護職員等の確保に苦慮し、介護職員の確保ができないために事業規模を縮小している状態です。

その状況で「鮎の里」が職員募集を行った場合、一定数の介護職員が「鮎の里」に転職を希望することも予想され、介護職員が「鮎の里」へ「流出」してしまった結果として既存の介護事業所や介護保険施設がさらに苦しい人材難に陥る(最悪の場合は事業休止/廃止)おそれがあります。

魚沼市内で介護職員等の人材の「共食い」が発生することを未然に防止し、魚沼市内の既存の介護事業所・施設の確保が健全なままで「鮎の里」が無事開設されるよう、特段の配慮をお願い致します。

(例えば、組織内で重要な幹部クラスは業務経験者を雇用あるいはスカウトするのはやむを得ないとして、それ以外の介護職員等は全て「新卒」「新採用」とし、「他事業所からの転職者」の雇用はできるだけ回避する、等。)

【医療について】

問5について

医療介護関係者にとってはすでに共通認識ではありますが、魚沼市内では医療機関、医師、ともに常時不足している状況にあります。

医師だけでなく、看護師等医療職員の業務負担の過酷化には十分な注意が必要と思います。

問6について

①通院支援

医療機関を増やすことは容易ではありません。

そのため、自力での移動が困難な患者様の移動に着目した支援策が必要です。

⇒公共交通機関の援用による対策だけでなく、医療機関単位で独自の送迎サービスが行われたほうが結果としてはさらに能率よく患者様の通院受診を支援できると思われれます。

⇒また寝たきり状態の透析患者様のように、自力移動ができないが高頻度で医療機関への通院を必要とする患者様に的を絞り、「ベッド to ベッドの通院介助」が医療機関の提供するサービスの範疇で行われることが望ましいと考えます。

(魚沼市内では小出病院が該当します。)

⇒外来患者様の院内介助は、本来は外来担当看護師の皆様の担当業務となります。

介護保険サービスの援用ではなく、医療機関の通常業務として外来患者様の院内介助を行えるようになりますと、結果的に訪問介護の業務負担について大幅な軽減を図る事が可能です。

#### ②受診できる診療科を増やす

日常的な業務の中で感じている範囲（主として高齢福祉）ですが、脳外科、精神科、整形外科、皮膚科、泌尿器科についての不足感が強いです。

#### ③訪問診療などの充実

少なくとも現状が維持されることを強く希望します。

もし訪問診療に取り組んでいただける医師が増えるようでしたら大変ありがたい事です。

また在宅医療サービスの中で最も重要な職種は何よりも訪問看護師です。

魚沼市内において日々24時間体制で活躍されている訪問看護師の業務が過酷化せず、魚沼市内の訪問看護の提供体制が健全な状態で維持できるよう、人材確保や労働環境の維持整備について特段の関心を持っていただきたいと思います。

#### 【福祉について】

##### 問7について

今後も高齢者世帯が増加することが不可避の魚沼市では、予想される事態として、

- ①自力の手段を半ば喪失し、自力で外出先へアクセスすることが困難な高齢者が増える。
- ②独居高齢者が自身の人生の週末に対して適切な理解把握ができず、不安感を抱えた生活を送る。
- ③年金支給額の不足等により、経済的に困窮する高齢者世帯が増える…、といった事柄があります。

「②」に関しては、それらニーズに対応した民間企業も存在していますが、やはり自分の人生の終末の事柄を民間企業に委ねるのは不安であると感じる人も少なくないと思われます。

(そもそもその民間企業を信頼できるのか、途中でその企業が倒産等で事業を辞めてしまったら、その先はどうすれば良いのか…等。)

そのため「②」につきましても、魚沼市が独自の制度を作り、魚沼市の行政が魚沼市民個々の人生の終末を最後まで支援できる体制を作り上げることが必要ではないかと考えます。

#### [障害福祉について]

##### 問8について

現在は障害福祉に関わっていないため、「7」を選択しました。

##### 問9について

#### ①施設整備

グループホームの増設は有効と考えます。

しかし障害者の皆様に対して過度に自立を促した結果として、それが不本意な結果に繋がらないような配慮は常に必要と考えます。

実際には魚沼地域の社会情勢を的確に把握しつつ、既存の入所施設(魚沼学園・魚沼更生園・やいろの里・六花園等)の入所転院を適正に調整し続ける必要もあろうかと思われます。

#### ②家族等のサポート

特に在宅生活を送る障害者様の親の高齢化は、大きな問題になります。

親御様が安心して子どもを任せられるような取り組みは、これからも必要と思います。

#### ③人材確保と育成

本件は介護福祉分野とほぼ同じことが言えると思います。

以上ご報告とさせていただきます。宜しくお願いたします。

精神に障がいをもった人が自宅で暮らせるシステムづくりをしてほしい

もう少し福祉、医療の現状を知って！本当に今何が必要か もう施設はいらない(経営できない)  
 問1、人材不足今後ますます事業所が少なくなる。事業縮小、廃業も増える。利用者減少。  
 問2、施設が充実すれば事業所の経営はきびしくなる。現状利用者にとって良いことは事業所にとっては赤字になること。介護報酬不足。人材不足。  
 問4、特に看護師。

今後の市の進む方向は、保健、医療、福祉の3本柱を大切にしなければならないと思います。小生、HPの荒井Drの講演をお聞きし大きな衝撃を受けました。開口一番に「人は皆、死ぬのです。長生きするようになって、がんで死ぬのです。以前はなすべき方法が解らなかったが、今では治療法が解かるようになりました…云々と。」荒井Drは開業医の上村先生と同級生。「医者は地域医療を体験する事が大事…云々と。」とっても素晴らしいネットワークだと思いました。人間はやっぱり死が怖いのです。市民が幸になるには、健康、医療、福祉の充実だと思います。議員研修の中に荒井先生の講話を計画して下さい。Dr上村にお話してみして下さい。

問3、死き義父母が、デイサービス、ショートステイを利用させて頂き有難かったです。

問6、精神科クリニックが欲しいです。

問2の5について、最低限は整っている。

魚沼基幹病院への乗り合いタクシーの乗り入れを希望します。  
 水の郷工業団地付近への公共交通機関のアクセスを望みます。  
 「顔の見える市議会議員」で居て下さい。

議員の方々からも介護施設、障がい福祉施設を定期的に見学、視察、先進地への見学・研修などを深め、魚沼市での取り組みに役立てていただきたいと思います。

## 福祉文教分科会 【教育】

## 【回答者数】

回答者 38人（対象者 51人）

## 【まず始めに、地域についてお聞かせください。】

選択肢	回答数	割合
1. 堀之内地域	8	21%
2. 小出地域	10	26%
3. 湯之谷地域	7	18%
4. 広神地域	6	16%
5. 守門地域	4	11%
6. 入広瀬地域	0	0%
無回答	3	8%
計	38	

## 教育分野について

## 【問1 学区再編についてお聞かせください。】

子どもの数が減少し、各学校の児童生徒数も減少しています。今後の学校教育の充実を考えた時、学区再編の問題があります。魚沼市の学区再編について、どのようなお考えかお聞かせください。

選択肢	回答数	割合
1. 学区再編は必要である	28	74%
2. このままでよい	8	21%
無回答	2	5%
計	38	

## 学区再編について、ご意見がありましたらご記入ください。

必要という気持ちもあるが、学校がなくなった地域の衰退ぶりを見ると大賛成とはいえない。難しい。

学校側（行政）と、地域の保護者等の住民との十分な意思の疎通が不可欠。

小学校は地域の核であり、子供の数の減少だけで統合してもよいものかとも思い、どちらにも○をつけられなかった。

中学校の再編は検討もやむなし。

地域に学校があり、地域の方々が学校とかかわる場があると、よいと思うからです。
このまま、子どもの数が減少傾向が続けばの話です。 「学区再編必要なし」となることを祈っています。
複式学級になるようになったら、考える必要があると思う。
小学校は当分このままでもよいのでは。
学校の適正規模は必要ですが、地域の理解が重要と思う。
旧町村にこだわらず、魚沼市として適切規模で編成する。
学区といいますが、宇賀地小学校は堀之内小学校に統合すべきと思います。 堀之内で保育園1つで小学校で分かれ、中学校で一緒になることに違和感。 堀之内小学校も、ほぼ学年1クラスで少ないのに、なぜ一緒になる懸案の土俵に立たないのか疑問。
堀之内地域については、保育園、中学校が1つずつであるが、小学校のみ2校ある。 宇賀地小学校については、毎年、入学する児童も少ないため、堀之内小学校1つで良いと思う。
伊米ヶ崎小学校、宇賀地小学校は検討すべき。
好きな学校に行けたら良い
住民の意見をよく聞き、再編の必要性をしっかりと説明してから結論を出す努力を行ってほしい。
学区再編は順次進めてきている。新体制（学区）の充実が大切である。 ※コミュニティスクール等での検討も必要である。
少人数のよさもある。学区再編は慎重に考えたい。
特に、小出小学校、湯之谷小学校、広神東小学校の区割りを見直すことが一番だと思います。
・東西南北の4つの中学校区再編提起時のような混乱が起きないようにすべきである。学区再編というより、学校統合問題が先のように思う。須原小学校や北中学校が複式学級になったとき、保護者や児童・生徒がどのような要望をするのか。児童・生徒増加で学校分離をし、新設校誕生であれば学区再編も考えられるが、児童・生徒数減少の今は、学区再編は考えず、統合を考えたほうが良い。統合するにしても保護者と子どもたちの意向を一番に取り組みすべきである。市からのトップダウンではいけない。
特に子供の少ない地域は他学区と併合したほうが友達とふれあったり、集団生活を体験できるのではないだろうか。

【問2 通学路やスクールバス運行の問題についてお聞かせください。】

安心・安全な通学路は、民生委員やコミュニティ協議会等のボランティアの皆さんによって確保されています。児童生徒数の減少で、一緒に登下校する児童も少なくなっています。交通事故や不審者、熱中症や豪雪等の観点から子どもたちの安心・安全な登下校の確保が必要です。魚沼市の通学路やスクールバス対策について、どのようなお考えかお聞かせください。

選択肢	回答数	割合
1. すぐに見直しが必要である	19	50%

2. このままでよい	15	39%
無回答	4	11%
計	38	

<b>安心・安全な通学路等について、ご意見がありましたらご記入ください。</b>
学校と地域民との連携がなお一層、大切である。
すぐに見直しが必要なところもあるのではないかと想像している。 工事等により歩道整備が進んだ場合は、今までどおりとせず検討・変更してほしい。 町場にもクマが出てくる現状ではあるが、毎日の登下校で体力がつくところもあり、安易にスクールバス移行してほしくない。
現在は、スクールガードや見守り隊の協力を得ている。 今後、熱中症や豪雪時等、情報を発信していただく中で子どもたちの安心・安全な登校・下校の確保を期待する。
どちらともいえない。見直しが必要かどうか常に吟味し、必要なら見直す。
乗車場所の検討は必要と思う。(並柳の黒鳥の子ども達について)
よくわからない
教職員に10年間、毎年、通学路について相談している(特に冬季。危険度増)が、「市が許可しない」の返答のみ。本当に審議しているのか疑う。
必要に応じて、対応していただきたい。
具体的にどうするか。根本的な解決の方策を計画すべきと考えます。
学区再編とスクールバス対策を総合的に進める。
夏の下校や冬の登下校で、気候変動を考慮したバス運行の見直しが必要と考える。
難しい問題で、一概に言えない。
問1の学区再編もかかわってくる。スクールバスは今以上に必要になると思われる。
実態に応じ柔軟に対応・検討していくべき(すぐでなくとも)。
熊の問題がある
スクールバスの中でも、いじめは発生します。 ボランティアの添乗はどうでしょうか?
他地区の通学について情報がほしい。 ボランティアにも限界がある。
住民みんなで子どもを見守る。安心・安全をつくっていく雰囲気をつくり上げてほしい。
児童生徒の通学路には特に注意喚起をうながす表示等が必要。 ※特にせまい道、中学生の自転車通学路など。
歩道のない通学路もあるので歩道設置してほしい。降雪時、登下校時の歩道除雪ができないことがある。 時間帯に合わせた、除雪体制を整えてほしい。

乗車人数が減っているので、段階的なバスからマイクロワゴン車等への移行が必要だと思います。
スクールバス利用を積極的に受け入れられない子もいるようです。 保育園バスのように、お世話してくれる先生、ボランティアの方がいてくれると、良いように思います。
不審者、車両交通量、熊出没、気候変動（高温・雨量・降雪）などの観点からスクールバス通学を広範囲にすべきである。
熊、自然災害、その他、危険はいっぱい。 通学路は常に見直し。
特に雪の多い季節に1人で歩いて通うには不安を感じる。通学路には場所によって、車が通るとひどく水しぶきを上げる箇所があるので通学路の確認も必要だと思う。

【問3 いじめ・不登校問題についてお聞かせください。】

全国的に教育界の大きな問題として、いじめ・不登校問題が挙げられます。魚沼市でも、いじめ・不登校問題があり、各学校で対策を講じていますが、増加傾向にあります。この問題について、どのような対策が必要と考えますか。必要と思われる事項を選んでください。（○は4つまで）

選択肢	回答数	割合%
1. 市を挙げた対策委員会の設置	9	7%
2. 保護者への啓発活動	21	16%
3. 子どもたちの意識づけ	23	17%
4. 不登校支援員の増員	10	8%
5. 相談窓口の充実（専門員等）	18	14%
6. 適応指導教室（学校内）の充実	14	11%
7. 適応指導教室（フラワールーム）の指導員増員	8	6%
8. 体験活動の充実	11	8%
9. 自立支援の充実	13	10%
10. その他	5	4%
無回答	1	1%
計	133	

<b>10. その他の内訳</b>
保護者同士の交流・保護者（ごく一部、自意識過剰の考えをあらためる）
学級づくり
各校での生徒指導対応。職員の増員。
家庭への支援
学校風土の見える化

<p><b>いじめ・不登校問題について、お考えがありましたらお聞かせください。</b></p>
<p>数年前にかなりの経費を使って、いじめを防止する調査アンケート（？）を行ったのでは？効果はなかったのか？（数年前に文化会館で話を聞いたことがあります。）</p> <p>学校にいけない子が安心して行けるところを作ってあげてほしい。（車でなければ通えない所ではなく）</p>
<p>子どもたち一人一人の人権を重視した取組み、学校現場がゆとりを持ち、子どもとかわる時間の確保、子どもや保護者が気軽に相談できる人や場が必要と考えます。</p>
<p>子どもは誰でもが、なり得る状態。</p> <p>いざ問題が起きた場合、親等はどうしたらよいか、わからない状態。</p> <p>親等の関係者に、よりそう支援が必要と思う。</p>
<p>教師の意識の向上と子ども達の意識指導の充実。</p>
<p>保護者同士の交流。また、保護者の我慢・忍耐・ひと呼吸、子どものためだと思っているが、実は有益だと冷静になる心が必要。</p>
<p>学校教職員の研修の充実を図る。</p> <p>青少年赤十字思想の啓発（市の学校の加入を進める市として）</p>
<p>温かい学級づくりを学校経営の中核におく。</p> <p>高い実効性のある実践を行う。</p> <p>市は、温かい学校づくり推進事業のさらなる充実を図る。</p>
<p>子どもたちの意識が変わらなければ、いじめ、不登校はなくならないと思う。</p> <p>先生だけでなく、外部講師などを呼んで、いじめ等の授業をしたほうが良いと思う。</p>
<p>小学校の段階で学習がわからず、徐々に学校から遠のいていく生徒も多い。学習支援も必要である。</p>
<p>幼保小中の一貫した方針と取組みが必要。</p>
<p>加害者側のカウンセリング等。</p>
<p>S N S に起因するものが多いと思うので時間を取って教育が必要。</p>
<p>社会全体で取り組む「C O C O L O プラン」を実践していく。</p>
<p>他人を尊敬・尊重することの大切さや、温かい言葉づかいに気づかせる教育。</p>
<p>適応指導教室（フラワールーム）の各地区の設定。</p> <p>登校復帰が最終目的でないことの市民への周知。</p>
<p>新、あたたかい学級づくりの取組みとの関係は、どのようになっているのでしょうか。親和型の学校が多くなっているとのことですが、不登校が増えているとのことと説明してほしいです。</p> <p>欠席している児童生徒は、Q U をしていないのでしょうか。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ・不登校を生まないことが大事である。発生してから取り組むのはかなりのエネルギーを必要とする。子どもたちの居場所である学級の居心地がよければ、いじめ・不登校は起きにくい居心地のいい学級づくりが一番だと思う。</li> <li>・かつて教育委員会に統括指導主事がいて、温かい学級づくりに取り組んだ当初数年間は、いじめ・不登校が減少したこともあった。しかし、外国語、ITなど取り組むべきことが多くなり教育現場は多忙化し、また教員の異動もあり当初のような学級づくりに取り組むことが難しくなってきた</li> </ul>

る。WEBQ U調査後が大切である。

・学級づくりリーダーとなる指導者が市に存在し、校長・教頭（管理職の指導も大切）を指導し、教員全体の研修会も実施し、各学校が同じように取り組む。教員が学級づくりに取り組む時間的余裕を持てるように、事務的な仕事を受け持つ臨時市職や学校ボランティアを配置してほしい。

**【問4 魚沼市の学校教育についてお聞かせください。】**

魚沼市の学校教育では、「自ら考え、自ら学ぶ創造力にあふれた人間性豊かでたくましい子ども」の育成、「自他の良さを認め、他者と力を合わせて共に生き抜く力」、「ふるさとへの愛と誇り」を育むことの重要性を述べています。

子どもたちが、生涯にわたって「生きる力とふるさと愛」を育むために、どのような教育活動が有意義か、ご意見をお聞かせください。

**【1】魚沼市の歴史・文化に触れる活動について（歴史・文化体験活動）**

選択肢	回答数	割合
1. 大いに必要である	19	50%
2. 必要である	18	47%
3. あまり必要でない	0	0%
4. 必要ない	0	0%
無回答	1	3%
計	38	

どのような歴史・文化に触れさせたいか、具体例がありましたらご記入ください。

問4について、すべて必要でないものはないと思うが、限られた時間の中で、学校教育（職員）は、ますます多忙となり、働き方改革とは反対方向に進んで行くのではないかと思う。学校だけが学習をする場ではない。どこでどんな学校を子どもに提供できるか考えるのは誰？

地域人材の活用。

全部「大いに必要」に○をつけたいところですが、学校がパンクしそうなので②にしました。

石川雲蝶の作品。米、ナス、ユリ、山菜などの農産物・特産品。紹介や開発。

魚沼市の産業や企業などと、歴史上の人物を教えるべきです。

無形民俗文化財。大の阪。

縄文時代、弥生時代などの文化を学ぶ必要もあるのかしれないが、魚沼市各地区の歴史、文化、芸能などを学び体験することのほうが、100倍重要である。

目黒邸や文化財館など利用して。他にもある。

魚沼市の歴史上の人物を学ぶ場があればと思います。

地域の方から学ぶ機会が必要である。

大の阪など

縄文からの歴史。河川・鉄道・道路の発達。
奥只見ダム、尾瀬、大湯温泉
触れさせるには賛成であるが、事前に子どもの心を耕してから行うことのほうが大事であろう。
先人の努力等（災害からの復興なども）や昔話。生活の工夫（昔からの）
地域の伝統行事、伝統芸能などに触れる。
地域の伝統芸能、文化財の知識をきちんと学ばせること。
移動手段のスクールバス等を利用しやすくするとよい。
触れさせ方が大事。
お寺や文化財見学

【2】魚沼市の自然に触れる活動について（自然体験活動・環境教育）

選択肢	回答数	割合
1. 大いに必要である	25	66%
2. 必要である	12	32%
3. あまり必要でない	0	0%
4. 必要ない	0	0%
無回答	1	3%
計	38	

<b>どのような体験活動が重要と考えますか。ご意見がありましたらご記入ください。</b>
学年の発達段階に応じた活動内容の吟味と、縦割り活動のようなものも必要。
尾瀬と魚沼の関わりについて。 「魚沼尾瀬学校」の試み。よい学習の機会と思います。
尾瀬へ毎年5年生が行く行事は大切ですが、八海山、駒ヶ岳、守門岳登山も
尾瀬学習
自然に触れることにより、命について学ぶことが重要。
野外体験学習、武蔵野市の小学校でやっていることを参考にしたらよい。
尾瀬の活動は評価できますが銀山平をもっと学ぶ機会がほしい。
エコ・ミュージアムの活用
栽培、飼育など農業につながる体験は必要である。
尾瀬自然教室を市内小学校5年生の必須ではなく、門戸を広げた希望制にする（親子で）。
川遊び、登山、スキー。
登山
普段目にしている自然が、いかに大切なものであるかを他地域と比較することによって真から知る

こと。
魚沼は川が多い。水についてなど、川原での体験を。
地元の山に登る。地元の川で遊ぶなどの活動
5年生の尾瀬学習はとてもよいと思います。 理科センター、先生方は大変だと思えますが…。
自然体験活動が深まると観光教育になる。

**【3】魚沼市の様々な産業や仕事に触れ合う活動について（職業体験・キャリア教育）**

選択肢	回答数	割合
1. 大いに必要である	23	61%
2. 必要である	13	34%
3. あまり必要でない	1	3%
4. 必要ない	0	0%
無回答	1	3%
計	38	

<b>どのような活動が考えられますか。ご意見がありましたらご記入ください。</b>
今、学校で行われている方向でよいと思います。
現在実施している職場体験が大切です。
企業側に受け入れの人員体制があればの条件で活動をお願いしたい。
お金を得ること、生きることを学ぶ・学ばせることは最重要事項。
中学校でやっているようである。もっと大々的に取り組んでほしい。
一般の人の職場訪問の機会があれば大変いいです。
小学校高学年から、夏季休業時等を活用した、地元企業への職場見学。
魚沼市の各企業へ見学に行く。
将来の生き方について考えさせる機会が必要である。
職場体験などは、長岡や六日町などが人気のようですが、地元企業に体験に行くように学校からもご指導いただきたい。
まちの仕事発見塾の対象を小学校高学年にまで拡大（希望制も可）
農業にかかわる活動
職業講話。体験の定期的な実施。
中学校では事前指導をしっかりと行って職場体験を行っている。事務所の方、受け入れる側の理解を行政の方から、もっと促すべきと考える。
夏休みの中学生のボランティア活動などと連動させていく。

「オープンファクトリー」への参加の奨励。
職業体験の前にまずは職場見学を豊かに。

**【4】気候変動による様々な災害から命を守る防災について（防災教育）**

選択肢	回答数	割合
1. 大いに必要である	19	50%
2. 必要である	18	47%
3. あまり必要でない	0	0%
4. 必要ない	0	0%
無回答	1	3%
計	38	

ご意見がありましたら、ご記入ください。
(例) 具体的な防災技術の実体験（マッチで火をおこす等）
万一のことを考えて。特に災害弱者等、いろいろな人々のことを考えて。
災害のマップを学校で学習させること
教育は必要。（有事の際に今をまもる行動も含めて）
自分の住んでいる地区はもちろん、全国、世界も見てほしい。
消防署などがやっていることを、中学校等で必修的にやってみたらよい。
防災のための学習の場が市民に必要です。
市防災安全課を主催とした防災教育。
将来どこに住もうが、自らの命を守る大切さについて学ばせたい。
ハザードマップ、中越地震体験談、水害体験談など。
消防署、消防団から指導いただく。地震の避難訓練。
将来、どこで生活しようとも防災について学ぶことは大切であろう。
地球温暖化の影響などの理解。
地域の防災体制との共働により安全を守る活動。
熱中症、地震、洪水等の知識・行動力を身につける。

**【5】SDG s を学校教育に取り入れることについて**

選択肢	回答数	割合
1. 取り組む必要が大いにある	13	34%
2. 取り組む必要がある	22	58%
3. あまり必要ではない	2	5%
4. 必要ない	0	0%

無回答	1	3%
計	38	

<b>ご意見がありましたら、ご記入ください。</b>
学校教育だけでなく、地域の住民が課題を自分ごととしてとらえ、今できることや将来を見すえての取組みができるとよいと考えます。
今の段階で「必要ない」とは言い切れない。 年数が経った「総合的な学習の時間」の総括をきちんとする必要がある。 安易に取り入れると、学校をいそがしくする（教員も）懸念もある。
食品ロスを教えること。
すでに学校行事としてSDGsを前提とした内容に変えている。
子どもたちが考えること（ひとつひとつが）により、プラスの思考が生まれてくるため。大人の考えは純粋でないため。
経済活動を見ていると、効果は出ていない感じ。
日本の国だけでなく他の国に関心を持つことは大切な教育です。 手を取り合い国際社会に貢献・奉仕する人間を育てていく必要があります。
かたよりすぎるのも良くない。
社会の風潮に流される実践ではダメ。 ねらい、目的を各校でしっかりもって取り組むべきであろう。
個を大切にする。様々な違いを持つ人への理解と共存していくこと。「リスペクト」
・すでにSDGsに学校では取り組んでいると思う。新たに学校に何かをやってほしいではなく、市として市民に取組みを提起したほうがよい。なんでも学校教育ではいけない。学校は今でもアップアップ状態である。
SDGsは市をあげて取り組む必要あり。まずは家庭から。
SDGsの一番の目標は「貧困をなくす」です。大切なことではありますが、まずは3Rや思いやりを大切にするなど、小学生の身の丈に合ったところから進めてはいかがでしょうか。

**【6】現代社会に必要なICT機器・情報教育の充実について（GIGA教育・情報教育）**

選択肢	回答数	割合
1. 大いに必要である	17	45%
2. 必要である	19	50%
3. あまり必要でない	1	3%
4. 必要ない	0	0%
無回答	1	3%
計	38	

<b>ご意見がありましたら、ご記入ください。</b>
----------------------------

犯罪の危険性
児童生徒が自ら考え、主体的に判断・表現・行動するための情報教育が必要であると考えます。G I G A教育にかかわって、パソコンやタブレットの配置が進んでいることは、良いことです。友達とかかわりながら、学ぶ場が設定されていることを期待しています。
時代の進展により避けられないこと。 併せて、教育内容も思い切った重点化も必要である。
時代に遅れることのないように少しは必要であるが、指導時間がどうかな？
今後に必要なことは、ポジティブ、ネガティブ両面を含め、展開が必要。
新しい取組みやプラスになるであろう取組みは素晴らしい。
全員が小学校時代から学ぶ必要はあまりない。必要になった人が、その時点で学べる環境が必要だ。
学校教育はもっともっと取り組んでいくことが重要と考えます。
モラル教育が大切になる。
個人的には、理系に進むのに必ず必要な知識は早くから導入してもらいたい。
これから生きていく子ども（人）にとって、必要不可欠なものである。
現代社会に必要な教育の研究とその指導の充実。 生涯学んでいくことの基礎であることを重視。 「豊かな心を育てていくこと」を忘れない。
・必要であるが、人材や機器などは市で用意すべき。学校現場の教員にこれ以上の要望はしない。
I C T、便利だけど、こわい。フェイク・真実を見きわめる力を養うこと。

### 【7】人権教育の充実について（人権教育）

選択肢	回答数	割合
1. 大いに必要である	22	58%
2. 必要である	14	37%
3. あまり必要でない	0	0%
4. 必要ない	0	0%
無回答	2	5%
計	38	

<b>ご意見がありましたら、ご記入ください。</b>
根本は「その人の身になって」だと思う。「住みやすい、まちづくり」の視点からも大切なことと思う。
なかなか学習機会を与える事は難しいですが、差別用語等は最低でも教えたい。
ハラスメントに関する内容が2022年に中小企業等で義務化。 N Gワードだけでなく、潜在能力を引き出すワードも必要。

自分と全く同一の人間はいないこと。いないことの素晴らしさを純粋なる子どもたちには学んでほしい。
必要だが、重箱の隅を針で突くような教育はよくない。
学校はもちろんですが、市役所職員・市民に人権の大切さを学ぶ機会をつくる必要があります。
日々の学校生活の中での意見の違いや傷つける言葉などを生きた教材として用いるべきである。
一人一人かけがえのない命を持っている。 個を尊重し、お互いを思いやることで、良い社会がつくられる。人の持つ基本的な権利の理解と尊重。
外国人や外国にルーツのある子ども、保護者への人権教育が必要だと思います。
[1]～[7]まで全て必要だと思いますが、学校の負担が大きくなるサポートが必要だと思います。
人権教育は教育の基本中の基本。

**【問5 地域クラブについてお聞かせください。】**

中学校の部活動は、少子化によりチームとして成立しない部活動や、教員の働き方改革等で部活動の見直しが求められています。

魚沼市では、令和7年度中に部活動の完全移行を目指し、魚沼市地域クラブ活動推進委員会を設立して検討を行っています。

今後、地域クラブの活動が、子どもたちの能力や個性を伸ばすための重要な環境となります。環境整備について、ご意見をお聞かせください。

**【1】地域クラブの環境整備には、どのようなことが重要と考えますか。（○は4つまで）**

選択肢	回答数	割合%
1. 地域クラブ指導者の確保	32	23%
2. 指導者への謝金	14	10%
3. 活動場所の確保	7	5%
4. 活動場所への移動手段	26	18%
5. 保護者負担の軽減	15	11%
6. 安全管理面の充実	10	7%
7. 指導者研修の充実	13	9%
8. スポーツ協会や文化協会との連携の充実	6	4%
9. 運営事務局の充実	9	6%
10. 保護者や子どもの悩み相談窓口の設置	4	3%
11. その他	5	4%
無回答	1	1%
計	142	

<b>11. その他の内訳</b>
ボランティアや謝金などで対応できると思えない。責任もあるので。
できるだけ学校を使用すること。
教えられるクラブ活動でなく、自ら学び活動の楽しさを実感するクラブ活動。 勝負にこだわるのではなく、活動の自主性を重視してほしい。
保護者への説明
事務局がいかにリーダーシップを発揮できるかにかかっている。

**【2】 休日の活動が、地域クラブに移行することで、心配する内容や問題点等がありましたらお聞かせください。**

<b>自由記述</b>
住んでいる場所による不公平さが出るのでは？
音楽関係では、指導者と活動場所の確保が重要。
生徒が活動場所へ移動する手段が確保できない家庭の生徒が、地域クラブに参加できないことがあるのではと懸念しています。
子ども達と教師との距離が遠くなるのが心配です。
有事の際の責任の所在、負担をどうするか、課題。
指導者の後継、教育について。また、指導者の勤務先等の理解など。
事故等が発生した場合の対応
保護者の負担が大きい。
部活に参加しない子たちの増加が予想される。 スポーツ、吹奏楽に限らず子どもたちが学べる環境（土・日）を市として作らなければならない。 学校に頼ってばかりの教育ではいけない。
保護者の理解・協力が必要です。 それが得られず、活動が続けられない子どもがいない様をお願いします。
指導者の人間性。
安全管理が行き届くのか
技術指導ともに生徒指導がより大切。それを自覚して実践していける指導者であることができるかが問われている。
勝負にこだわりすぎ、「互いに大切に」という精神を忘れないように。
教育的配慮は、どのようになるのか気がかりです。 技のみの向上でなく、ここでがんばれば、学校でも活躍するだろう…のような生徒の支援の仕方についてうかがいたいです。
・地域クラブは必要である。指導者が勝敗にこだわりすぎて体罰・いじめを生まないように研修を

十分に行う必要がある。

- ・活動場所への移動等で保護者負担にならないようにスクールバス等の運行が必要である。

**【問6 コミュニティスクールについてお聞かせください。】**

コミュニティスクール（学校運営協議会制度）とは、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことで、「地域とともにある学校づくり」への転換を図る有効な仕組みです。魚沼市では、令和4年度から学校運営協議会制度を取り入れ、地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めてきました。

この制度について、お聞かせください。

**【1】コミュニティスクールについて、あなたの学区の内容を聞いたことがありますか。**

選択肢	回答数	割合
1. ある	28	74%
2. ない	9	24%
無回答	1	3%
計	38	

**【2】上記で「ある」と答えた方にお聞きします。**

選択肢	回答数	割合
1. 理解している	22	58%
2. よくわからない	6	16%
無回答	10	26%
計	38	

**【3】コミュニティスクールは、学校教育を取り巻く様々な課題にチャレンジし、子どもたちの教育環境の充実に必要な制度です。今後、どのような活動が必要かお聞かせください。**

**自由記述**

正しく活用させようと思うと益々学校の負担になる。

今のままで形式的になってしまう。地域で目指す子供たちの姿と、目の前に見える子どもたちの姿に大きなギャップを感じている。

例えば「あじみこき？」運動のあいさつなど。

地域の方がコミュニティスクールの取組みについて理解し、幅広い人が主体的に参加し、活動を広げ、持続していくことが必要です。

制度にはあまり賛成しません。学校教育はもっと学校に期待して欲しいです。

C Sは市として継続しているのに、P T A役員は単年度毎の参加です。

親（保護者）として、一過性に過ぎず、醸成は見込みにくい。

素晴らしい取組み、子どもたちにとって最も重要なコミュニティは、人とのふれあい、人への慣れ、将来への対応。
子ども達が忙しすぎる。ゆとりがない。のびのびできないものか。そういう環境が、活動(?)がつかれないものでしょうか。
具体的な活動を実施してほしい。
土日の活動の受け皿となるようなものを考えていかねばならない。
コミュニティスクールの取組みは、地域保護者からすると、学校へのボランティア参加、募集の呼びかけ(人集め)ととられていないかと危惧している。 そうではなく、子どもたちに「熱心に、精力的に、全力で、生き生きと楽しそうに生きる大人の姿」を見せる機会なのだととらえてほしい(アピールしたい)。 学校の教育活動に「かかわる」のが、その機会の一つなのだと考える。 なので、子どもも大人も楽しい活動や場面を設定していくことを主眼にしてほしい(そうでないと続かない)。
地域と学校(子どもたち)をつなぐ地域イベントによる郷土愛の醸成。
まずは、コミュニティスクールについて啓発していくことが第一。
「親と子が共に学ぶ」活動を考えていくことも大切。
学校運営委員や地域住民が自由に使える、学校支援の打ち合わせなどができる、PC、TEL、印刷機付きの部屋(CSルーム?)が学校内にあるとよい。
地域の声を積極的に生かすだけでなく、学校を大いにサポートする体制を強めても良いのでは?
教室にいられない児童もいるようです。授業中に教室で、支援できないものかと思います。
学校ごとにニーズが違うと思うので、ていねいに打ち合わせて対応することが必要だと考えます。
・現在の活動のほか、授業ボランティアや事務支援等をして子どもたちや学校現場にたくさん関わってほしい。
単に活動をやればよいということではない。 ぜひ、その活動の狙いや、その狙いに沿った評価・反省にして次に生かす工夫を!!
どの行事(授業)がコミュニティスクールとしての活動なのか発信してもらわないと、通常授業との区別がつかない。

**【その他、議会に対するご意見等を自由にお書きください。】**

<b>自由記述</b>
<p>(1) 適正規模の学区の再編について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校区は適正な教育環境(教員、生徒数、校舎等)の面から、ある程度の規模が必要である。</li> <li>・通学バス等の運用が可能であれば、全市内1学区が望ましい。それが不可能であれば、2ないし3学区も止むを得ない。</li> <li>・小学校は、地域密着が望ましいので現況のとおりで可とするが、これも保護者・地域住民の気持ちを十分に尊重するべきである。</li> </ul>

<p>(2) 教員の多忙解消のため</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助教員、事務職等、県費で導入を強く願ってほしい。それが不可であれば、市費での負担を計ってほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「子育て日本一の魚沼市」というのなら、プールは必要です。</li> <li>・ 魚沼が好きな子どもたちを育てるには、まず学校が楽しいことが一番だと思います。</li> </ul> <p>堀之内は長く中学校が荒れた時代が続き、その時代を過ごした子どもたちは（どちらかという、いじめられた子どもたち）、堀之内に対する思い入れがないように感じています。</p> <p>いじめがない（なくすことはできませんが、いじめが起こったときに、しっかり対応できて、安心安全に過ごせるところがある）、学校生活を送り楽しい思い出がいっぱいあれば、魚沼大好きな子どもたちが、たくさん育ってくれると信じています。</p> <p>議会報の「横山有」さんの声を読み、小学生の頃の笑顔の有さんを思い出しています。（長くなり恐縮です。）</p>
<p>議会だよりのQRコードを読み取ると議会の様子を見ることができ、紙面では理解できないこともあります。</p> <p>現在、議会でどのようなことが、課題として話し合われているのか参考になります。</p> <p>魚沼市は、消滅自治体の中に入っています。</p> <p>地域住民が課題意識を持ち語り合い、今できることを考え、実践する場の必要性を感じています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会に対する意見ではありませんが、2点要望を書かせていただきます。</li> </ul> <p>①魚沼市の連絡放送、家の窓をしめているとよく聞こえません。</p> <p>②昼の音楽「魚沼元気」。季節に合わせて、チェリッシュの歌入りで流してはどうでしょうか？（市制20周年です。歌を知らない方も多いのでは？）</p>
<p>市の子どもの数の減少、人口減少が気になります。</p> <p>人口減少を克服するための対策や有効事例に学びながら知恵をしまりたいものです。</p> <p>例えば、長期的には消雪対策（水だけに頼ることなく、地中熱の活用）、山菜などの産業開発など奨励支援。可能性の目はないのでしょうか。</p>
<p>住民と議会の関係は現在どうでしょうか？</p> <p>議員さんの気持ちはどうでしょうか。</p> <p>一住民として選挙の時は地元議員さんとは接続があり、日頃も期待していますが、他地域の議員さんはほとんど顔もわかりません。こんな人が多いと思います。でも、これを解消する方法はわかりませんが…。</p> <p>立派な議会便りも出ていますが、どれ程の人がよく見ているのでしょうか？議会として、また考えてください。</p> <p>駄弁を書きすみませんでした。</p>
<p>堀之内地区の小規模校のPTA役員です。</p> <p>学校の治安は、保護者を含めて良好です。</p> <p>大人数に慣れない児童のために、課外学習や修学旅行は隣接校と合同で行い、大人数に慣れる、取組み、育成も必要と思います。</p> <p>修学旅行や尾瀬学習は、交通手段の経費縮減にもつながります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 未来を担う子どもたちが楽しく、時には辛い体験をもちろん味わいながら成長して欲しいと思います。</li> </ul> <p>保護者もちろん、様々な経験、体験をします。</p>

自分の子どもはかわいいです。味方です。当たり前です。

しかし、どこかで、「自分の子どもに限って・・・」、「自分の子どもはそうではない・・・」どこか他人事として、とらえていることが多い気がします。その反面、自分ごとになった時は、感情的になり、一方通行の意見ばかりを、周りや教職員、さらには、自分の子どもに押し付けているように思います。保護者が、様々なことを学ぶ必要があるのではないかと反省することも大切だと思います。(大人、保護者、教職員、全て)

・子どもたちの経験・体験の場を奪っているのは実は、大人、教職員、国です。働き方改革のワードを使えば何でも通用、理解できると思うのは、そろそろ終わりになります。

何故なら、そう言われてきた子ども達が、成人になってきたからです。

そして、教育現場に現れてくるからです。教職員の負担軽減のために物事が進められているが、甘ったれたことを言えなくなると思います。

改革は仕事の量、負担を減らすではありません。「創造」です。

それが、今の教職員は守られすぎているため、子どもたちに創造しているつもりで、実は、多くの教職員は、そうではありません。

・シルバー世代の移住は時々目にするが、若い世代の移住が少ない。

技術的なアイデアを出してほしい。子連れ世代の移住がなければ発展できない。

給与が一般社員よりも早く大きくアップした議員に大きな期待を寄せています。

○学区再編について

・学区審議委員が、結論を出したことの説明は、はぶくか、軽くふれる程度にする。

・児童の減少により学区を再編成しなければならない理由を軽く説明する。

・住民との対話集会を開催し、出席者の意見に十分に聞くことが必要である。

・押しつけられたのではなく、やむなくこうならざるを得ないとの結論になることに期待する。

・魚沼市の歴史がわかる博物館があればと思います(廃校となった学校等を利用して)。

・只見線を学ぶための場をつくってほしい。

・学校教育に赤十字の精神を取り入れていくことが必要と考えます(平和教育・国際親善・奉仕・思いやりの教育)。

・魚野川・只見線・銀山平・大湯等の歴史的価値を見直して、その価値を生かす政策をしてほしい。

・十日町のような大地の芸術祭のようなイベントを魚沼市でも何か考えることはできないか。

魚沼の歴史を考えたものがあれば、魚沼祭として実行できればと考えます(市外・県外から集う)。

学校教育をめぐる状況は、めまぐるしく変化しています。

魚沼市の子どもたちに、将来この地を大切に思い、この地に残って市の産業を守ってもらうためには、教育活動の充実や県や市町村による不公平がないようにすることは必須のことと思います。

限られた予算の分配は、とても難儀なことだと思いますが、将来の子どもたちのために教育環境の充実をどうぞよろしく願いいたします。

意味の分からない言葉があり、回答にこまりました。

現状もよく分からない私のような高齢者の意見は必要かな？

子どもたちに民泊体験をさせ、地域の人との深い交流をし、親・家族とは違った、人との場づくりをする。

民泊した家から学校に通い、帰ったら家事の手伝いをしたりする。

困りごとを相談できる場を増やす。

魚沼市を良くするために、いつもありがとうございます。

予算の審議や条例の制定、請願の採択など大切な役割をもつ議会、いつもありがとうございます。行政へのチェック機能について、どれくらい発揮されているか住民に見えてこないように思います。「議会だより」で質問をしました、答弁はこうでした、だけでなく、なぜその質問が住民にとって必要なのかを見える化した、議会だよりにしたらどうか。

次の選挙のための質問であってはならない。

議員の皆さんには、常に勉強すること、住民の声を聞くこと、謙虚であること、住民の代表としての自負をもっと胸を張って持ってほしいと思います。

なまいきを申し述べました。申し訳ありません。

・生涯学習の推進について

魚沼市では条例で「推進会議」・「推進本部」の設置を決めている。

生涯にわたって学び続ける必要が特に現在求められていることから、この条例に基づく基本的な動きが大切になってくる。

この点についての見直しが必要である。

社会教育、学校教育、家庭教育の全般にわたって視点を広げ、「学び」について考えていきたい。

社会教育では、公民館活動、図書館、博物館等の施設が、その拠点として挙げられるが、新設の生涯学習センター（特に図書館に期待している。）を大切にしていきたい。

・人権教育の重要性

市には人権教育、啓発推進計画が作成されている。

心の豊かな、やさしさいっぱいの魚沼を目指したい。

・戦争と平和：大戦後 80 年となる。世界は大変な時代である。歴史教育を含め、平和の大切さを学ぶ。

※貧困家庭の増加が取り上げられている。将来を担う子どもたちの学びや夢を大切にしていかなければと考えている。

・奨学金などの補助

・子ども食堂の常設化

・福祉の街：魚沼

○学区再編について

基本的には、自宅から近い学校へ通うのが理想的だが、それぞれの学校での活動を明確にして、学校の活動内容から、入学する学校を選べるような仕組みもあって良いのかな？と思う。

イメージは、保育園に入所するとき、保育の内容を知ってから決めたように、小学校や中学校も選択できるのもありかな？

通学手段は、また考えなければだけど…。

・登下校を自家用車で送り迎えしてもらっている児童・生徒が多いです。理由はいろいろあるようですが、このことについて、どのように思われますか。

・日頃から様々な課題について、話し合われており、ありがとうございます。

小さな子どもたちから、人生の大ベテランの方々まで過ごしやすい魚沼市になってほしいと思っております。

現場で働く、教員、保育士の生の声を聞いてください。現場は人手を必要としています。市からの配置をお願いします。

## 福祉文教分科会 【環境】

## 【回答者数】

回答者 37人（対象者 50人）

【まず始めに、地域についてお聞かせください。】

選択肢	回答数	割合
1. 堀之内地域	6	16%
2. 小出地域	7	19%
3. 湯之谷地域	6	16%
4. 広神地域	7	19%
5. 守門地域	6	16%
6. 入広瀬地域	5	14%
無回答	0	0%
計	37	

## 環境分野について

【問1 地球温暖化など環境問題に関心がありますか。（○は1つ）】

選択肢	回答数	割合
1. 関心がある	19	51%
2. ある程度は関心がある	16	43%
3. あまり関心がない	2	5%
4. 全く関心がない	0	0%
無回答	0	0%
計	37	

【問2 現在、地球上の二酸化炭素の量が増加し、気温が徐々に上昇する地球温暖化が急速に進んでいます。地球温暖化防止のために行うべきと思うものは何ですか。(あてはまるもの全てに○を付けてください)】

選択肢	回答数	割合
1. バスや鉄道などの公共交通機関や徒歩・自転車を利用し、マイカーの使用を控える。	6	5%
2. 照明やテレビをこまめに消したり、冷暖房を控えめにする。	12	10%
3. ごみの減量化に取り組む。(食べ残しの削減、使い捨て商品の抑制、物の長期使用など)	21	18%
4. 缶、びん、ペットボトル、プラスチック製容器や包装などの分別・リサイクルに取り組む。	20	17%
5. 太陽光発電などの再生可能エネルギーを利用する。	24	21%
6. 省エネルギー型の家電製品を利用する。	9	8%
7. 住居の断熱効果を高める。	11	9%
8. 環境(地球温暖化)について学ぶ。	13	11%
無回答	1	1%
計	117	

【問3 ごみの分別や減量の取組みに関心がありますか。(○は1つ)】

選択肢	回答数	割合
1. 関心がある	16	43%
2. ある程度は関心がある	19	51%
3. あまり関心がない	2	5%
4. 全く関心がない	0	0%
無回答	0	0%
計	37	

【問4 ごみの分別や減量が必要な理由として、重要だと思うことは何ですか。(○は3つまで)】

選択肢	回答数	割合%
1. 温暖化の防止(ごみ処理で発生する温室ガスの削減)	13	14%
2. 天然資源やエネルギーの節減(ごみ処理で使う燃料や電気、水などの削減)	14	15%
3. 再資源化の推進(分別することで廃棄せず再び資源として使う)	30	33%
4. 自然環境の保護(廃棄を減らし最終処分場を長く使う)	15	16%
5. 生活環境の保全(におい、虫の発生、鳥獣被害などを防ぐ)	6	7%
6. 経費の削減(ごみ処理に使う税金をできる限り減らす)	6	7%

7. 迷惑防止（自治会や近隣住民、収集業者などに迷惑をかけない）	7	8%
8. その他	0	0%
無回答	0	0%
計	91	

【問5 家庭ごみの再資源化（リサイクル）で取り組んでいることについて、あてはまるものに全て○をつけてください。】

選択肢	回答数	割合
1. 家庭ごみの分別方法として、「ごみの分け方・出し方ガイドブック」をしっかりと読んでいる。	22	19%
2. 分別に迷ったら、インターネット検索や問い合わせなどをして調べている。	7	6%
3. 自治会や小中学校の資源物回収に参加している。	17	15%
4. 白色トレイや牛乳パック、ペットボトルなどの店頭回収を利用している。	17	15%
5. 鉄やアルミ缶、古紙などの資源物を買って取ってもらっている。	11	9%
6. 再生品を積極的に選んでいる（ティッシュ、トイレットペーパー、衣類など）	2	2%
7. 汚れたプラスチック製容器や包装を洗うなど、汚れを落としてリサイクルしている。	15	13%
8. 雑紙も積極的にリサイクルしている。	20	17%
9. その他	2	2%
10. 取り組んでいない	1	1%
無回答	2	2%
計	116	

(9. その他の内訳)
古着のリサイクルに出している。
鉄、アルミ缶、古紙は、無償回収業者に出している。

【問6 再使用（リユース）で取り組んでいることについて、あてはまるものに全て○をつけてください。】

選択肢	回答数	割合
1. 市による古着や食器、雑品の無料回収を利用している。	16	18%
2. リサイクルショップを利用している。	14	16%
3. メルカリ、ヤフーオークションなどを利用している。	9	10%
4. 家族や友人、知人など必要とする人へ譲渡している。	10	11%
5. 修理などして繰り返し使っている。	14	16%
6. 別の用途で再度使っている。（タオルを雑巾にする、チラシの裏をメモ用紙にするなど）	23	26%
7. 家庭で余ってしまった食品を寄付している。（福祉施設や子ども食堂など）	1	1%
8. その他	0	0%
9. 取り組んでいない	1	1%
無回答	2	2%
計	90	

【問7 家庭ごみの発生抑制（リデュース）で取り組んでいることについて、あてはまるものに全て○をつけてください。】

選択肢	回答数	割合
1. マイバック、マイボトル、マイ箸などを実践している。	19	20%
2. 使わない景品、割り箸、過剰包装などは、受け取りを断っている。	10	10%
3. 使い捨て商品の使用は控え、詰め替え商品を積極的に選んでいる。	18	19%
4. 廃棄を減らすために、食品や衣類品、生活雑貨の適量の購入に努めている。	15	15%
5. 食品購入時には、「てまえどり」を実践するなど、期限内に消費するようにしている。	6	6%
6. 3きり（使い切り、食べ切り、水切り）で生ごみを減らしている。	7	7%
7. 生ごみの乾燥、堆肥化、減量化を行っている。	6	6%
8. 刈草などの乾燥や堆肥化を行っている。	11	11%
9. その他	0	0%
10. 取り組んでいない	3	3%
無回答	2	2%
計	97	

【問8 ごみの分別や減量で困っていることについて、あてはまるものに全て○をつけてください。】

選択肢	回答数	割合
1. ごみの分別方法が分からない。	1	2%
2. ごみの分別や減量の必要性、効果が分からない。	1	2%
3. 「水ですすぐ」、「ラベルをはがす」、「束ねる」など、ごみを出す際に手間がかかる。	16	25%
4. プラスチック製容器やペットボトルなど、どのくらい汚れを落とせば良いか分からない。	6	10%
5. ごみ収集日までに保管しておく場所がなかったり、せまい。	1	2%
6. 自宅からごみステーションが遠い。	0	0%
7. 生ごみを自分で処理したいができない。(置き場所が無い、鳥獣の被害が不安、においや虫の発生が心配など)	1	2%
8. 粗品や景品、包装、ダイレクトメールなど、不用なものを多くもらってしまう。	8	13%
9. 家電4品目(エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機)やパソコン、タイヤなど市が引き取りできない物の廃棄が面倒だったり難しい。	22	35%
10. その他	2	3%
11. 分からない	1	2%
無回答	4	6%
計	63	

(10. その他の内訳)
なし
R252号にあるごみステーション、ルールを守らないゴミが放置される。

【問 9 ごみの分別と減量を推進するために本市に必要な取組みについて、お聞かせください（○は3つまで）】

選択肢	回答数	割合
1. ごみの分別や減量に関する周知啓発の強化。	13	18%
2. ごみの分別や減量を推進する補助金・奨励金の充実。	7	10%
3. 自治会や小中学校などによる資源物の集団回収を広める。	9	12%
4. 分別収集する資源ごみの品目を増やす。（プラスチック製品など）	7	10%
5. 不適切排出への監視や指導の強化。	14	19%
6. 不適切排出への罰則の創設。（罰金を課す、氏名を公表するなど）	8	11%
7. 家庭ごみの料金を上げる。（ごみ袋の代金など）	3	4%
8. 事業系ごみ対策の強化。（適正排出や減量の指導など）	4	5%
9. その他	1	1%
10. 分からない	3	4%
無回答	4	5%
計	73	

（9. その他の内訳）

コピー済み用紙のトナーはがし機の導入

【問 10 魚沼市のごみ分別アプリ「エコうお」について、あてはまるものに○をつけてください。（○は1つ）】

選択肢	回答数	割合
1. 「エコうお」を普段から活用している。	8	22%
2. 「エコうお」のアプリは入れているが、あまり活用していない。	2	5%
3. 「エコうお」の存在は知っているが、アプリは入っていない。	9	24%
4. なんとなく聞いたことはあるが、よく知らない。	8	22%
5. 聞いたことはない。	7	19%
無回答	3	8%
計	37	

【問 11 ごみの分別・減量・リサイクルを進めていくには、市民・事業者・魚沼市がそれぞれの役割を果たすとともに、相互に連携し取り組むことが必要だと思います。市民・事業者・魚沼市の果たすべき役割について、ご意見、ご要望、ご提案等がありましたらご記入ください。】

自由記述
市民の意見向上のため啓発セミナーなどの取り組みが必要。
改体して出せるようにしてほしい（スプレー缶等）
市民としてはエコおアプリ等の活用をし、正確なゴミの分別が必要。 市としては、繰り返し分別の啓蒙活動をお願いします。
回収事業者へ。不適切ゴミとしてシールを貼る基準を統一してもらいたい。担当者によって取扱いがバラバラ。
住民に分別のやり方を徹底させる。

【問 12 その他、議会に対するご意見等を自由にお書きください。】

自由記述
議会ではありませんが、エコプラントの業務について意見があります。 現在エコプラントでは、持ち込み時に、①計量、②ゴミの降ろし、③再計量、④料金支払い、となっていますが、窓口が計量場所から離れており、④の料金の支払いの際はいちいち車から降りて窓口まで行かなくてはなりません。もたもたしていると1分以上もかかることもあり、特に持ち込みが混在するときは、なかなか順番が来ません。 津南町にある焼却場は、窓口が右側にあり、しかも計量プラットホームのすぐ隣にあるため、スタッフとのやり取りや料金の支払いがスムーズです。 今度新しいエコプラントを建てる時は、是非とも受付窓口を右側にして、運転席からのやり取りがスムーズにできるようお願いします。
集落においても分別が良くできていなくて、役員で分別をやり直しております。市民のゴミの出し方について考えてもらいたいと思います。
人口増を図る取り組み（日本一人口の増える街づくり）が必要と思います。 議会が若い市民と一体的に新たな施策を打ち出してください。お願いします。
議会放送を、深夜放送できないか。
他市の議会では、議会中のスマホゲーム、いねむり等、市民をがっかりさせる事案があるようです。他市のことと思わず、エリを正して活動してほしいと思います。
各所のゴミステーションで不分別のゴミが持ち込まれていることが結構あると思われます。回収日の間違いや、ちょっとした不分別は、エコプラントが貼り紙をしていくので後日処理されていますが、地域外の人が不分別で（燃やせるゴミと空きビン、空き缶を一緒に出す等）出していくと誰だか特定できず、班の掃除担当者が非常に迷惑しています。大量のゴミ処理をしているエコプラントに解決を求めても無理かと思います。 各家庭に配布してある表は細部にわたって記載されているので便利ですが、なかなか細かく見てい

る人ばかりではありません。そこで、燃やせるゴミと空き缶等を一緒に出すような人向けに、ごく基本的なわかりやすい分別方法を周知することを考えて頂きたい。

## 福祉文教分科会 【公共交通】

## 【回答者数】

回答者 35人（対象者 50人）

【まず始めに、地域についてお聞かせください。】

選択肢	回答数	割合
1. 堀之内地域	5	14%
2. 小出地域	7	20%
3. 湯之谷地域	8	23%
4. 広神地域	6	17%
5. 守門地域	4	11%
6. 入広瀬地域	5	14%
無回答	0	0%
計	35	

## 公共交通について

民生委員・児童委員の皆さまにお聞きします。

マイカーを使わず、魚沼市の公共交通を利用した生活について、高齢者や子どもたちの声、また、ご自分のお考えをお聞かせください。

【問1 普段の移動手段として、魚沼市の公共交通をどうお考えですか。（○は1つ）】

選択肢	回答数	割合
1. 満足している	3	9%
2. やや満足している	8	23%
3. やや不満である	9	26%
4. 不満である	12	34%
5. どちらともいえない	3	9%
無回答	0	0%
計	35	

## 【問2 日常生活で普段から行く施設名をお聞かせください。】

## 1. 病院・診療所

名称	回答数	割合
魚沼基幹病院	12	20%
小出病院	18	30%
守門診療所	4	6%
中島医院	4	6%
上村医院	2	3%
宮医院	3	5%
金本医院	1	2%
小玉医院	3	5%
ふくじゅクリニック	1	2%
浦佐診療所	1	2%
大和病院	1	2%
うおぬま眼科	4	6%
星歯科	1	2%
小川歯科	1	2%
湯之谷歯科	1	2%
骨とスポーツのクリニック	1	2%
市外病院	1	2%
市内診療所	1	2%
計	60	

## 2. 商業施設（スーパー等）

名称	回答数	割合
ピアレマート	5	7%
原信	23	31%
ウオロク	17	23%
マルイ	4	5%
ウエルシア	2	3%
A コープ	6	8%
スーパー	1	1%
ドラッグトップス	3	4%
ココカラファイン	1	1%
薬局	1	1%
コメリ	5	7%
ひらせいホームセンター	1	1%
ホームセンター	1	1%
ダイソー	2	3%
セリア	1	1%

セブンイレブン	1	1%
コンビニ	1	1%
計	60	

### 3. 市役所・支所等

名称	回答数	割合
魚沼市役所、本庁舎	19	63%
湯之谷支所	1	3%
北部庁舎、北部事務所	5	17%
入広瀬会館	4	13%
ボランティアセンター	1	3%
計	30	

### 4. 金融機関（郵便局・銀行等）

名称	回答数	割合
郵便局	18	33%
JA 魚沼	16	29%
第四北越銀行	13	24%
大光銀行	4	7%
ゆきぐに信用組合	1	2%
新潟県労働金庫	1	2%
セブン銀行	1	2%
市内全店	1	2%
計	55	

### 5. 福祉施設等

名称	回答数	割合
うかじ園	1	5%
魚沼市社会福祉協議会	6	29%
魚沼地域福祉会	1	5%
小出ボランティアセンター	10	48%
広神老人福祉センター	1	5%
寿和ホーム	1	5%
デイサービス	1	5%
計	21	

### 6. 公民館・文化施設等

名称	回答数	割合
堀之内公民館	3	13%
堀之内体育館	1	4%
魚沼市小出郷文化会館	7	31%
小出ボランティアセンター	1	4%

コンベンションホール	1	4%
大沢公民館	1	4%
湯之谷会館	1	4%
広神公民館	1	4%
広神コミュニティセンター	3	13%
広神図書館	1	4%
広神老人福祉センター	1	4%
北部公民館	1	4%
北部庁舎	1	4%
計	23	

## 7. 駅など

名称	回答数	割合
浦佐駅	6	38%
小出駅	9	56%
北堀之内駅	1	6%
計	16	

## 8. その他

名称	回答数	割合
神湯温泉倶楽部	1	25%
消防署	1	25%
カーブス小出店	1	25%
小出警察署	1	25%
計	4	

【問3 魚沼市乗合タクシーの料金について、お聞かせください。(○は1つ)】

選択肢	回答数	割合
1. 高い	0	0%
2. やや高い	3	9%
3. 適正	24	69%
4. やや安い	0	0%
5. 安い	1	3%
6. どちらともいえない	6	17%
計	35	

【問4 魚沼市乗合タクシーの予約時間についてお聞かせください。(○は1つ)】

選択肢	回答数	割合
1. 満足している	2	6%
2. やや満足している	7	20%
3. 適正	9	26%
4. やや不満である	5	14%
5. 不満である	3	9%
6. どちらともいえない	8	23%
無回答	1	3%
計	35	

【問5 現在の魚沼市の公共交通で不満に感じている事をお選びください。(○は3つまで)】

選択肢	回答数	割合%
1. 乗合タクシーの便数が少ない	10	15%
2. 予約が難しい	4	6%
3. 路線、経由地が決まっていて、行きたい所に行けない	13	19%
4. 停留所が遠い	3	4%
5. 毎日運行していない	9	13%
6. 土日は運行していない	10	15%
7. 乗り継ぎが不便である	5	7%
8. わからない	7	10%
9. 特に不満は感じていない(便利に感じている)	2	3%
10. その他	3	4%
無回答	1	1%
計	67	

10. その他の内訳

高齢者の方から停留所が遠くて乗合タクシー使えないという声がある。

本数を増やして欲しい、乗っている人が沢山だと寄り道するから遅くなる、予約がいっぱいだからと断れた、話が違う。

家の前まで迎えに来てもらえる事は皆さん喜んでいる。

夕方以降の電車(6時台)のバスが無く送迎するしかない。

乗合タクシーの帰りの路線、便が少なく予約が面倒だ。

【問6 公共交通に対する市の財政負担の在り方についてお聞きします。】

令和6年度予算では、路線バス運行費補助金として約5,600万円、乗合タクシー及びコミュニティバス運行費補助金として約1億200万円の予算を計上しています。

今後の市の財政負担の在り方については、検討が必要だと思います。

公共交通に対する市の財政負担の在り方として、どのような「目的」のために、優先して使われるべきだと思いますか。

「優先される目的」を選んでください。(○は3つまで)

選択肢	回答数	割合%
1. 通勤で便利に移動できるようにするため。	2	2%
2. 小・中・高校生が通学で便利に移動できるようにするため。	13	13%
3. 買い物で便利に移動できるようにするため。	8	8%
4. 病院へ通院等で便利に移動できるようにするため。	29	28%
5. 商業施設（スーパー等）へ便利に移動できるようにするため。	17	17%
6. 市役所などの公共施設へ便利に移動できるようにするため。	11	11%
7. 高齢者、障がい者、妊産婦などの移動を便利にするため。	21	20%
8. 駅へ便利に移動できるようにするため。	0	0%
9. 公共交通の運行は、民間の交通事業者にまかせればよい。	0	0%
10. 分からない	0	0%
11. その他	1	1%
無回答	1	1%
計	103	

11. その他の内訳

買物はネットスーパーや移動販売（とくしまるなど）を充実させる。

【問7 公共交通に対する市の財政負担について、あなたの考え方に近いものを選んでください。(○は1つ)】

選択肢	回答数	割合%
1. 市の財政負担を増やし、公共交通を充実すべき。	11	31%
2. 市の財政負担は現状のままで、これまでどおりの公共交通を維持すべき。	13	37%
3. 市の財政負担を減らし、公共交通を縮小すべき。	0	0%
4. 分からない	6	17%

5. その他	4	11%
無回答	1	3%
計	35	

5. その他の内訳
高齢者世帯が増加している、対応を考えるべきと思う。
出来るだけ負担を増やさず便利にする方法は何かないでしょうか。
財政負担が多くてびっくりした。このままの負担で改善する方法があればいいと思う。
財政負担を増やさずに現状を検討して工夫して充実させてほしい。
どうなれば皆が暮らし安くなるか、なかなかむずかしいです。

**【問8 魚沼市の公共交通に対するご意見、ご要望があればお書きください。】**

自由記述
日常の買い物等
現状では車を運転できるので不便を感じないが、将来、免許証を返納、更新出来なくなったら、とても困ると思う。小出一小千谷線の路線バスでさえ、土日の本数の少なさ。小出に行くのも大変になる。運転手さんの確保も難しい中、本数を増やすのも難しくなるとは思いますが、赤字を最小限に押さえつつ、知恵を出さなければならないと思います。
高齢者や障がい者等の生活を支える移動手段として充実させてほしい、福祉タクシーではない乗合タクシーも歩行補助具、利用者に必要に応じて手助けをお願いしたい。広神地区は路線により運行が1日おきになっていて、通院する時に予約日（病院等）と合わない利用できずに不便に思う。
色々あっても高齢者には、分かりにくいと聞きました。
高齢者の免許返納がおおくなります。ますます公共交通を利用しやすくしてほしい。
今は自家用車でいきたい所へ行けますが、今後が不安です。
もう少し病院が近ければよいと思います。（けっこう病院まで時間がかかるので不便です。）
公共交通バスの利用者が少ないのに大型バスでの運行はガソリン代等経費がもったいない。小型のバスに切り替えて経費の削減を図るべきだと思う。
移動手段のない人は、あらゆる面で公共交通が必要と思います。ある団体でも乗合タクシーの試乗体験いたしましたが、マイカーを利用できる人は、試乗体験しても意識が真の公共交通の利便性・不便性に届かない部分があります。 議会の皆さま方で乗合タクシー利用・試乗体験された方もいると思いますが、今一度、議会の皆さま方も試乗体験して頂きまして、実際利用されている方そして、試乗された方等との意見交換をし、今後の方向性を見出せる一助となれば幸いです。
現在は車の運転ができるが、今後車を運転できなくなった時が不安。
入広瀬地域でも乗合タクシーが利用できるようにしてもらいたい。高齢者が多く、車の運転もでき

ない人が多い。乗り継ぎなしでも利用できる公共交通を充実させてもらいたい。
必要な人に利用してもらえていないところがあり、うまく活用されていないと思う。
乗合タクシーの件で、中高生の部活の関係で夕方6時頃のタクシーがあれば良いと思います。
電車の時間に合わせてバスの運行が有ってほしい。小出駅で高校生の定期券の更新が出来るようにして欲しい、現在は浦佐駅の機械でしている。
小出駅にみどりの窓口を復活して欲しい、高齢者はネット利用が苦手です。
停留所の設定を細かく近くで乗り降り出来る事を要望したい。冬期間の利用出来る事を期待。
土日の運行をしてもらえれば有難い。
便利に利用できる事、臨みます。
運行ルート以外の地域を考えて頂きたい。
入広瀬コミュニティバスから魚沼市乗合タクシーへ接続できるように。北部入広瀬地域から魚沼市乗合タクシーに予約でき、また、発着が入広瀬地内で予約できるように。
コミュニティ内のイベントがある時は、会場までバスを運行してもらいたい。中高生で部活をしていて帰りが遅くなる子が乗れるよう、バスの増発をお願いしたい。
まだ自分は利用していないので不便な事もよく分かっていないのが現実です。 毎年の検討をお願いします。

**【その他、議会に対するご意見等を自由にお書きください。】**

自由記述
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者免許返納後の移動問題。企業誘致。高齢者、子育て支援等。</li> <li>・ 企業誘致</li> <li>・ 高齢者、子育て支援等</li> </ul>
<p>子どもの駅かたつきりは、幼児が遊ぶには大変良い施設で利用しましたが、最近混雑しています。障害児（発達障害、知的障害）が走り回ったり運動出来る、土、日、祝日の利用ができる施設を検討してほしいです。混雑していると、その中で遊ばせる事が難しいです。</p>
<p>二人暮らし高齢者、一人暮らし高齢者の話を聞くと、冬の除雪の心配が多く聞かれます。除雪の助成金がでて、その除雪をしてくれる人がいない。免許返納して病院に行けなくなる心配など。若い人が帰って来て住んでくれる事もないと思うので、高齢者が安心して生活できるように、そして明るく元気に過ごせるように、どうしたらよいか考えてほしいと思います。</p>
<p>「議会だより」等を拝見し、各議員の皆様の議員活動に感謝しております。市議会議員の役割として市民の意見を聞き、内容を読み解き市政に届けることが重要なことだと考えます。現実に向けて施設や条例等の提案・議論・決議がありますが、決められた施策が当初目的の達成に向けて順調に進んでいるかの進捗管理も重要な役割だと感じています。アンケートの依頼文では「令和7年度に策定する10年間の町づくりの総合的な指針・・・」とありますが、最低でも検証期間を2～3年ごとに設ける必要があると感じます。10年後の姿はそれとして、2～3年後の姿を一つの目標とし</p>

て事業を進め検証する、その繰り返しで当初掲げた10年後の姿に到達できればと思います。今年度、内田市政は「住みやすいまち日本一」を掲げ、各施策（行動計画）を示しました。中でも「子育てのまち日本一」と銘打った子育て支援や住宅支援、雇用対策は有効に活用できれば最初に掲げた目標に近づけると思います。それぞれの施策（支援）のメニューは多く、それぞれに予算がついていると思いますので、市議の皆さまにはそれぞれのメニューが目標に対してどれだけ利用があって、効果はどうだったのかを1年ごとに評価して、効果があったものは継続（又は増額）、効果や利用が少なかったものは予算の削減や廃止などの判断も必要だと感じます。毎年毎年アップデートすることで「住みよいまち」に近づけると感じています。魚沼市民の多くは贅沢もいいけど「安心して暮らせるまち」を望んでいるのではないかと民生委員活動を通じて感じています。また、内田市長の最重点施策のひとつに「子育て支援」がありますので、小中学校の給食費無償化は是非項目に挙げて早期実現に努めて頂きたいと思います。一人親世帯も多く貧困対策にもつながりますし、何より子どもの成長に精神的な負担を負わせないためにも宜しくお願いします。（実施済みでしたらすみません。）

最後に市議会と市役所（行政）は市政運営の両輪です。魚沼市のより良い10年後を目指して頑張りたいです。私も一市民として協力したいと考えています。

より良い魚沼市のために活動してもらいたい。

議場が狭い。傍聴席と同じ目線で議員がどなたか分からない。居眠りしている議員がいました。キョロキョロしている方もいました。

議員が質問している内容の答えが曖昧のように思えた。

高齢化が進み税収が若い方の負担にならないように。

子どものいじめにも取り組んでほしい。

誰かさん（議員）の親類だから言われなくてもいい。

笹沢の山道は？

せっかく生涯学習センターを作るのだから、病院や通学からの待ち時間などで、寄りやすい空間になるように頑張ってほしい。

クーリングシェルターや節約のために寄って過ごしやすい場所があって欲しい。

小学校、中学校の不登校の子どもたちの居場所について（病気や障害があったり、色々な理由だと思う）親が安心して働けるように何か良い案があったらいい。

大学卒業後に地元へ帰り働くにあたって、大卒以上の就職先が少なすぎる。もっと働き口があったら、人口も増えるのではないのでしょうか。

また、奨学金の返済でなかなか結婚にふみきれない人もいるでしょう。せめて国立大卒ならいいとか何か独自のプランがあったら。

議会中に居眠りしないように。冷房で冷えて身体にもわるいから。

市民サービスコーナーの存在意義が分かりません。

市への提出物はすべて本庁舎へ届けに行かなければなりません。

広神地区から本庁舎へは結構距離があります。

提出物の預かり、進達くらいはやってもらえるとありがたいです。

これからも、良い市のくらしのために、頑張って下さい。

町場ばかりでなく、中心部からはなれて暮らす人々の事、忘れないでほしい。

委託事業についての調査。委託についての積算。

厚生年金保険料が積算されているにも関わらず現実には、国民年金を支払っている労働者がいた。もし

実際そういう事実があれば是正すべきだ。

長い間放置されている空き家を取り壊しの方向にもっていく知恵をだしてほしいです。

## 福祉文教分科会 【文化芸術】

## 【回答者数】

回答者 32人（対象者 50人）

## 【まず始めに、地域についてお聞かせください。】

選択肢	回答数	割合
1. 堀之内地域	3	9%
2. 小出地域	13	41%
3. 湯之谷地域	6	19%
4. 広神地域	6	19%
5. 守門地域	3	9%
6. 入広瀬地域	0	0%
7. その他	0	0%
無回答	1	3%
計	32	

## 芸術・文化について

【問1 あなたが感じている芸術・文化についての市の取り組み方について、お聞かせください。  
（○は1つ）】

選択肢	回答数	割合
1. 非常に満足している	2	6%
2. 満足している	9	28%
3. やや満足している	8	25%
4. やや不満である	5	16%
5. 不満である	2	6%
6. どちらとも言えない	6	19%
7. その他	0	0%
無回答	0	0%
計	32	

具体的にこうした取り組みがあったら良いと思うことがありましたら、ご記入ください。

秋の文化祭は地域ごとに「色」があって楽しい。学生さんが取材して観光案内パンフレットみたいに次年度のおすすめ冊子とか作成してくれたら、いい教材になると思う。

絵画、書道、写真等の展示施設が必要と思う。

やはり魚沼市に美術館がないことへの不満です。
市の取り組み方に云々ではなく、市民全体がもっと芸術・文化に関心を持って欲しい。
芸術・文化（人間性の知的感情や理想性、理解力です。）
小さな場所でも、ジャンル別の発表の場があると良いと思います。
芸術・文化に触れようという形態が非常にまずしく感じる。 もっとわかりやすい、伝えやすい広報は考える必要がある。

【問2 次世代の担い手である、子どもたちを育成する芸術・文化体験の場についての市の取り組み方について、お聞かせください。（○は1つ）】

選択肢	回答数	割合
1. 非常に満足している	2	6%
2. 満足している	6	19%
3. やや満足している	9	28%
4. やや不満である	6	19%
5. 不満である	1	3%
6. どちらとも言えない	8	25%
7. その他	0	0%
無回答	0	0%
計	32	

<b>市の取り組みについて意見等がありましたら、ご記入ください。</b>
こども芸能祭に参加したいので、子どもへの記念品など十分な予算をつけてほしい。
小中学生をまじえての話し合いの結果が、どのように生かされているか、わからないこと。
市の取り組み方に云々ではなく、茶道協会の者ですが、後継者育成が出来ていなかった為、大変ですが、それぞれの小学校にお声かけをして「おもてなしの心、茶道体験」の呼びかけをさせて頂いているところです。
子ども達の活動には、大いに支援してほしい。
これから魚沼市の発展性は子どもたちの豊かな感性を育成すること。
こども芸能祭は、価値あるイベントだと思います。
何故、芸術・文化が必要か！ 頭と力とかなだけではない、心を育てる要素があるからです。

【問3 国の重要文化財である「目黒邸」、「佐藤家」や「永林寺」、「西福寺」などの重要施設の保存や観光資源としての市の取り組み方についてお聞かせください。(○は1つ)】

選択肢	回答数	割合
1. 非常に満足している	1	3%
2. 満足している	7	22%
3. やや満足している	7	22%
4. やや不満である	6	19%
5. 不満である	1	3%
6. どちらとも言えない	9	28%
7. その他	0	0%
無回答	1	3%
計	32	

具体的にこうした取り組みがあったら良いと思うことがありましたら、ご記入ください。
観光場所として重要であることはよくわかるが、地元民の目黒邸の活用方法など平等にわかりやすくしてほしい。
市報の防災訓練・無料開放日くらいしか認知していない。 皇居の奉仕団みたいに、レジャー感覚で参加（お弁当くらいもらえると尚いい）できるイベントなど。古いものになじみの良い、若い人にはかえってウケるのでは。
市内の学校は目黒邸などを史跡、文化遺産として、見学したり、学習する機会を持っているのか…。年間相当な、お金がすぎ込まれている訳なので教育的な面で活用する必要があると思う。
外貨をかせぐことへの気持ちが、あまりないように思います。
観光客目的のパンフレット広告は無駄な感じがします。 魚沼文化、生活の知恵と食文化など多方面でアイデアを出し、前進する方向しかないのでは？
以前、目黒邸であった様に、テレビのロケハンの招致を積極的に行う。 魚沼市のCMを作った様に、素晴らしい技術があるので、共通事項のSNS発信を行う。
今、外からの観光で歴史に興味を持つ若者が多い。やはり外からの人がわかりやすい案内とか、入りやすい整備は必要です。

【問4 国の指定重要無形民俗文化財である盆踊りや地域の祭り・伝統行事の保存等の取り組み方について、お聞かせください。(○は1つ)】

選択肢	回答数	割合
1. 非常に満足している	1	3%
2. 満足している	6	19%
3. やや満足している	7	22%
4. やや不満である	5	16%
5. 不満である	0	0%

6. どちらとも言えない	11	34%
7. その他	0	0%
無回答	2	6%
計	32	

具体的にこうした取り組みがあったら良いと思うことがありましたら、ご記入ください。

集落・保存会で今までは行えていた盆踊りが、継続が難しくなっている。  
お祭り自体は住民も楽しみにしているが、課題があることは共有できていない。  
まず課題を確認することが必要と思う。

ただ後継者がいなくなってきましたので問題です。

以前は普通に参加していた行事が、ほとんど伝承、保存の対象になっているのには危惧しています。  
少人数でも、子供たち、大人も集まる機会をつくる。

**【問5 旧広神庁舎内に、旧石器時代から発掘された遺物（土器・石器）、古文書などを展示する施設を準備中ですが、取り組み方についてお聞かせください。（○は1つ）】**

選択肢	回答数	割合
1. 非常に興味がある	5	16%
2. 興味がある	14	44%
3. あまり興味がない	9	28%
4. 興味がない	1	3%
5. わからない	2	6%
無回答	1	3%
計	32	

**【問6 令和5年度の魚沼市文化協会には、各種団体が40団体、1,042名が登録されています。団体活動の取り組み状況について、分かる範囲でお答えください。（○は1つ）】**

選択肢	回答数	割合
1. 非常にうまくいっている	3	9%
2. ある程度うまくいっている	10	31%
3. 困難はあるが継続している	14	44%
4. 非常に困難な状況である	2	6%
5. どちらともいえない	0	0%
6. その他	2	6%
無回答	1	3%
計	32	

<b>活動の中で要望やご意見があれば、ご記入ください。</b>
自分の所属団体は、活動人数が減って、来年度は登録しない予定。個々の団体の状況と協会の方針を合わせていく必要はあると思うが、その機会は少ないのではないか。
事務局の再々の移動等、よくわかりません。
高齢化と人材不足、会員それぞれの目的、考え方がバラバラ。
今年 25 周年になりますが、最初から仲間に入れて頂いていますが、市民の皆さんの意識も高まり、頑張ってきた甲斐がありますし、これからも前向きに頑張りたいと思っています。
文化協会分野と生涯学習分野の 2 つの活動拠点があるが、それぞれ言い分があり、1 本にするには難しいと思うが、個人的にはモヤモヤしている。
一部団体の活動は活発であるが中々隔たりがあり、役員を続けることの意味が見い出せなかった。

**【問 7 芸術・文化に対する市の財政的な支援について、あなたの考え方に近いものを選んでください。(○は 1 つ)】**

選択肢	回答数	割合%
1. 市の財政支援を増やしてもらわないと、現在の活動は継続が厳しい。	8	24%
2. 市の財政支援は現状のままでも、ある程度支障はない。	12	36%
3. 市の財政支援は充分である。	1	3%
4. わからない	5	15%
5. その他	6	18%
無回答	1	3%
計	33	

※○を 2 つ付けた方がいるため

<b>5. その他の内訳</b>
不足分を会員の会費値上げで対応しているので支援が充分とはいえない。
市には財政支援よりトラブルがあったときに頼れるような取り組みを。各団体へ参加しやすいようにする方法を考えてほしい。
全てが先細りとなっております。
我々の団体（白象会）は、すべて自主財源で活動している。 南魚美術家協議会では、市等より補助金をいただいて活動している。
市の支援だけお願いするのではなく、市民全員が痛みを分かち合って、芸術・文化を高めて行くべきと思います。
地域活性化のため、色々の角度からも支援を増やして欲しい。
現状、施設使用料の減免をしていただき、ありがたく思っています。

財政的な支援に見合う活動ができるならば、お願いすることになると思います。

財政支援の在り方は非常にかたよっている。

地域コミュニティには十分な財政支援があるのに、文化祭のほうにはまったく支援がない！

**【問8 その他 魚沼市の芸術・文化に対するご意見、ご要望があればお書きください。】**

**自由記述**

私たちの会は拠点となる活動場所を持たないので会の資料などの保管に苦労しています。

どこかにそういう場所を作ってもらえれば、うれしい。

芸術・文化は心豊かに生きるためのものだと思う。

昔より娯楽が増え、これまでのやり方がうまくいかなくなっている。

今までのものを守るのか、異なる未来を描くのか、から選ばなければならないと感じる。

どの団体も精力的に活動をしているが高齢化が目立ちます。

次世代につながる工夫、アイデアが必要かと思います。(子どもたち、その親御さん達にアイデアを募集するなど…)

芸術者が多く魚沼市はすごいと言われていますが、展示することがほとんどなく残念です。(入場料での外貨収入)

・県展では、洋画 12 名、写真 18 名、書道等、県内トップクラスの実績です。

お願いですが、小出郷体育館の室内シートを購入していただけませんでしょうか。20 年以上前よりお願いし続けております。

・魚沼には美術館は今のところいらないと思います。

それに代わり、公民館を利用した小さな発表の場があると良いと考えます。

たとえば、伊米ヶ崎公民館のような。

それと魚沼市のどこの地域からでも利用できるようお願いします。あまり大きなものはいりません。

合併後の空庁舎について、活動時（練習、発表会など）他市では登録団体利用の場合、ほぼ無料で利用させていただいています。

魚沼との違いを感じていました。今は活動の拠点を南魚沼市に移しました。

皆様が笑顔で各地域がより活性化で前進できるようによろしくお願いします！

皆様の思考の中に文化・芸術を理解しているか？です。

文化会館の妊婦さんの割引サービスは、ストレス解消に良いことだと思います。

次の世代を担う子たちのために！

魚沼市の描いている文化の内容や質について、まったくよく解からない！

芸術・文化に関する活動（取組）をもっと積極的にPRしてほしい。

市の支援には感謝している。

今後とも従来同様をお願いする。

## 【その他、議会に対するご意見等を自由にお書きください。】

自由記述
<p>小学校で昼休みに子どもさんに踊りを見せる機会があり、コーディネーターさんが活動していると知りました。家庭に当該世代がいないと学校の取り組みなど知る機会が乏しいです。安全のためか校内への出入りもほとんどないと思います。負担も大きいと思われませんが、良い取り組みをしていってほしいと願っています。冬の積雪も大変ですが、夏の酷暑も年々ひどくなっている気がします。高齢の方や夏休み中の小中学生は市営の施設で涼をとつつ読書・勉強する人も多いそうです。夏休み中はスペースを拡充する。無料・格安送迎サービスを提供するなど。閉校した小中校の校舎が有効活用されてほしいです。(法令などにあかるくないので制約があるのかもしれませんが)大きな工作などをするのにアトリエ・作業スペースとして利用できるなどするとよいと思います。</p>
<p>1. 議会（議員）の活動等は会議報や一部の議員の活動報告（折り込み）位でしか知ることができない。</p> <p>2. 議員諸氏は、市報、地区の文化祭、地区の芸能祭、文化会館等で行われる団体の発表会等に折を見て観覧・参加されているだろうか…。</p> <p>そういった目配り・気配り支援が必要と思う。</p> <p>・文化団体、特に郷土芸能保存団体は、あと5年もたつと活動停止に追い込まれる団体が相当数出てくるものと思われる。</p> <p>その理由</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会員の高齢化</li> <li>2. 後継者を確保できないこと</li> <li>3. 少子化（若者も減）により会員になる人（なれる人）が少ないこと。</li> <li>4. 伴ってみてくれる人も減少していること。</li> <li>5. 以上の状況を当該団体、地域が解決できない現状にあります。</li> </ol>
<p>市のいろいろな会議に出席させていただいておりますが、なかなか住民の意見が反映されていない様に思います。</p> <p>こういう意見がでましたので、このようにします等、その後が見えないこと。</p> <p>南本町での大火災に対しても、マニュアルがなかったため、ボランティアセンターが開放されたのが3時間後くらいになったことと、現場ボランティアセンターに避難者を誘導しましたらカギがかかっていましてさらに、避難者が椅子、ゴザを出している姿を見ましたら、本当に魚沼市？と思いました。開放されましたとのことで行ったのに？</p> <p>市の防災課は動いていなかったように思います。</p> <p>マニュアルがないため初動が遅れたと思っています。</p>
<p>四季の輝く街、魚沼は水、雪、田、風景、どれもかけがえのない宝です。</p> <p>議員の方々は、この魚沼の自然の力、価値観をもっともっと議員同士でよく話し合い、高め合い、この魚沼を発展させてください。</p> <p>原発再稼働など、これら全てを無にすることです。</p> <p>自然を大切に！魚沼を大切に！人々を大切に！</p>
<p>議会の皆様方にこれからの魚沼市民の幸福を考えると？</p>

日本全体が世界から遠ざかり、地元の一番・マスターベーションです。  
客観的に視野や思考から、魚沼と新潟県・日本・世界とマクロからミクロの思考と実践するための基盤作りを、子供たちの育成と個性を未来へ投資する育成機関。  
無駄も資産として必要性もあると思います。  
失敗を恐れず、いつもともに成長していく未来を保証する何かが、必要と思われます。  
魚沼市の人口4万人の中で人間性の質的豊かさは何か？  
都市と近代化、過去に発展するチャンスがあり、アルプス電気等の企業が、地元の有志等が、未来を見ることができず、現在は今の現実です。  
これからは、地球の天候不順の中、戦争と国々の争いが続き、不透明の時代です。専門家の大学の先生方の講演等、新しい知識が必要で、ヒントとなる人生の生きる道を探ることが何かは、知恵しかないのでは。  
生きる力は経験と知識のバランス、調和がとれる人材育成が一番かな。

市内の空いている庁舎の、空いているスペースを、文化活動を行っている団体に、事務局や倉庫、音楽団体であれば、楽器庫などに貸し出しても良いのでは？練習場所など？

「芸能祭」、「音楽の夕べ」に議員さんも参加・見学に来てください。

- ・ 伝統芸能を次世代に伝えて残していくことに積極的に力をふるってください。
- ・ 行政と共に力を合わせて、活動に応援いただきたいです。

この地域に生まれ育ちました。  
もう70数年生きています。  
米がおいしく、野菜も育ち、雪の懸念を除けばよいところだと思いますが、もう少し人々の心が豊かであれば住みよいのだと思います。  
残念ながら住みやすいとは思いません。  
なぜか！文化、芸術のまずしさは、人の心（意識への向上）のまずしさにも直結しているということがわかりました。  
私事ですが、写真を始めようと思ったとき、その土台（土壌）が魚沼では見当たらず、南魚沼市の方に参加させていただき、様々な経験は私の人生の中で肥やしとなったり、栄養となりました。  
南魚沼市の場合、上部の人達に経済と人の心は両輪でなければならないとの思いがあったようです。  
市展とかに家族連れで多くの人達が見に来ていました。  
小さい子ども達も自然と文化・芸術にふれていました。（ちなみに魚沼市の第1回の市展のときは、南魚沼市や十日町市は36回目でした。）  
（気づく、感じる、考える）一人一人の心が豊かであれば、争いはないし、相手のことも思えるし、先を見通す力も生まれるのではないのでしょうか！  
字が下手で読みにくいかと思えます。すみません！早々

文化芸能、伝統芸能は一旦、途切れると復活することが困難である。  
後継育成や活動継続には行政の支援が不可欠である。  
議会（議員）の支援を今後ともよろしくお願いしたい。  
アンケート送付が遅れてすみません。

## 産業建設分科会 【農林水産業】

### 【回答者数】

回答者 57人（対象者108人）

### 【問1 あなたの事業所の本拠・本店（所在地）は何処ですか。】

選択肢	回答数	割合
1. 堀之内地域	14	25%
2. 小出地域	12	21%
3. 湯之谷地域	2	4%
4. 広神地域	21	37%
5. 守門地域	7	12%
6. 入広瀬地域	0	0%
7. 魚沼市外	1	2%
無回答	0	0%
計	57	

### 【問2 あなたの年代は何歳ですか。】

選択肢	回答数	割合
1. 18歳～39歳	1	2%
2. 40歳～49歳	3	5%
3. 50歳～59歳	13	23%
4. 60歳～69歳	18	32%
5. 70歳以上	22	39%
無回答	0	0%
計	57	

### 【問3 あなたの事業所の形態は何ですか。】

選択肢	回答数	割合
1. 個人	42	74%
2. 株式会社	3	5%
3. 有限会社	2	4%
4. 合資会社	0	0%
5. 組合法人	7	12%
6. その他の法人	3	5%
無回答	0	0%
計	57	

【問4 あなたの事業所の従業員数は何人ですか。事業主、家族従事者も人数に加えてお答えください。】

選択肢	回答数	割合
1. 1人	14	25%
2. 2～3人	31	54%
3. 4～10人	4	7%
4. 11人～20人	5	9%
5. 21人～30人	2	4%
6. 31人～50人	1	2%
7. 51人以上	0	0%
無回答	0	0%
計	57	

【問5 あなたの事業所は創業から何年たちますか。】

選択肢	回答数	割合
1. 1年未満	2	4%
2. 2年～3年	0	0%
3. 4年～10年	2	4%
4. 11年～20年	11	19%
5. 21年～30年	6	11%
6. 31年～50年	6	11%
7. 50年以上	26	46%
無回答	4	7%
計	57	

【問6 あなたの事業所は専業ですか、兼業ですか。全体収入に占める農林水産業収入の大まかな割合をお答えください。】

選択肢	回答数	割合
1. 農林水産業収入が100%	19	33%
2. 75%以上100%未満	8	14%
3. 50%以上75%未満	7	12%
4. 25%以上50%未満	13	23%
5. 25%未満	9	16%
無回答	1	2%
計	57	

## 【問7 主な生産物は何ですか。出荷金額の大きな割合をお答えください。】

選択肢	回答件数	件数割合	出荷金額割合
1. 米	48	62%	78%
2. 麦・蕎麦	1	1%	0%
3. 野菜	9	12%	2%
4. 山菜キノコ	4	5%	2%
5. 花き園芸	5	6%	6%
6. 畜産酪農	3	4%	5%
7. 養鯉業	3	4%	3%
8. 養殖業	1	1%	1%
9. 林産品	1	1%	0%
10. 果樹	0	0%	0%
11. その他	2	3%	2%
無回答	0	0%	0%
計	77		

## (11. その他の内訳)

フキノトウ、タラノ芽

種苗等販売

## 【問8 生産品の主な販売先(出荷先)は何処ですか。販売先の大きな割合をお答えください。】

選択肢	回答件数	件数割合	販売先割合
1. 農協漁協	48	45%	73%
2. 市内の業者	13	12%	6%
3. 市外の業者	14	13%	10%
4. 官公庁	0	0%	0%
5. 市内の個人	13	12%	5%
6. 市外の個人	12	11%	3%
7. 海外	1	1%	1%
8. その他	4	4%	2%
無回答	1	1%	0%
計	106		

## (8. その他の内訳)

自己消費及び縁故米

【問9 生産資材の主な仕入れ先（購入先）は何処ですか。仕入れ先の大まかな割合をお答えください。】

選択肢	回答件数	件数割合	仕入れ先割合
1. 農協漁協	47	48%	70%
2. 市内の業者	18	18%	10%
3. 市外の業者	16	16%	14%
4. 市内の量販店	13	13%	2%
5. 組合で共同購入	0	0%	0%
6. その他	4	4%	4%
無回答	0	0%	0%
計	98		

(8. その他の内訳)
外国からの輸入
自前
インターネット

【問10 魚沼市の農林水産業では、将来どのような商品作物生産（栽培）に取り組んだ方が良いと考えていますか。（3つまで複数回答）】

選択肢	回答数	割合
1. ブランド米である魚沼コシヒカリ中心の稲作	42	30%
2. 収量より食味を重視した減農薬、有機栽培の稲作	17	12%
3. 高温障害や渇水に強い品種の稲作	30	21%
4. 野菜の栽培	14	10%
5. 花き園芸作物の栽培	15	11%
6. 果樹の栽培	0	0%
7. 山菜きのこの栽培	7	5%
8. 畜産酪農	4	3%
9. 養鯉養殖業	2	1%
10. 林業、原木	6	4%
11. その他（自由記載）	2	1%
無回答	1	1%
計	140	

(11. その他の内訳)
促成山菜の増産、販売拡大

【問 11 あなたの事業を継承する後継者がいますか。また、将来の事業継承についてお答えください。】

選択肢	回答数	割合
1. 後継者がいる	17	29%
2. 後継者を探しているが決まっていない	9	15%
3. 誰かに事業を譲渡したい	8	14%
4. まだ考えていない	16	27%
5. 自分の代で廃業したい	5	8%
6. その他（自由筆記）	3	5%
無回答	1	2%
計	56	

(6. その他の内訳)
土地改良済み水田 3 枚 1 町 2 反
現在事業継承作業中
生産組織に参加

【問 12 将来の事業規模についてお答えください。】

選択肢	回答数	割合
1. 耕作地や設備を増やし事業を拡大したい	10	17%
2. 現状を維持したい	37	63%
3. 事業を縮小したい	8	14%
4. 廃業したい	4	7%
無回答	0	0%
計	59	

【問 13 事業を拡大したい又は現状維持と答えた方にお聞きします。それを実現するために必要なものは何ですか。(3つまで複数回答)】

選択肢	回答数	割合
1. 事業を継承する後継者	22	17%
2. 従業員を確保する(外国人材も含む)	9	7%
3. 知識や技術の継承	8	6%
4. 設備投資(土地や機械の購入)をするための資金	19	15%
5. 販路の拡大	10	8%
6. 作物価格の値上げ	20	16%
7. 農業資材、肥料等の共同購入	4	3%
8. 作業の共同または委託化(一部作業委託も含む)	12	10%
9. 事業を継続するための運転資金	7	6%
10. その他(自由筆記)	3	2%
無回答	12	10%
計	126	

(10. その他の内訳)

会計事務を担える人材の確保

食料生産あつての日本国土という社会、大人、子供、幼児への教育

田植機以外の農機具施設ある。長男から兼業農家として引き継いでもらいたい。

【問 14 事業を縮小したい又は廃業したいと答えた方にお聞きします。そのようにせざるを得ない主な要因は何ですか。(3つまで複数回答)】

選択肢	回答数	割合
1. 事業を継承する後継者がいない	6	9%
2. 自身や家族が高齢となったため	7	11%
3. 自身の健康上の理由	0	0%
4. 従業員が確保できない	1	1%
5. 知識や技術の継承ができない	1	1%
6. 設備投資(土地や機械の購入)をするための資金が無い	2	3%
7. 生産品の販路が限られている	2	3%
8. 生産原価を販売価格に転嫁できない	2	3%
9. 農業資材、肥料等の値上がり	0	0%
10. 作業の委託先が確保できない	0	0%
11. 事業を継続するための運転資金が無い	1	1%
12. その他(自由筆記)	0	0%
無回答	45	67%
計	66	

**(12. その他の内訳)**

長期的には市街化や相続が問題

**【問 15 さる、熊、カモシカなどの鳥獣被害が広がっていることを知っていますか。】**

選択肢	回答数	割合
1. 被害にあったことがある	23	33%
2. 家の近くまで来たことを見たことがある	15	21%
3. 他の人が被害にあったことを聞いたことがある	29	41%
4. 聞いたことがない	1	1%
5. その他（自由筆記）	2	3%
無回答	0	0%
計	70	

**(10. その他の内訳)**

イノシシ、ウシガエルなど以前見なかったものがある（現れた）。

カラス、サギ、カワウ、タヌキ

隣の雑種地に来た。

**【問 16 鳥獣被害が広がらないようにするため最も有効な方法だと思えるものをお答えください。】**

選択肢	回答数	割合
1. 有害個体の捕獲及び狩猟等による個体数管理	34	52%
2. 集落、耕作地等における防止柵の設置や追い払い等による侵入防止	9	14%
3. 耕作放棄地や藪の刈り払い、収穫残渣や生活ごみの撤去等鳥獣を近づけさせないための生息環境管理	19	29%
4. その他（自由筆記）	2	3%
無回答	2	3%
計	66	

**(13. その他の内訳)**

中心部への移住促進と林地化

山草刈りをして山も動物の食べ物、木の実が育ちやすいようにする。

## 【問17 鳥獣被害を防止するため、行政に望むことは何ですか。(自由筆記)】

自由筆記
有害個体の捕獲・狩猟
有害個体の捕獲
鳥獣が農地に近寄らない為の環境整備（里山や耕作放棄地）が必要である。
防止柵等の補助制度の充実、有害個体の捕獲・狩猟、注意喚起周知
有害個体の捕獲
有害個体の捕獲・狩猟
有害個体の捕獲・狩猟
有害個体の捕獲
個体の狩猟
捕獲・狩猟・注意喚起
例の通り
地目変更の簡素化
ワナ、トラバサミの自由な使用
捕獲・狩猟しかないと思う。
有害個体の捕獲・狩猟
有害鳥獣駆除の報酬の値上げ
狩猟
有害個体の捕獲
補助制度の充実
鳥獣被害を防止するための補助
有害個体の捕獲・狩猟体制の充実
補助事業により防止策を設置している。
狩猟して減らす。
個体数の管理（狩猟・捕獲）
農地の管理
有害個体の捕獲・狩猟
有害個体の捕獲及び狩猟等による個体数管理
有害個体の捕獲・狩猟
森林緩衝帯整備や有害獣の捕獲

個体数を減じてほしい。
防止柵等の補助制度の充実
防止柵等の補助制度の充実
有害個体の捕獲・狩猟
有害個体の捕獲
猟友会への補助でしっかり猟が出来て、個体数管理が出来る様にして欲しいです。

集計	回答数	割合
1. 防止柵等の補助制度の充実	5	8%
2. 有害個体の捕獲・狩猟	22	36%
3. 注意喚起周知など	2	3%
4. その他	9	15%
無回答	23	38%
計	61	

【問 18 あなたの事業所の脱炭素、温暖化ガスの排出量削減（省エネ）の取り組みについて伺います。】

選択肢	回答数	割合
1. すでに太陽光発電導入など、従来に比べ大幅に削減した。	0	0%
2. 2030年までに国や県の地球温暖化ガスの排出量を半減させるとの目標に合わせ、自社（自店）でも目標を立てて取り組んでいる。	0	0%
3. 目標は立てていないが、できる処から取り組んでいる。	15	26%
4. やりたいが、省エネ改修に充てる資金が無くて取り組めていない。	4	7%
5. 特に何もしていない。	35	60%
6. 事業を拡大したので、以前よりも増加した。	1	2%
7. その他（自由筆記）	2	3%
無回答	1	2%
計	58	

(7. その他の内訳)
SDGs への貢献意識を高めている。
中干しの期間を増し、メタンガスの発生源を目指したい。
ケイソツ実行中
杉材の主伐再造林事業への取り組み

## 【問 19 あなたは、事業を行う上で行政に求めるものは何ですか。(3 つまで複数回答)】

選択肢	回答数	割合
1. 農地、用水路、農道などの基盤整備	24	17%
2. 農地の移転や集約化の支援	16	11%
3. 商品作物のブランド化と宣伝 P R の支援	10	7%
4. 商品作物をふるさと納税の返礼品として活用	3	2%
5. 生産品の価格保証と共済制度の拡充	17	12%
6. 品種改良や生産技術の支援	9	6%
7. 人材の確保や育成の支援	11	8%
8. 外国人材導入のための支援	2	1%
9. 生産で発生する廃棄物処理の支援	8	6%
10. 生産資材の物価高騰対策	27	19%
11. 設備投資資金の低利融資	4	3%
12. 運転資金の低利融資	1	1%
13. 所得税や固定資産税の減税または減免制度	7	5%
14. その他（自由筆記）	2	1%
無回答	1	1%
計	142	

**(14. その他の内訳)**

農業機械の補助制度は今後も続けてほしい。

小規模基盤整備事業の補助率を 50%位にしてほしい。

【問 20 あなたは、魚沼市の農林水産業の将来についてどのようにお考えか伺います。

※魚沼市のブランド力を高めるために〇〇をした方が良い。など】

自由筆記
農業廃材の処分（農業用マルチ、球根コンテナ等プラスチック）
若者支援
農業をやる気のある人の研修施設を作る。
若い人が入ってくること。
農業あつての国土、それをしないものは、滅びる。
食料生産と国土保全に日夜励む生産者があり、又それがベースとしてあってこそその生活や生活感なのだとは農家の方々が意識ある社会
人口減少社会において、全ての農地は守れないこと。そのため、残す農地の色分けを行う。
米やスイカなどのように、何か飛び抜けて特産になる野菜、穀物を見つけ PR して行く。
絶望的である。
土造りをした方が良い。（有機センターの利用、米・食味の向上、花・野菜・・・品質の向上、土造りでプラスαを。
小・中規模農家の維持にも努めて欲しい。
魚沼産コシヒカリの PR と販売先との交流。
農業の魅力の発信
魚沼市ブランド品の PR 強化、トップセールスの強化拡大。
杉の主伐再造林事業を通じて、花粉の飛ばない地域にしたい。
生産インフラ（冷蔵庫）を含む元、他の JA だった所との JA 魚沼としての連携が必要。（ブランド名も含む。）
圧倒的な競争力を持つ高品質なブランドの作製

## 【その他、議会に対するご意見等を自由にお書きください。】

意見等
<p>今回のアンケートは、総合計画策定に関するものなので、議会に対する意見は省き、総合計画に対する意見を述べる。市は第一次総合計画策定の際には、審議会委員の一人として参画したので、総合計画自体は、理解している。地方自治体の最上位に位置づけられる計画な訳ですが、昔から言われているように総花的であり、今や形骸化している野では無いかとも言われています。魚沼市の総合計画は、合併前のビジョン策定検討委員会（通称 108 人委員会）がまとめた「うおぬま進化論」や「新市建設計画」がベースになり、第一次の 10 年間、第二次の 10 年間の計画が終期を迎えることとなります。</p> <p>合併後の 20 年の間に魚沼市のみならず、県内の自治体、日本全国で大きな変化、変動があり、日本の経済、産業や世界の情勢も変化し続けている。</p> <p>2011 年（平成 23 年）には、地方自治法の改正により基本構想の策定の義務付けも撤廃された。こうした背景の中で、魚沼市が、第 3 次の総合計画 10 年間で魚沼市が、第 3 次の総合計画 10 年間で樹立することにあえて反対はしませんが、策定するからには、充分その意義や成果があるものにしなければなりません。第 1 次から第 2 次計画を通して共通していえるのは、人口減少予測の甘さです。今や消滅可能性自治体の一つに入っている本市は、各種データ以上の早さで人口減少が加速化することを念頭に総合計画作成作業に着手しないと、その中身が軽薄なものになってしまいます。医療、小学校、中学校の再編計画などの教育全般、文化、地域産業など、全ての分野で人口ベースを考える事が重要です。審議会委員の人選、市職員の企画力、議会の提案力、市民参画のあり方等など、魚沼市は、良い総合計画を作ったと評価されるようなものになることを望みます。そしてそれが実行できるもので無ければ意味をなさないことは言うまでもありません。</p>
<p>議場内スマホの持ち込み禁止、居眠り禁止、議員定数の削減、議員の定年制の実施（70 歳）</p>
<p>それぞれの立場で、その物事について、真剣にやってもらえれば良い。</p>
<p>企業誘致には、労働力の問題もあるので、リタイヤ後の高齢者でも、小規模でも採算の取れる様な収入保障が欲しい。</p>
<p>日頃より魚沼市の発展のため尽力いただいていることに対し敬意を表しますが、議員定数の見直し（削減）を検討してほしい。</p>
<p>議（員）会の提案が何も見えない。市が提案したことだけ審議している。議会は存在感が何も無い。政策提言を多くすべきだ。</p>
<p>小規模農家の支援。家庭菜園の果実現金化支援。 市街化地域農家への助成強化。 農業振興地域の線引きを廃止等。 農産物、加工品の輸出拡大。 農産物の地元食品加工会社との連携</p>
<p>有害鳥獣の被害は、増大すると思われるので議会の対応は重要である。</p>
<p>市の助成金、用途ありますが、条件が色々あり本当に必要としている人が使用できない。（例：家の老家にてリフォーム。4 人家族（祖母年金と給料、母子家庭娘、子供 2 人）で低所得。色々家の私情がありますが。市に相談に行ったらすぐに却下でした。）すみませんひとり言です。何年も前の話です。</p>

土地の使用等や補助金などで同じ農林水産業という中であまりにも格差が生じている。米農家がそんなに優遇される理由は何か？ そこに税金を使っても見返りはあるのでしょうか？ 少子高齢化に歯止めは、かかりませんよ。もう少し賢い市政の運営を求めます。

第二次、第一次の総合計画の成果と報告。

## 産業建設分科会 【小売・卸売業】

### 【回答者数】

回答者 17人（対象者 37人）

### 【問1 あなたの事業所の本拠・本店（所在地）は何処ですか。】

選択肢	回答数	割合
1. 堀之内地域	3	18%
2. 小出地域	6	35%
3. 湯之谷地域	3	18%
4. 広神地域	2	12%
5. 守門地域	2	12%
6. 入広瀬地域	1	6%
7. 魚沼市外	0	0%
無回答	0	0%
計	17	

### 【問2 あなたの年代は何歳ですか。】

選択肢	回答数	割合
1. 18歳～39歳	0	0%
2. 40歳～49歳	3	18%
3. 50歳～59歳	2	12%
4. 60歳～69歳	5	29%
5. 70歳以上	6	35%
無回答	1	6%
計	17	

### 【問3 あなたの事業所の形態は何ですか。】

選択肢	回答数	割合
1. 個人	11	65%
2. 株式会社	4	24%
3. 有限会社	2	12%
4. 合資会社	0	0%
5. 組合法人	0	0%
6. その他の法人	0	0%
無回答	0	0%
計	17	

【問4 あなたの事業所の従業員数は何人ですか。事業主、家族従事者も人数に加えてお答えください。】

選択肢	回答数	割合
1. 1人	5	29%
2. 2～3人	9	53%
3. 4～10人	2	12%
4. 11人～20人	0	0%
5. 21人～30人	0	0%
6. 31人～50人	0	0%
7. 51人以上	1	6%
無回答	0	0%
計	17	

【問5 あなたの事業所は創業から何年たちますか。】

選択肢	回答数	割合
1. 1年未満	0	0%
2. 2年～3年	1	6%
3. 4年～10年	2	12%
4. 11年～20年	1	6%
5. 21年～30年	0	0%
6. 31年～50年	2	12%
7. 50年以上	11	65%
無回答	0	0%
計	17	

【問6 あなたの事業所（店舗）では、顧客にどのようなサービスを提供していますか。（主なもの）】

選択肢	回答数	割合
1. 自動車バイク自転車	0	0%
2. 家電品などの耐久消費財	0	0%
3. 金物雑貨	0	0%
4. 衣料品・靴・装飾品	5	28%
5. 本・文房具・学習用品	1	6%
6. 食料品飲料	5	28%
7. 酒・たばこ・趣向品	3	17%
8. 木工工芸品	0	0%
9. 医薬化粧品建築・建設資材	0	0%
10. 燃料	0	0%
11. その他	4	22%

無回答	0	0%
計	18	

<b>(11. その他の内訳)</b>
日用品・雑貨 全般
米、手作り品
農業機械

【問7 主な顧客先は何処ですか。顧客先の大まかな割合をお答えください。】

選択肢	回答件数	件数割合	顧客先割合
1. 系列業者	0	0%	0%
2. 市内業者	7	21%	17%
3. 市外業者	4	12%	10%
4. 官公庁	2	6%	5%
5. 市内の個人	12	36%	56%
6. 市外の個人	8	24%	12%
7. その他（海外も含む）	0	0%	0%
無回答	0	0%	0%
計	33		

【問8 主な商品の仕入れ先（購入先）は何処ですか。仕入れ先の大まかな割合をお答えください。】

選択肢	回答件数	件数割合	仕入れ先割合
1. 親会社	0	0%	0%
2. 大手商社	3	16%	20%
3. 市内業者	3	16%	14%
4. 市外業者	10	53%	54%
5. 市内の個人	1	5%	5%
6. 市外の個人	0	0%	0%
7. その他（海外も含む）	2	11%	7%
無回答	0	0%	0%
計	19		

【問9 近年では特に人件費や商品仕入れ価格、流通経費、光熱水費などサービス原価が上昇傾向にあります。上昇したコストをサービス価格に適切に転嫁できていますか。】

選択肢	回答数	割合
1. 十分に転嫁できている	1	6%
2. ある程度転嫁できている	7	41%
3. 少しは転嫁できたが不十分である	6	35%
4. 全く転嫁できていない	2	12%
5. その他（自由筆記）	1	6%
無回答	0	0%
計	17	

**（5. その他の内訳）**

たばこの販売のため価格は決められています。

【問10 あなたの事業を継承する後継者はいますか。また、将来の事業継承についてお答えください。】

選択肢	回答数	割合
1. 後継者がいる	2	12%
2. 後継者を探しているが決まっていない	2	12%
3. 誰かに事業を譲渡したい	1	6%
4. まだ考えていない	4	24%
5. 自分の代で廃業したい	7	41%
6. その他（自由筆記）	1	6%
無回答	0	0%
計	17	

**（6. その他の内訳）**

不明

## 【問 11 あなたの事業所の従業員確保策についてお聞きします。(3つまで複数回答)】

選択肢	回答数	割合
1. 学校新卒者の採用を目指している	0	0%
2. 職安等を通じ、新卒者に限らず中途採用も含め確保を目指している	3	15%
3. 民間の求人サイトや求人広告により採用を目指している	1	5%
4. 親戚や知人の紹介に頼っている	0	0%
5. 自分自身で探して採用している	4	20%
6. 親会社からの派遣や出向により確保している	0	0%
7. 外国人の研修制度を使い、人材を確保している	0	0%
8. 外国人を有資格者あるいは専門職として採用している	0	0%
9. 従業員の採用は考えていない	12	60%
10. その他（自由筆記）	0	0%
無回答	0	0%
計	20	

## 【問 12 あなたの事業所では、将来事業を拡大したいですか。】

選択肢	回答数	割合
1. 設備人員を増やし事業拡大したい	3	18%
2. 現状を維持したい	8	47%
3. 事業を縮小したい	3	18%
4. 廃業したい	3	18%
無回答	0	0%
計	17	

【問 13 事業を拡大したい又は現状維持と答えた方にお聞きします。それを実現するために必要なものは何ですか。(3つまで複数回答)】

選択肢	回答数	割合
1. 事業を継承する後継者	2	7%
2. 従業員の確保	1	4%
3. 知識や技術の継承	1	4%
4. 設備投資(店舗の改装や増築、自動車の更新)をするための資金	4	15%
5. 自社による技術開発、新商品開発	1	4%
6. 宣伝 PR による販路の拡大	2	7%
7. 商品価格の値上げ	2	7%
8. 商品の調達先(仕入れ先)などサプライチェーンの多様化	3	11%
9. 販売の共同または委託化(委託販売も含む)	0	0%
10. 地域内事業者との連携	2	7%
11. 事業を継続するための運転資金	3	11%
12. その他(自由筆記)	1	4%
無回答	5	19%
計	27	

**(12. その他の内訳)**

消費税の撤廃

【問 14 事業を縮小したい又は廃業したいと答えた方にお聞きします。そのようにせざるを得ない主な要因は何ですか。(3つまで複数回答)】

選択肢	回答数	割合
1. 事業を継承する後継者がいない	4	16%
2. 自身や家族が高齢となったため	4	16%
3. 自身の健康上の理由	1	4%
4. 従業員が確保できない	1	4%
5. 知識や技術の継承ができない	0	0%
6. 設備投資をするための資金が無い	0	0%
7. 商品の販路が限られている	0	0%
8. 人口減少による顧客の減少	3	12%
9. 商品原価を販売価格に転嫁できていない	0	0%
10. 仕入れ価格、流通経費の値上がり	1	4%
11. 販売の委託先が確保できない	0	0%
12. 事業を継続するための運転資金が無い	0	0%
13. その他(自由筆記)	1	4%
無回答	10	40%
計	25	

(13. その他の内訳)

必要を感じない税が多い。

【問 15 あなたの事業所の脱炭素、温暖化ガスの排出量削減(省エネ)の取り組みについて伺います。】

選択肢	回答数	割合
1. すでに太陽光発電導入など、従来に比べ大幅に削減した。	0	0%
2. 2030年までに国や県の地球温暖化ガスの排出量を半減させるとの目標に合わせ、自社(自店)でも目標を立てて取り組んでいる。	1	6%
3. 目標は立てていないが、できる処から取り組んでいる。	2	12%
4. やりたいが、省エネ改修に充てる資金が無くて取り組めていない。	2	12%
5. 特に何もしていない。	11	65%
6. 事業を拡大したので、以前よりも増加した。	0	0%
7. その他(自由筆記)	1	6%
無回答	0	0%
計	17	

## 【問 16 あなたは、事業を行う上で行政に求めるものは何ですか。(3つまで複数回答)】

選択肢	回答数	割合
1. 商店街の活性化	7	25%
2. 産・官・学の連携	0	0%
3. 新商品開発のための技術支援	1	4%
4. 地域内他業者との連携支援	4	14%
5. 商品の宣伝PRの支援	2	7%
6. 商品をふるさと納税の返礼品として活用	1	4%
7. 人材の確保や育成の支援	1	4%
8. 外国人材導入のための支援	2	7%
9. 梱包材など商品販売で発生する廃棄物処理の支援	0	0%
10. 仕入れ商品価格や流通経費の物価高騰対策	4	14%
11. 設備投資資金の低利融資	1	4%
12. 運転資金の低利融資	0	0%
13. 所得税や固定資産税の減税または減免制度	3	11%
14. その他（自由筆記）	1	4%
無回答	1	4%
計	28	

【問 17 あなたは、魚沼市の小売業・卸売業の将来についてどのようにお考えか伺います。

※魚沼市のブランド力を高めるために〇〇をした方が良い。など】

自由筆記
IC 周囲の開発 道の駅の改革
魚沼市の魅力ある商品の合同イベント（恒例的な開催）

【その他、議会に対するご意見等を自由にお書きください。】

自由筆記
事業（観光、製造業、サービス業、個人事業（IT 含め）の創造の為に、又は地域活性化の為に何を するか、未来像を描くこと ①コンサル会社に問う ②市民の意見交換会を開く（座談会など） 夢 をみんなが見たいと思う。
消費税の撤廃・社会保険負担率の軽減
文化会館周辺の開発。かたくりなど子供の遊び場もあり、人の集まる様な施設が欲しい。特に大 きな道の駅など食事ができる所など IC から直接つながる SA など町づくりの再考を願う。
何も無いです。
魚沼市の特産品をセットにする。山菜は「取るな」と言わず解放する。熊が怖くて入れないでしよ うか。

## 産業建設分科会 【観光・サービス】

### 【回答者数】

回答者 37人（対象者 65人）

### 【問1 あなたの事業所の本拠・本店（所在地）は何処ですか。】

選択肢	回答数	割合
1. 堀之内地域	7	19%
2. 小出地域	9	24%
3. 湯之谷地域	6	16%
4. 広神地域	6	16%
5. 守門地域	6	16%
6. 入広瀬地域	1	3%
7. 魚沼市外	2	5%
無回答	0	0%
計	37	

### 【問2 あなたの年代は何歳ですか。】

選択肢	回答数	割合
1. 18歳～39歳	3	8%
2. 40歳～49歳	4	11%
3. 50歳～59歳	12	32%
4. 60歳～69歳	7	19%
5. 70歳以上	11	30%
無回答	0	0%
計	37	

### 【問3 あなたの事業所の形態は何ですか。】

選択肢	回答数	割合
1. 個人	27	73%
2. 株式会社	7	19%
3. 有限会社	2	5%
4. 合資会社	0	0%
5. 組合法人	0	0%
6. その他の法人	1	3%
無回答	0	0%
計	37	

【問4 あなたの事業所の従業員数は何人ですか。事業主、家族従事者も人数に加えてお答えください。】

選択肢	回答数	割合
1. 1人	10	27%
2. 2～3人	15	41%
3. 4～10人	5	14%
4. 11人～20人	0	0%
5. 21人～30人	3	8%
6. 31人～50人	2	5%
7. 51人以上	1	3%
無回答	1	3%
計	37	

【問5 あなたの事業所は創業から何年たちますか。】

選択肢	回答数	割合
1. 1年未満	0	0%
2. 2年～3年	3	8%
3. 4年～10年	3	8%
4. 11年～20年	6	16%
5. 21年～30年	7	19%
6. 31年～50年	12	32%
7. 50年以上	6	16%
無回答	0	0%
計	37	

【問6 あなたの事業所（店舗）では、顧客にどのようなサービスを提供していますか。  
（主なもの）】

選択肢	回答数	割合
1. 理容・美容・エステ	8	21%
2. 飲食業	10	26%
3. 学習塾	1	3%
4. ゲームセンター	0	0%
5. 旅行観光サービス	1	3%
6. 宿泊業	1	3%
7. 交通・タクシー・運転代行	0	0%
8. レンタル・リース	0	0%
9. 自動車整備	7	18%
10. 物流・運送	0	0%
11. 弁護・経理・行政事務手続き代行	3	8%
12. その他	8	21%
無回答	0	0%
計	39	

(12. その他の内訳)
カイロプラクティック
ジム
自動車板金塗装
広告運用(WEB)
リラクゼーション
サービス業
セミナー、貸スタジオ

【問7 主な顧客先は何処ですか。顧客先の大まかな割合をお答えください。】

選択肢	回答件数	件数割合	顧客先割合
1. 系列業者	3	4%	1%
2. 市内業者	12	15%	9%
3. 市外業者	6	7%	4%
4. 官公庁	4	5%	1%
5. 市内の個人	32	40%	74%
6. 市外の個人	19	23%	10%
7. その他（海外も含む）	1	1%	1%
無回答	4	5%	0%
計	81		

【問8 近年では特に人件費や商品仕入れ価格、流通経費、光熱水費などサービス原価が上昇傾向にあります。上昇したコストをサービス価格に適切に転嫁できていますか。】

選択肢	回答数	割合
1. 十分に転嫁できている	1	3%
2. ある程度転嫁できている	13	35%
3. 少しは転嫁できたが不十分である	17	46%
4. 全く転嫁できていない	6	16%
5. その他（自由筆記）	0	0%
無回答	0	0%
計	37	

【問9 あなたの事業を継承する後継者はいますか。また、将来の事業継承についてお答えください。】

選択肢	回答数	割合
1. 後継者がいる	6	16%
2. 後継者を探しているが決まっていない	1	3%
3. 誰かに事業を譲渡したい	5	14%
4. まだ考えていない	7	19%
5. 自分の代で廃業したい	15	41%
6. その他（自由筆記）	3	8%
無回答	0	0%
計	37	

**（6. その他の内訳）**

事業継承したところです。

M&A

継承可能な事業体

【問10 あなたの事業所の従業員確保策についてお聞きします。（3つまで複数回答）】

選択肢	回答数	割合
1. 学校新卒者の採用を目指している	5	10%
2. 職安等を通じ、新卒者に限らず中途採用も含め確保を目指している	7	14%
3. 民間の求人サイトや求人広告により採用を目指している	7	14%
4. 親戚や知人の紹介に頼っている	5	10%
5. 自分自身で探して採用している	6	12%
6. 親会社からの派遣や出向により確保している	0	0%
7. 外国人の研修制度を使い、人材を確保している	0	0%
8. 外国人を有資格者あるいは専門職として採用している	0	0%
9. 従業員の採用は考えていない	18	35%
10. その他（自由筆記）	1	2%
無回答	2	4%
計	51	

**（10. その他の内訳）**

採用は全く考えていません。

## 【問 11 あなたの事業所では、将来事業を拡大したいですか。】

選択肢	回答数	割合
1. 設備人員を増やし事業拡大したい	8	22%
2. 現状を維持したい	15	41%
3. 事業を縮小したい	0	0%
4. 廃業したい	12	32%
無回答	2	5%
計	37	

## 【問 12 事業を拡大したい又は現状維持と答えた方にお聞きします。それを実現するために必要なものは何ですか。(3つまで複数回答)】

選択肢	回答数	割合
1. 事業を継承する後継者	2	3%
2. 従業員の確保	9	14%
3. 知識や技術の継承	6	9%
4. 設備投資(店舗の改装や増築、自動車の更新)をするための資金	9	14%
5. 自社による技術開発、新商品開発	4	6%
6. 宣伝 PR による販路の拡大	4	6%
7. 商品価格の値上げ	7	11%
8. 商品の調達先(仕入れ先)などサプライチェーンの多様化	1	2%
9. 販売の共同または委託化(委託販売も含む)	1	2%
10. 地域内事業者との連携	3	5%
11. 事業を継続するための運転資金	4	6%
12. その他(自由筆記)	1	2%
無回答	15	23%
計	66	

## (12. その他の内訳)

DX と AI の導入と活用

【問 13 事業を縮小したい又は廃業したいと答えた方にお聞きします。そのようにせざるを得ない主な要因は何ですか。(3つまで複数回答)】

選択肢	回答数	割合
1. 事業を継承する後継者がいない	7	13%
2. 自身や家族が高齢となったため	9	17%
3. 自身の健康上の理由	3	6%
4. 従業員が確保できない	0	0%
5. 知識や技術の継承ができない	1	2%
6. 設備投資をするための資金が無い	2	4%
7. 商品の販路が限られている	1	2%
8. 人口減少による顧客の減少	2	4%
9. 商品原価を販売価格に転嫁できていない	1	2%
10. 仕入れ価格、流通経費の値上がり	1	2%
11. 販売の委託先が確保できない	0	0%
12. 事業を継続するための運転資金が無い	2	4%
13. その他(自由筆記)	0	0%
無回答	25	46%
計	54	

【問 14 あなたの事業所の脱炭素、温暖化ガスの排出量削減(省エネ)の取り組みについて伺います。】

選択肢	回答数	割合
1. すでに太陽光発電導入など、従来に比べ大幅に削減した。	0	0%
2. 2030年までに国や県の地球温暖化ガスの排出量を半減させるとの目標に合わせ、自社(自店)でも目標を立てて取り組んでいる。	2	5%
3. 目標は立てていないが、できる処から取り組んでいる。	5	13%
4. やりたいが、省エネ改修に充てる資金が無くて取り組めていない。	6	15%
5. 特に何もしていない。	23	59%
6. 事業を拡大したので、以前よりも増加した。	0	0%
7. その他(自由筆記)	0	0%
無回答	3	8%
計	39	

(7. その他の内訳)

脱炭素が必要だとは思っていない。

## 【問 15 あなたは、事業を行う上で行政に求めるものは何ですか。(3つまで複数回答)】

選択肢	回答数	割合
1. 商店街の活性化	10	14%
2. 産・官・学の連携	3	4%
3. 新商品開発のための技術支援	1	1%
4. 地域内他業者との連携支援	6	8%
5. 商品の宣伝PRの支援	4	6%
6. 商品をふるさと納税の返礼品として活用	0	0%
7. 人材の確保や育成の支援	5	7%
8. 外国人材導入のための支援	1	1%
9. 梱包材など商品販売で発生する廃棄物処理の支援	0	0%
10. 仕入れ商品価格や流通経費の物価高騰対策	6	8%
11. 設備投資資金の低利融資	4	6%
12. 運転資金の低利融資	6	8%
13. 所得税や固定資産税の減税または減免制度	15	21%
14. その他（自由筆記）	5	7%
無回答	5	7%
計	71	

## (14. その他の内訳)

少子化対策、選んでもらえる魅力あるまちづくり

行政に求める業種ではない。

廃業するつもりでいるので考えられないが魚沼市がもっとにぎやかになればいい。

プレミアム券を出してほしい。

役所における行政サービスの低下の防止

【問 16 あなたは、魚沼市のサービス業・観光業の将来についてどのようにお考えか伺います。※魚沼市のブランド力を高めるために〇〇をした方がよい。など】

自由筆記
行政を中心に市民と一体となり、市を盛り上げるためのチーム作りをし、市長の行っている話を聞くだけでなく積極的な意見交換の機会を作っていただきたい。
若者、子育て世代に対する画期的な減税、補助、助成
魚沼の良いところをもっと SNS で発信していく。
魚沼市 PR の入れ方が少ないため積極的な宣伝
市外海外からどうやって人を呼ぶか民間が真剣に考えた方がいい。
権現堂、鳥屋ヶ峰の勇姿の宣伝、只見線から眺める整備で美しさを強調
どこを目指しているかビジョンを存じ上げないので答えられない。
企業誘致よりも市内事業者の人材確保への支援
「魚沼」を前面に出した商品、観光の開発
企業誘致

【その他、議会に対するご意見等を自由にお書きください。】

自由筆記
共産党のようにもっと議員一人一人の考えを議会で活発に話してほしい。市民の代表として。
危機感をもって魚沼市の未来を考えてほしいです。
議員定数の削減
議員定数と給料を減らす。
ランニングコスト、人件費など上がっているがお客様には転嫁しにくい。賃金アップと言われているが魚沼にはまだ波及していない。消費税、固定資産税は赤字でも待ってもらえない。個人店など必要とされていないのでしょうか？
人口減に本気で取り組んでいただきたい。市に「移住課」又は「人口増課」などを設置したらいいか。
別紙のとおり（添付無し）

## 産業建設分科会 【建設業】

### 【回答者数】

回答者 58人（対象者 94人）

### 【問1 あなたの事業所の本拠・本店（所在地）は何処ですか。】

選択肢	回答数	割合
1. 堀之内地域	14	24%
2. 小出地域	13	22%
3. 湯之谷地域	4	7%
4. 広神地域	16	28%
5. 守門地域	3	5%
6. 入広瀬地域	5	9%
7. 魚沼市外	3	5%
無回答	0	0%
計	58	

### 【問2 あなたの年代は何歳ですか。】

選択肢	回答数	割合
1. 18歳～39歳	1	2%
2. 40歳～49歳	10	17%
3. 50歳～59歳	13	22%
4. 60歳～69歳	23	40%
5. 70歳以上	11	19%
無回答	0	0%
計	58	

### 【問3 あなたの事業所の形態は何ですか。】

選択肢	回答数	割合
1. 個人	14	24%
2. 株式会社	30	52%
3. 有限会社	14	24%
4. 合資会社	0	0%
5. 組合法人	0	0%
6. その他の法人	0	0%
無回答	0	0%
計	58	

【問4 あなたの事業所の従業員数は何人ですか。事業主、家族従事者も人数に加えてお答えください。】

選択肢	回答数	割合
1. 1人	9	16%
2. 2～3人	11	19%
3. 4～10人	19	33%
4. 11人～20人	10	17%
5. 21人～30人	5	9%
6. 31人～50人	2	3%
7. 51人以上	1	2%
無回答	1	2%
計	58	

【問5 あなたの事業所は創業から何年たちますか。】

選択肢	回答数	割合
1. 1年未満	0	0%
2. 2年～3年	0	0%
3. 4年～10年	4	7%
4. 11年～20年	0	0%
5. 21年～30年	12	21%
6. 31年～50年	22	38%
7. 50年以上	19	33%
無回答	1	2%
計	58	

【問6 あなたの事業所（店舗）では、顧客にどのようなサービスを提供していますか。  
（主なもの）】

選択肢	回答数	割合
1. 総合建設業	12	20%
2. 土木業	7	11%
3. 一般建築業	7	11%
4. 大工	2	3%
5. 鉄骨・鉄筋加工業	1	2%
6. 板金業	2	3%
7. 電気工事業	5	8%
8. 管工事業	10	16%
9. 削井業	4	6%
10. 空調機械設備	0	0%
11. 衛生設備	0	0%
12. 機械設置	2	3%
13. 左官業	1	2%
14. 看板・サイン・塗装業	0	0%
15. 木工家具建具	0	0%
16. 金属建具	1	2%
17. 畳・内装・クロス貼り業	0	0%
18. 造園業・測量・設計・コンサルタント業	7	11%
19. その他	1	2%
無回答	0	0%
計	62	

（19. その他の内訳）

タイル業

【問7 主な工事の受注先（顧客先）は何処ですか。受注先の割合をお答えください。】

選択肢	回答件数	件数割合	受注先割合
1. 系列会社	8	5%	5%
2. 市内業者	36	25%	24%
3. 市外業者	28	19%	15%
4. 官公庁	31	21%	29%
5. 市内の個人	30	21%	23%
6. 市外の個人	10	7%	3%
7. その他（海外も含む）	1	1%	1%
該当無し、無回答	2	1%	0%

計	146		
---	-----	--	--

【問8 主な原材料・資材の仕入れ先（購入先）は何処ですか。仕入れ先の大まかな割合をお答えください。】

選択肢	回答件数	件数割合	仕入先割合
1. 親会社	3	3%	3%
2. 大手商社	5	5%	6%
3. 市内業者	48	47%	57%
4. 市外業者	40	39%	34%
5. 市内の個人	3	3%	1%
6. 市外の個人	0	0%	0%
7. その他（海外も含む）	1	1%	0%
該当無し、無回答	3	3%	0%
計	103		

【問9 近年では特に人件費や原材料費、光熱水費など工事原価が上昇傾向にあります。上昇したコストを工事価格に適切に転嫁できていますか。】

選択肢	回答数	割合
1. 十分に転嫁できている	4	7%
2. ある程度転嫁できている	24	41%
3. 少しは転嫁できたが不十分である	20	34%
4. 全く転嫁できていない	9	16%
5. その他（自由筆記）	1	2%
無回答	0	0%
計	58	

**（5. その他の内訳）**

本社対応

【問 10 あなたの事業を継承する後継者がいますか。また、将来の事業継承についてお答えください。】

選択肢	回答数	割合
1. 後継者がいる	16	28%
2. 後継者を探しているが決まっていない	8	14%
3. 誰かに事業を譲渡したい	0	0%
4. まだ考えていない	17	29%
5. 自分の代で廃業したい	15	26%
6. その他（自由筆記）	1	2%
無回答	1	2%
計	58	

**（6. その他の内訳）**

創業者に後々相談

本社対応

【問 11 あなたの事業所の従業員確保策についてお聞きします。（3つまで複数回答）】

選択肢	回答数	割合
1. 学校新卒者の採用を目指している	12	13%
2. 職安等を通じ、新卒者に限らず中途採用も含め確保を目指している	32	34%
3. 民間の求人サイトや求人広告により採用を目指している	8	8%
4. 親戚や知人の紹介に頼っている	10	11%
5. 自分自身で探して採用している	11	12%
6. 親会社からの派遣や出向により確保している	0	0%
7. 外国人の研修制度を使い、人材を確保している	1	1%
8. 外国人を有資格者あるいは専門職として採用している	0	0%
9. 従業員の採用は考えていない	18	19%
10. その他（自由筆記）	2	2%
無回答	1	1%
計	95	

**（10. その他の内訳）**

契約社員の任用

本社対応

## 【問 12 あなたの事業所では、将来事業を拡大したいですか。】

選択肢	回答数	割合
1. 設備人員を増やし事業拡大したい	11	19%
2. 現状を維持したい	35	60%
3. 事業を縮小したい	2	3%
4. 廃業したい	10	17%
無回答	0	0%
計	58	

## 【問 13 事業を拡大したい又は現状維持と答えた方にお聞きします。それを実現するために必要なものは何ですか。(3つまで複数回答)】

選択肢	回答数	割合
1. 事業を継承する後継者	13	11%
2. 従業員の確保	33	27%
3. 知識や技術の継承	26	21%
4. 設備投資(店舗の改装や増築、自動車の更新)をするための資金	9	7%
5. 自社による技術開発、新商品開発	3	2%
6. 宣伝 PR による販路の拡大	5	4%
7. 商品価格の値上げ	2	2%
8. 商品の調達先(仕入れ先)などサプライチェーンの多様化	1	1%
9. 販売の共同または委託化(委託販売も含む)	0	0%
10. 地域内事業者との連携	12	10%
11. 事業を継続するための運転資金	4	3%
12. その他(自由筆記)	1	1%
無回答	14	11%
計	123	

## (12. その他の内訳)

利益の安定した確保

【問 14 事業を縮小したい又は廃業したいと答えた方にお聞きします。そのようにせざるを得ない主な要因は何ですか。(3つまで複数回答)】

選択肢	回答数	割合
1. 事業を継承する後継者がいない	9	13%
2. 自身や家族が高齢となったため	8	11%
3. 自身の健康上の理由	2	3%
4. 従業員が確保できない	1	1%
5. 知識や技術の継承ができない	2	3%
6. 設備投資をするための資金が無い	0	0%
7. 商品の販路が限られている	1	1%
8. 人口減少による顧客の減少	3	4%
9. 商品原価を販売価格に転嫁できていない	0	0%
10. 仕入れ価格、流通経費の値上がり	0	0%
11. 販売の委託先が確保できない	0	0%
12. 事業を継続するための運転資金が無い	0	0%
13. その他(自由筆記)	1	1%
無回答	45	63%
計	72	

(13. その他の内訳)

営業ができていない。

【問 15 あなたの事業所の脱炭素、温暖化ガスの排出量削減(省エネ)の取り組みについて伺います。】

選択肢	回答数	割合
1. すでに太陽光発電導入など、従来に比べ大幅に削減した。	1	2%
2. 2030年までに国や県の地球温暖化ガスの排出量を半減させるとの目標に合わせ、自社(自店)でも目標を立てて取り組んでいる。	2	3%
3. 目標は立てていないが、できる処から取り組んでいる。	23	39%
4. やりたいが、省エネ改修に充てる資金が無くて取り組めていない。	4	7%
5. 特に何もしていない。	22	37%
6. 事業を拡大したので、以前よりも増加した。	0	0%
7. その他(自由筆記)	3	5%
無回答	4	7%
計	59	

(7. その他の内訳)
無意味なことに金を出さない。
電気自動車を使用している。
本社にて取り組み中。

【問 16 あなたは、事業を行う上で行政に求めるものは何ですか。(3 つまで複数回答)】

選択肢	回答数	割合
1. 商店街の活性化	8	7%
2. 産・官・学の連携	7	6%
3. 新商品開発のための技術支援	1	1%
4. 地域内他業者との連携支援	10	9%
5. 商品の宣伝PRの支援	2	2%
6. 商品をふるさと納税の返礼品として活用	1	1%
7. 人材の確保や育成の支援	20	18%
8. 外国人材導入のための支援	4	4%
9. 梱包材など商品販売で発生する廃棄物処理の支援	0	0%
10. 仕入れ商品価格や流通経費の物価高騰対策	4	4%
11. 設備投資資金の低利融資	9	8%
12. 運転資金の低利融資	7	6%
13. 所得税や固定資産税の減税または減免制度	24	22%
14. その他(自由筆記)	6	5%
無回答	8	7%
計	111	

(14. その他の内訳)
公共事業の発注件数の増量や予算の増額
求めません。
行政のスピード対応に期待できず。
入札において市内業者を優先してほしい。
工事量の確保
本社にて対応
談合を見て見ぬふりをしない。

【問 17 あなたは、魚沼市のサービス業・観光業の将来についてどのようにお考えか伺います。※魚沼市のブランド力を高めるために〇〇をした方が良い。など】

自由筆記
建設業者について市外の業者が多く入ってきている。
若い人の労働力、確保
公共工事発注増、省エネ対策工事増など
現状維持のため公共事業の投資
若い人がいない。米ばかりが目立つ。
人材不足は大きな課題であり、人材の確保や育成について対策が必要であると考えます。
人口問題
工事量が減る中で競争が激しくなる。
若者の労働力確保のための魅力ある街づくり。 住所、医療、福祉、子育てにおいて住みやすい地域づくり。
市内業者間の合併等により個々の競争力を高めていく必要がある。
市内に本店本社がなくても入札に参加できるようにお願いします。
建設業に携わる人材の確保が必要
3K（きつい汚い危険）のイメージの払拭
人材確保の為の機会、PR の場を増やしていただきたいです。 また、人口増となるような施策にも力を入れて頂きたいです。
社会像に対する様々な施策を実行すべき。
人手不足ですが外国人も使っていける業者が増えると思います。
技術者の資格の取得、技術の向上に努める。

## 【その他、議会に対するご意見等を自由にお書きください。】

自由筆記
<p>日頃より市政の運営にご尽力頂きありがとうございます。</p> <p>我々が行う公共事業は、地域経済の発展に不可欠なものと捉え日頃から従事しております。</p> <p>これからもそのことを念頭にますます力を注いでいく所存であります。</p> <p>今後とも変わらぬお付き合いのほど、宜しく願いいたします。</p>
<p>魚沼市という所（地域）に住み続けたいと思う心の自信がある市にしてほしい。</p>
<p>特別認定業者の不合理的な排除等、現状ルールを逸脱した行政の施行を監視し、行政に対し物を申す議会であって欲しい。</p> <p>行政の暴走、誤った判断をただすのが議会の役目であると思います。</p>
<p>学校施設の老朽化を解消して欲しい。</p> <p>広神地区のみ除外されるのはいかがなものか。</p>
<p>南魚沼市では住民の意向調査がなく、決定したのち事後報告を行っています。</p> <p>議会アンケートが届いてビックリしました。</p> <p>これからも頑張ってください。</p>
<p>空家解体補助金の申込期間を3～4月にさせていただきたいです。</p> <p>現在の申込期間が6～7月ですが、依頼が来るのが秋に集中するため、降雪前に消化することが困難となります。</p> <p>また、申込結果を待つ方がいるため、4～7月の依頼が少ないです。宜しくお願いします。</p>
<p>リフォーム補助金は2回までしか使えないので、3回目、4回目と使えるようにして欲しいです。</p>
<p>このアンケートとは関係ありませんが、エコプラントの建て替えが決まった様ですが、ぜひにやってもらいたい事があります。排熱を利用した発電、ハウス栽培、養殖等、雪に負けない利用をお願いします。</p>

## 産業建設分科会 【製造業】

### 【回答者数】

回答者 23人（対象者 32人）

### 【問1 あなたの事業所の本拠・本店（所在地）は何処ですか。】

選択肢	回答数	割合
1. 堀之内地域	8	35%
2. 小出地域	7	30%
3. 湯之谷地域	2	9%
4. 広神地域	3	13%
5. 守門地域	3	13%
6. 入広瀬地域	0	0%
7. 魚沼市外	0	0%
無回答	0	0%
計	23	

### 【問2 あなたの年代は何歳ですか。】

選択肢	回答数	割合
1. 18歳～39歳	0	0%
2. 40歳～49歳	4	17%
3. 50歳～59歳	7	30%
4. 60歳～69歳	11	48%
5. 70歳以上	1	4%
無回答	0	0%
計	23	

### 【問3 あなたの事業所の形態は何ですか。】

選択肢	回答数	割合
1. 個人	3	13%
2. 株式会社	15	65%
3. 有限会社	4	17%
4. 合資会社	1	4%
5. 組合法人	0	0%
6. その他の法人	0	0%
無回答	0	0%
計	23	

【問4 あなたの事業所の従業員数は何人ですか。事業主、家族従事者も人数に加えてお答えください。】

選択肢	回答数	割合
1. 1人	1	4%
2. 2～3人	2	9%
3. 4～10人	6	26%
4. 11人～20人	3	13%
5. 21人～30人	2	9%
6. 31人～50人	3	13%
7. 51人以上	6	26%
無回答	0	0%
計	23	

【問5 あなたの事業所は創業から何年たちますか。】

選択肢	回答数	割合
1. 1年未満	0	0%
2. 2年～3年	0	0%
3. 4年～10年	3	13%
4. 11年～20年	0	0%
5. 21年～30年	1	4%
6. 31年～50年	9	39%
7. 50年以上	9	39%
無回答	1	4%
計	23	

【問6 あなたの事業所（工場）では何を作っていますか。（主なもの）】

選択肢	回答数	割合
1. 電気製品電気部品	2	9%
2. 自動車部品	1	4%
3. 機械部品や工具	2	9%
4. 現場加工組立機械	0	0%
5. 木工工芸品	0	0%
6. 建築用資材や家具	1	4%
7. 衣料品	0	0%
8. 装飾品アクセサリ	0	0%
9. 印刷製本出版	2	9%
10. 食品飲料	8	35%
11. その他	7	30%

無回答	0	0%
計	23	

(11. その他の内訳)
工業用ゴム製品
バルブ製造
医療品
ソフトウェア
音声、映像コンテンツ
自動車修理、レンタル、販売
電気製品電気部品

【問7 主な製品の販売先（出荷先）は何処ですか。販売先の大まかな割合をお答えください。】

選択肢	回答件数	件数割合	販売先割合
1. 系列会社	3	6%	12%
2. 市内業者	11	23%	9%
3. 市外業者	20	42%	66%
4. 官公庁	5	10%	6%
5. 市内の個人	4	8%	3%
6. 市外の個人	3	6%	4%
7. その他（海外も含む）	2	4%	1%
該当無し、無回答	0	0%	0%
計	48		

【問8 主な原材料・資材の仕入れ先（購入先）は何処ですか。仕入れ先の大まかな割合をお答えください。】

選択肢	回答件数	件数割合	仕入れ先割合
1. 親会社	2	5%	8%
2. 大手商社	4	11%	3%
3. 市内業者	7	19%	5%
4. 市外業者	20	54%	79%
5. 市内の個人	1	3%	0%
6. 市外の個人	0	0%	0%
7. その他（海外も含む）	1	3%	4%
該当無し、無回答	2	5%	0%
計	37		

【問9 近年では特に人件費や商品仕入れ価格、流通経費、光熱水費などサービス原価が上昇傾向にあります。上昇したコストをサービス価格に適切に転嫁できていますか。】

選択肢	回答数	割合
1. 十分に転嫁できている	1	4%
2. ある程度転嫁できている	10	43%
3. 少しは転嫁できたが不十分である	10	43%
4. 全く転嫁できていない	2	9%
5. その他（自由筆記）	0	0%
無回答	0	0%
計	23	

【問10 あなたの事業を継承する後継者はいますか。また、将来の事業継承についてお答えください。】

選択肢	回答数	割合
1. 後継者がいる	13	57%
2. 後継者を探しているが決まっていない	3	13%
3. 誰かに事業を譲渡したい	1	4%
4. まだ考えていない	4	17%
5. 自分の代で廃業したい	2	9%
6. その他（自由筆記）	0	0%
無回答	0	0%
計	23	

【問11 あなたの事業所の従業員確保策についてお聞きます。（3つまで複数回答）】

選択肢	回答数	割合
1. 学校新卒者の採用を目指している	8	18%
2. 職安等を通じ、新卒者に限らず中途採用も含め確保を目指している	16	36%
3. 民間の求人サイトや求人広告により採用を目指している	6	14%
4. 親戚や知人の紹介に頼っている	4	9%
5. 自分自身で探して採用している	1	2%
6. 親会社からの派遣や出向により確保している	2	5%
7. 外国人の研修制度を使い、人材を確保している	2	5%
8. 外国人を有資格者あるいは専門職として採用している	0	0%
9. 従業員の採用は考えていない	5	11%
10. その他（自由筆記）	0	0%

無回答	0	0%
計	44	

**【問 12 あなたの事業所では、将来事業を拡大したいですか。】**

選択肢	回答数	割合
1. 設備人員を増やし事業拡大したい	11	48%
2. 現状を維持したい	11	48%
3. 事業を縮小したい	0	0%
4. 廃業したい	1	4%
無回答	0	0%
計	23	

**【問 13 事業を拡大したい又は現状維持と答えた方にお聞きします。それを実現するために必要なものは何ですか。(3つまで複数回答)】**

選択肢	回答数	割合
1. 事業を継承する後継者	4	7%
2. 従業員の確保	12	21%
3. 知識や技術の継承	5	9%
4. 設備投資(工場や製造機械の購入や更新)をするための資金	13	22%
5. 自社による技術開発、新商品開発	6	10%
6. 販路の拡大	5	9%
7. 製品価格の値上げ	6	10%
8. 原材料の調達先などサプライチェーンの多様化	0	0%
9. 製造の共同または委託化(下請け等一部作業委託も含む)	0	0%
10. 地域内事業者との連携	0	0%
11. 事業を継続するための運転資金	6	10%
12. その他(自由筆記)	0	0%
無回答	1	2%
計	58	

【問 14 事業を縮小したい又は廃業したいと答えた方にお聞きします。そのようにせざるを得ない主な要因は何ですか。(3つまで複数回答)】

選択肢	回答数	割合
1. 事業を継承する後継者がいない	0	0%
2. 自身や家族が高齢となったため	1	4%
3. 自身の健康上の理由	1	4%
4. 従業員が確保できない	0	0%
5. 知識や技術の継承ができない	0	0%
6. 設備投資(土地や機械の購入)をするための資金が無い	0	0%
7. 生産品の販路が限られている	0	0%
8. 製造原価を製品価格に転嫁できない	0	0%
9. 原材料や製造資材の値上がり	0	0%
10. 製造の委託先が確保できない	0	0%
11. 事業を継続するための運転資金が無い	1	4%
12. その他(自由筆記)	0	0%
無回答	21	88%
計	24	

【問 15 あなたの事業所の脱炭素、温暖化ガスの排出量削減(省エネ)の取り組みについて伺います。】

選択肢	回答数	割合
1. すでに太陽光発電導入など、従来に比べ大幅に削減した。	2	8%
2. 2030年までに国や県の地球温暖化ガスの排出量を半減させるとの目標に合わせ、自社(自店)でも目標を立てて取り組んでいる。	2	8%
3. 目標は立てていないが、できる処から取り組んでいる。	9	38%
4. やりたいが、省エネ改修に充てる資金が無くて取り組めていない。	4	17%
5. 特に何もしていない。	7	29%
6. 事業を拡大したので、以前よりも増加した。	0	0%
7. その他(自由筆記)	0	0%
無回答	0	0%
計	24	

## 【問 16 あなたは、事業を行う上で行政に求めるものは何ですか。(3 つまで複数回答)】

選択肢	回答数	割合
1. 製品検査や各種認証制度の簡略化と規制緩和	2	3%
2. 産・官・学の連携	3	5%
3. 新商品開発のための技術支援	2	3%
4. 地域内他業者との連携支援	1	2%
5. 製品のブランド化と宣伝PRの支援	3	5%
6. 商品をふるさと納税の返礼品として活用	1	2%
7. 人材の確保や育成の支援	11	19%
8. 外国人材導入のための支援	1	2%
9. 生産で発生する廃棄物処理の支援	3	5%
10. 生産資材の物価高騰対策	6	10%
11. 設備投資資金の低利融資	9	15%
12. 運転資金の低利融資	7	12%
13. 所得税や固定資産税の減税または減免制度	10	17%
14. その他(自由筆記)	0	0%
無回答	0	0%
計	59	

## 【問 17 あなたは、魚沼市のサービス業・観光業の将来についてどのようにお考えか伺います。※魚沼市のブランド力を高めるために〇〇をした方が良い。など】

自由筆記
労働人口を増やす取り組み。移住推進など。
魚沼の魅力をもっとアピールした方がよい。
お米以外の水、雪、お酒にも力を入れるべきだと思う。
下請け体質から脱却し、自社製品を開発する。
労働力が確保できて、モノづくり+α(観光など)が必要。

## 【その他、議会に対するご意見等を自由にお書きください。】

自由筆記
魚沼市の補助金、助成金制度でのUIJターンの年齢制限は無くした方がいいと思います。魚沼市の人口増加にストップをかけています。
議会の方々は、会派ごとになろうかと思いますが、市内の企業や団体と意見交換の場を増やしてはいかがでしょうか。
人口減少のためか人員確保がますますきびしくなると思う。人口減少は、魚沼市のみでの対策はきびしいと思う。県、国と連携し対策を検討してほしい。